

工 4Y 55

259-132



中島優二編

受験者必携

東京近世社發行

明治
39 4 5
内交

序

如何ニセバ中等教育ノ功果ヲ完全ニ收メテ、高等教育ノ階梯タルノ實ヲ舉クルコトヲ得ルカハ、識者ガ年來ノ宿論ニシテ、而モ未ダ解決セラレサル一大疑案タリ、頃者文部省ハ入學試験採點委員三十三名ノ報告書ナルモノヲ全國各中學校ニ配布シ、教員學生ノ參照ニ供シタリ、ソノ序ニ曰ク、

高等學校大學豫科入學選抜試験ニ付テハ、往々ソノ中學校ノ學科程度ト相伴ハザルヲ議スルモノアリ、本年ノ選抜試験ニ際シテハ、特ニ此點ニ留意シテ問題ヲ選定シ、高尚ニ過キ、若クハ好奇ニ類スルモノハ之ヲ舍テ、成ルベク、平易ニシテ實用ニ近キモノヲ採擇センコトヲ期シタリ。

本局ハ各試験委員ニ對シテ、答案調査ノ際、中學教育上ノ參考トナルベキモノアリト認メタルトキハ、巨細トナク其事項ヲ報告センコトヲ依頼シ、委員ノ多數ハ、之ニ應ジテ、各其所見ヲ報告シタリ、委員ノ意見ハ精粗一ナラズ、亦必スシモ相符號セズ、或ハ

直ニ中學教育ニ關スルモノアリ、或ハ試験問題ノ選定ニ關スルモノアリ、而モ之ヲ通
講スルトキハ、略本年ニ於ケル試験成績ノ如何ヲ知ルコトヲ得ベシ。

本局ハ茲ニ委員ノ報告ト、試験問題トヲ併セテ之ヲ印刷ニ付シ、中學教育者ニ配布セ
ントス、庶幾クハ中學教育ノ上進ヲ圖ルニ於テ、有益ノ參照タルヲ得ンカ、

吾人ハ從來試験委員ガ、何等ノ主義ナク、何等ノ統一ナク、往々難解ノ問題ヲ課シテ、徒
ニ受験者ヲ苦シムルヲ見テ、頗ル遺憾ニ堪ヘサリシナリ、該報告書ノ内容、觀來レハ何
等ノ卓拔ナシト雖、諸教授ガ年來ノ沈黙ヲ破リテ、臚ナガチ其意見ヲ發表シ、多少受験者
ノ參照ニ資セントスルノ志ハ多トスベキモノアリ。

吾人ハ吾國現今ノ學制ノ不備ニシテ、年々數万ノ中學卒業生ガ、寢食ヲ忘レテ、受験準備
ニ汲々トシ、形容枯槁顔色憔悴シテ、尙ソノ大多數ハ必然不合格トナリ、コレカタメ、或
ハ遂ニ青雲ノ志ヲ抛チ、或ハ自暴自棄シ、或ハ疾病ニ罹リ、然ラザルモ數年ノ日子ヲ費シ
テ漸ク一學校ノ入學ヲ贏チ得ルノ現象ヲ目撃シ、入學難ノ慘憺タルニ悚然トシ、コレ等
不幸ナル學生ノタメニ、萬斛ノ同情ヲ禁スル能ハサルナリ、學制改革ニツキテハ吾人マ

タ別ニ意見アリトイヘトモ、ソノ實行ハコレヲ近キニ期スベカラス、既ニ入學試験ニ合
格セザレハ高等教育ヲ受クル能ハズトセバ、暫ラク「如何ニセバ將來ノ選抜試験ニ成功
スルヤ」ノ手段ヲ講ズルノ捷徑ナルニ若カズ、コレ吾人ガ試験採點委員ノ意見ニ評論ヲ
試ミ、吾人ガ平素懷抱ノ所見ヲ述ベ、受験者ノタメニ聊カ頂門ノ一針タラントスル所以
ナリ、若シソレコレニヨリテ讀者ガ來ルベキ入學試験ニ成功ノ桂冠ヲ得バ、當ニ著者ノ
本懷ノミニアラサルナリ。

明治三十九年二月ノ春、コンノート殿下御着京ノ日

東都駒込ノ寓居ニ於テ

編者識

目次

明治三十八年大學豫科撰拔試驗入學及不
入學者ノ出身中學校成績比較表

緒論

一頁

第一編 英語

第一章 試驗問題ノ範圍程度并ニ試驗官ノ

意志

三

第二章 一 英語試驗問題

六

二 第一高等學校教授柳郁太郎

氏ノ意見

八

三 東京外國語學校教授平井金三

氏ノ意見

十三

四 東京外國語學校教授淺田榮次

氏ノ意見

二十二

五 英文和譯ノ心得

二十四

六 受験ノ注意

三十三

七 譯文模範例

三十七

第三章 國文英譯

一 東京外國語學校教授村井知至

氏ノ意見

五十二

二 和文英譯ノ心得

五十八

三 和文英譯問題答案

六十一

四 入學一々年後ノ和文英譯成績

六十五

第四章 英語文法及英語書取其他

一 第五高等學校教授厨川辰夫氏

ノ意見

七十

二 第一高等學校講師和田正幾氏

ノ意見

七十一

三 英文法ヲ學ブノ心得

七十五

四 鑿取ノ心得 七十六

第五章 東京高等商業學校教授高島捨太氏ノ意見 八十三

第二編 國語漢文

第一章 一 國語漢文解釋問題 九十二

二 第一高等學校教授今井彦三郎氏ノ意見 九十四

三 第五高等學校教授本田弘氏ノ意見 九十六

四 東京高等師範學校教授松井簡治氏ノ意見 九十七

五 第一高等學校教授杉敏介氏ノ意見 九十八

六 第六高等學校教授原榮氏ノ意見 九十九

治氏ノ意見 百二十九

四 第四高等學校教授河合義文氏ノ意見 百三十一

五 高等師範學校教授千本福隆氏ノ意見 百三十三

六 第二臨時教員養成所講師板橋盛俊氏ノ意見 百三十三

七 第六高等學校教授瀬戸虎記氏ノ意見 百三十五

八 東京高等師範學校教授國枝元治氏ノ意見 百三十六

九 第一高等學校教授保田棟太郎氏ノ意見 百三十七

十 東京帝國大學理科大學助教授中川銓吉氏ノ意見 百三十八

見 九十九

七 第二高等學校教授樺時中氏ノ意見 百三

八 第一高等學校教授鹽谷時敏氏ノ意見 百八

九 第六高等學校教授秋月胤繼氏ノ意見 百九

十 第七高等學校造士館教授山田準氏ノ意見 百十四

第二章 國語漢文解釋ノ心得 百十五

第三章 數學 第一章 一 試驗問題 百二十六

二 第一高等學校教授敷藤彦三郎氏ノ意見 百二十八

三 東京高等師範學校教授生駒萬 第二章 數學受驗ノ心得 百三十九

第四編 物理、化學 第一章 一 試驗問題 百四十九

二 第二高等學校教授日吉一雄氏ノ意見 百五十一

三 第四高等學校教授今井省三氏ノ意見 百五十二

四 第五高等學校教授白壁傑次郎氏ノ意見 百五十三

五 第三高等學校教授森總之助、林森太郎、高橋鉦太郎三氏ノ意見 百五十四

第二章 理化學受驗ノ心得 百五十五

第五編 地理 三

第一章 一 試驗問題

二 文部編修喜田貞吉氏ノ意見 百六十八

三 第一高等學校教授廣瀨晴芳氏

ノ意見 百七十三

四 女子高等師範學校教授野口保

興氏ノ意見 百七十五

附錄 明治三十八年諸官立高等學校

入學試驗問題集 一ヨリ百四十二

總頁數

表紙四頁、扉二頁、序文四頁、

目次四頁、比較表八頁、本文百七十六頁、

寫真刷四頁、附錄二頁、附錄百四十二頁、

奧附四頁、合計總頁數三百五十頁

奧附ノ裏ニ正誤アリ

目次終

三	三	三	三	八
岡	東	豊	傳	嘉
筑中	津中	習	穉中	
一一	二〇	一六	一七	
二	九	五	三	
一八	四五	三一	四三	

治三十八年大學豫科入學者選拔試驗 不入學者ノ出身中學校別表

●印アルモ
ノハ私立

入學者入學者百分比		出身中學校名		受驗者入學者百分比		出身中學校名		受驗者合格者百分比		出身中學校名		受驗者合格者百分比	
三二	一六	豆陽	學中	二二	〇一	島廣	彰館	二五	二二	沖繩	繩中	五二	四〇
一五	二六	津中	中	〇一	〇〇	廣島	道中	二二	二七	臺灣	國語	一〇	五〇
二二	三三	川中	中	〇一	〇〇	福山	海中	一七	二七	鹿兒島	川中	三三	〇〇
三三	四四	山中	中	〇一	〇〇	忠海	山中	一六	二七	加治	木中	一〇	〇〇
四四	五五	松中	中	〇一	〇〇	福山	島中	一六	二七	鹿兒島	島中	一〇	〇〇
五五	六六	岡中	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	川治	島中	一〇	〇〇
六六	七七	明倫	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
七七	八八	第一	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	延岡	延岡	一〇	〇〇
八八	九九	第二	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
九九	〇〇	第三	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
〇〇	〇〇	第四	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
〇〇	〇〇	第五	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
〇〇	〇〇	第六	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
〇〇	〇〇	第七	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
〇〇	〇〇	第八	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
〇〇	〇〇	第九	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇
〇〇	〇〇	第十	中	〇一	〇〇	廣島	島中	一六	二七	宮崎	宮崎	一〇	〇〇

受驗者必携

中 島 優 二 編

緒 論

吾國教育ノ制施カレテ以來茲三二十年、其間多少ノ變更改革等行ハレシト雖、要スルニ社會ハ之ガ爲ニ進歩シ、社會ノ進歩ハ教育ノ盛大ヲ誘致シ、兩々相俟チテ以テ東洋新進ノ一國民トシテ、世界ノ舞臺ニ立ツニ至レルハ、大ニ賀スベキ事ニ屬ス、然レ共彼ノ英國ノ碩學「スペンサー」ガ言ヘル如ク、何タル組織ニテモ、一旦有形的存在ヲナシタル以上ハ、之ガ徐々タル進歩改良ハ望ムヲ得ルト雖、若シ四圍ノ状態ニ大變化ヲ生シタル場合ニ於テ、其變化ト相伴ヘル改革變更等ヲナサンコトハ、至難ノ業ニシテ實際之ヲ遂ゲ得ベキモノニ非サルナリ。

今ヤ我國中學教育即チ高等普通教育ハ頗ル盛況ヲ極メ、全國三府四十三縣一道ニ亘ル公

私立中學ノ數ハ三百ノ多キニ達シ、年々卒業生ヲ出ス數萬、而シテ理論上ヨリスレバ、中學ノ卒業生ハ、必ズシモ高等ノ學校ニ進ムベキモノニモアラザルニ、彼等ノ進ンデ高等ノ學校ニ入學ヲ志望スル者、ソノ大半ヲ占ムノ實況アリ、是レ一ツニハ種々ノ關係ヨリシテ、吾國民ハ高等ノ教育ヲ受ケザレハ、社會ノ生存競争ニ勝利ヲ得難キニ依ルナランモ、更ニ又茲ニ悲ム可キ現象ハ、一般ノ社會ハ猶ホ官權崇拜ノ僻見ヲ脱スルニ至ラズ、高等ノ學校ト言ヘバ、必ズ官公立ノ者タラザレハ満足セズ、而シテ政府ハ財政上其他ヨリシテ、數多ノ官公立學校ヲ建ツルヲ得ズシテ、茲ニ高等ノ學校ニ進ムノ關門ハ、狹隘且少數ニシテ、志望者ハ年々増加シ、コレガタメ試験制度設ケラレ、遂ニ今日ノ如ク受験者ノ間ニ激甚ナル競争行ハル、ニ至レリ、コレ實ニ社會ノ趨勢ニシテ、如何トモスル能ハズトイヘトモ、試験制度ノ大潮流ハ滔々トシテ帝國三百ノ中學ヲ驅リテ、高等學校豫備門タラシメ、中等教育ノ大精神ハ滅却セラレ、加フルニ試験問題ノ主義ナク統一ナキ難解ニシテ奇矯ナルハ、天下ノ學生ヲシテ、健全ナル智識ヲ得ザラシメザルニ至リテハ、邦家ノタメニ決シテ慶スベカラサルナリ、然レトモ事コ、ニ至ル、一旦施行セル學制ヤ容易ニ改革スル能ハズ、一旦痼疾トナレル官學崇拜ノ社會病ハ、遂ニ一朝ニシテ癒ユルモノニ非ズ、即チ將來中學卒業生ガ無試験ニテ各高等學校ニ入ルコトヲ得ルニ至ルハ、ソレ幾年ノ後カ而シテ其間到底中學卒業生ハ選抜試験ノ支配ヲ免レズトセバ、今日ニ於テ、コレ等試験委員ノ意見ヲ論評シテ、學生ヲシテソノ依ル所ヲ知ラシムルハ決シテ徒爾ニアラサルナリ、以下章ヲ追ヒ項ヲ分チテ述フル所アラン。

第一編 英語

第一章 試験問題ノ範圍程度并ニ試験官ノ意志

一タビ文部省ノ専門學校例ヲ布クヤ、中學卒業生ハコレニ入學シ得ルノ資格ヲ與ヘラレヌ、サレバコレニ對シテ試験ヲ行フガ如キハ固ヨリソノ本來ノ意志ニアラズトイヘドモ、今日ノ學制々度ト國家經濟トハ、到底數多キ志願者ノ全體ヲ收容スルコト能サルヲ如何セン、乃チ選抜試験ナルモノヲ設ケテソノ學力ニヨリ僅ニソノ幾部分ノ入學ヲ許可スルニ至レルハ實ニ止ムヲ得サルナリ、將來中學卒業生ガ選抜試験ヲ經ズシテ入學シ得

ルハ果シテ幾年ノ後ニカ期シ得ベキ、吾人ハソノ決シテ近キ未來ニアラサルコトヲ信スルモノナリ。

既ニ此ノ如シトセバ、選抜試験ノ範圍及ビソノ程度ハ如何、吾人ノ見ル所ヲ以テスレバ從來選抜試験ニ合格セルモノハ、中學ノ優等生若シクハ卒業後一ケ年ノ準備ヲナシタルモノソノ多數ヲ占ムルモノ、如シ、コハ近來試験ノ程度ノ高キニ因ルナランカ、見ヨ、英語ハ全ク判ジ物ノ如ク、數學物理マタ例外ノ難解ノミ、故ニ普通ノ學生ハ所謂試験勉強ノタメニ一年ノ日子ヲ費サズンハ、ソノ成功ヲ必スヘカラサルナリ、中學補習科、高等豫備校ハ蓋シコレニヨリテ生レ出デタル時代ノ產物トシテ必須ナルモノナリト信ズ。

述ベ來レバ選抜試験ハ一大難關ニシテ容易ニコレヲ通過シ得サルカ如キモ、元來問題ハ中學卒業ヲ本位トセルモノナレバ、大學生ヲ苦シムル程ノ難解ノモノヲ課セザルト同時ニ中學初年生ノ解シ得ル程ノ平易ナルモノモナシ、タゞ中學卒業程度ノ稍高キモノニ過キズ、ソノ範圍ニ至リテモ短時間ニソノ答案ヲ書キ能フモノ、ミ、英語ノ如キ長キモ四十字ヲ越ヘズ、問題撰擇ノ目的ハ各題其主眼ヲ設ケ、コレニ對シテ受験者ガ正當ニ答ヘ得ルヤ否ヤヲ試ムルニ過キサレバ問題ノ種類モ亦無制限ニアラス、最近數ケ年ノ問題ヲ見ルニ otherwise, Double negative ノ如キハ殆ト毎年コレヲ見サルナク、甚シキハ一字一句ノ差異ナキ同一ノ問題ガ數年ヲ隔テ、出ヅルヲスラ見ルニ至ル、コレ固ヨリ暗合ナリトイヘトモ、以テソノ範圍ノ極メテ狭少ナルヲ知ルニ足ルベシ。

問題ニ答フルニハ受験者ノ主眼ト見ル所試験官ノ期スル處ト一致セザルベカラズ、コノ問題ニテハ試験官ハ何ヲ目的トシ如何ナル考ニヨリテ課シタルモノナルカヲ穿鑿セサルベカラズ、固ヨリコノ判斷力ハ受験者ノ學力ト相伴フトイヘトモ、マタ他ニ注意スベキモノアリ、即チ答案ノ書方文章、文字ヨリ、小ニシテハ冒頭、結尾、天地左右ノ體裁ニ至ルマテ深ク意ヲ用ユベキナリ、從來ノ答案ヲ見ルニソノ多クハ或ハ例ヲ引キ或ハ解釋ニ解釋ヲ加ヘソノ反覆叮嚀ナルコト恰モ教員ノ講義ノ如キ者アリ、サレト受験者ハ決シテ試験官ニ教ユルニアラズ、タゞ、ヨク問題ノ主眼トスル處ヲ看破シテ簡潔ニソノ要領ヲ認ムレハ足ル、コレ答案ノ上乘ノモノトイヘトモソノコ、ニ至ルハ容易ノ事ニアラズ、英文和譯ニ於テモ中學ニテハタゞ口述ノミニシテ、コレヲ文章トシテ發表スル機會ナキガ

故ニ試験ニ際シテモ、タトヒソノ意味ヲ解スルモ、コレガ叙述ノ拙ナルガタメ、試験官ヲ満足セシムルコト能ハズシテ、意外ノ不成績ニ了ルモノアルハ遺憾トスル處ナリ、答案ノ書方ハ實ニ至難ニシテ何人トイヘトモ、コレガ完全ノ模範ヲ示スノ大膽ナシトイヘトモ吾人ハ少シク主義トスル所アリ、以下詳ニ述ブルアラシム。

第二章 一、英語試験問題

英文解釋

1. I do not flatter you young people when I say I would rather talk to you than to the grown-up people; and I will tell you why. It is because that of you and such as you the world twenty years hence will be made.
2. It is not how much a man may know, that is of importance; but the end and purpose for which he know it.
3. I am obliged to leave these drawers (ドレッサー) open. They don't shut quite easily; or rather, they shut all right, but then they won't open. It is due to the weather, I think.
4. Experience shows that success is due less to ability than to zeal. The winner is he who gives himself to his work, body and soul.

國文英譯

- (1) 私ハ斯ク丈夫デモ何時病氣ニナルカ分リマセヌ、
- (2) 昨年ハ佛語カ獨語ヲ學ブ積リテアツタガ孰レモ出來ナカッタ、
- (3) 彼ノ汽船ハ昨夜出帆シタナラハ今頃ハ神戸ニ着イテ居ル筈デアツタ、

英語文法

1. State the parts of the underlined words in the following sentences;—
 (a) I cannot but think that he is not such a fool as I expected.
 (b) He must needs work hard.
2. Correct the errors, if any, in the following sentences:—

- (a) I wish that I am as wise as him.
 (b) The most children go to beds early.
3. Insert preposition in the places left blank:—
 (a) I have heart—him, but I do not know much—him.
 (b) I have been suffering—influenza—two weeks.

英語書取

The busy bee | stops not to complain | that there are | so many poisonous flowers | and
 thorny boughs | in his path, | nor that disgusting bugs | and flies | are but soiling the
 flowers | from which | he would gather sweets, | but buzzes on, | sucking up honey |
 wherever he can find it, | and passing quietly | by the places | where it is not.

二、第一高等學校教授畔柳郁太郎氏ノ意見

英文解釋

英文和譯ニ關シ數回ニ亘ル高等學校入學希望者ノ答案調査ニ得タル予ノ感想ハ今回
 ニ於テモ同一ニ候。

- (1) 普通ノ言葉ヲ知ラサル弊年々甚シキヲ加フルハ憂フベキコトカト存候、今回ハ
 flatter, talk, grown-up, hence, world, purpose, importance, obliged, shut, due,
 weather, experience, ability, zeal, winner, soul, ヲ知ラサルモノ有之候、就中 hence,
 ヲ「垣根」world ヲ「言葉」due ヲ「露」winner ヲ「酒飲家」ト譯シタルカ如キハ
 ツノ最モ甚シキモノニ候、talk ヲ「高イ」ト譯シタルモノ二三有之候モコハ文字ノ
 見誤リカトモ思ハレ候、トモ grown-up ヲ「生長シツノアル」ト譯スルモノモ有之
 候ヲ以テ判スレハ思半バニ過クルモノ有之候、コ、ニ於テカ、中學ニ於テ讀本ニ譯
 語ヲ記入スル惡弊ヲ嚴禁シ、屢々遭遇スル單語、熟語ナトハヨクコレヲ記憶セシム
 ルノ方法ヲ取ラサルベカラサルコト、存候。

入學試験問題ヲ一層容易ナラシムルハ受験者ノ怠惰ヲ誘致スルノ恐レ有之候、サレ
 バ高等學校入學試験問題ノ選擇ノ如キ常ニ大學トノ連絡ヲ Consideration 中ニ入レ

サルベカラサル場合ニハ、コレヲ同一ノ資格者ノ受クヘキ外國語學校、高等商業學校入學試験問題ト相比シ容易ナリトノ批評ヲ受クルハ、等閑ニ附スベカラサルコトト存候。

(2) 例年ノ例ニヨレバ at home ノ如キ句サヘ知ラサル受験生有之候、タ、今年ハ問題ノ性質トシテコノニ實例ヲ舉クルコト能ハサル迄ニ候。

(3) experience, ability, zeal, success, ヲ知ラサルモノ少クシテ、to be obliged to, to be due to, 若シクハ won't ヲ知ラサルモノ多キハ大ニ注目スヘキ現象ニ有之、或ハ essay ヲ讀ムコト多クシテ tale, story 類ヲ讀ムコト少キニ歸因スベキカト存シ候、大學ノ參考書ヲ讀ムヘキ學力ヲ養フニハ essay 類ノ多カランコトヲ望ミ候モ、English ノ研究トシテハ如何ノモノニヤ英語教師諸君ノ二考ヲ煩ハシタク候。

(4) 文章ノ性質組織ヲ無視スルモノ有之候、例セハ I do not flatter ヲ Don't flatter ト譯シタルモノ多々有之候、又 I do not flatter ヲ I people マテヲ譯シテ「青年諸君ヨ、予ハ諸君ニ諂ヒス、予ガカク語ルトキ、予ハ成年者ヨリ寧ロ君ニ語ラント欲ス」トシ、次ノ問題「It is of importance マテヲ譯シテ「ソレハ……………」ナリソハ必要ナリ」トシタルモノハ決シテ少カラス候。

(5) 原文ヲ遠カル譯方多キハ遺憾ニ候、例セハ Experience shows that……………ノ文ヲ「經驗ニ依レバ」ト譯シテハ受験者ガ shows ノ意義ヲ知ルカ知ラサルヲ判スル能ハズ、「經驗ハ示スラク」トカ、「經驗ノ示ス所ニヨレバ」トカ致シタク候。

(6) 漢文ノ餘弊ヲ受ケテ無用ノ道德的意義ヲ附加スルハ好マシカラス候、今回ハ第三問題ノ「ヒキダシ」ヲ以テ或ハ智識ノ譬喩ナリトシ或ハ「金錢」ノ比喩ナリトスルモノ有之候、若シ更ニ一部二部三部ニ亘リテ統計ヲ取ラハ更ニ數多ノ珍奇ノ好例ヲ見出し得ベク候。

(7) 所謂直譯風ハ未タ全ク地ヲ拂フニ至ラズ、今回ハ「夫レハ天氣ニマデ歸スル」「成効ハ熱心ニマデヨリモヨリ少ク才能ニマデ歸スル」ノ類有之候。

入學試験問題ノ多數ナルハ何等ノ效ナキ様ニ信シ候、現ニ一問題ヲ正當ニ解釋シタルモノニシテ他ノ三問題ニ零點ヲ取レルモノ無之候、問題ノ數ヲ少クシテ然モ統一

アル様ニ致シタク、出來得ベクンバ一人ノ頭ニテ問題ヲ作り。他ノ人々ハ其缺點ヲ指摘シテ訂正スル様ニ致シタク候、今回ノ四問題中 *of be due to* ヲ二回繰返シタルガ如キハ完全トハ評シ難ク候、徒ラニ多數ノ問題ヲ作りテ調査ヲ煩シクスルハ感服仕ラズ、若シ文部省専門局長閣下ノ言ノ如ク午前七時ヨリ正午マデ、調査スルニ止マラシメバ予ノ今回調査シタル千六百餘名ノ調査ハ決シテ二週日ヲ以テ完了スベキ性質ノモノニアラスト確信仕リ候、予ハ言語ノ試験、句ノ試験、文章ノ試験ノ三問題ヲ作り第一ヲ約五個、第二ヲ約二個、第三ヲ一個ト致シタク候、今回ノ問題ヲ試ニ下ノ如ク予ノ希望通りニ書正シ候、素ヨリ不完全ノモノニ候ヘドモ、調査ノ努力ヲ省クト共ニ試験ノ目的ハ同様ニ達セラレ得ヘキカト存候、御高見如何ニ候哉、御参考マデニ申添候。

(1) a) flatter. b) purpose. c) winner. d) show. e) soul.

(2) a) Of you and such as you the world twenty years hence will be made.
b) success is due less to ability than to zeal.

(3) I am bound to leave these drawers open. They don't shut quite easily; or rather, they shut all right, but then they won't open. It is the weather, I think.

三、東京外國語學校教授平井金三氏ノ意見

英文解釋

大學豫科入學者試験採點ニ關シ所存報告可致様ノ御命謹承仕候、答案審査ノ義ハ小官本年始テ拜命仕候ヲ以テ例年ノ結果ト比較考究スルニ由ナク、從テ確實ノ意見難相立候ヘドモ、又聊カ所感ナキニアラズ其數點左ニ開陳仕候。

- (1) 四問題トモ敢テ難問トイフベキ者ナラサルニ係ラズ、答案甚不満足ナル者大多數ヲ占メ從來高等學校入學受験者ノ學力程度ヲ知ラザル小官ハ意外ノ感ニ打タレ申候、四問題トモニ全然誤譯シ若クハ何ノ解釋ヲモ下ス能ハサルモノ少カラズ、人ヲシテ全ク英語ヲ教ヘサル中學アルカノ疑問ヲ發セシメ申候、語ニ對シ、句ニ對シ、誤解スルモノハ枚擧ニ暇アラズ、中ニハ奇々妙々ノ解釋ヲ下シ、採點者ヲシテ不思議笑セ

シムルモノアリ、猛夏ノ苦熱ト戦ヒ乾燥無味ナル審査ノ務ヲナシナカラム、是等好
趣ノ者ニヨリテ一時苦ヲ忘ル、コトヲ得申候、コレ誠ニ憚アル申條ニ候ヘトモ實情
全く如斯、是ニヨリテ如何ニ甚シキ誤解アルヤモ察シ得ラル、コト、存ジ、不顧叱
責言上仕候、今左ニ掲クルモノ、如キハ人ヲシテ失笑セシムルノ度ヲ越シ人ヲシテ
呆然タラシムルモノ、一例ニ有之候。

第三問、(第二高等學校ヨリ廻送答案中)

人が成功ヲ遂ケント思ツテモタ易クハ出来ナイモノダ、其レヲ成就センニハ順序ガ
アツテ其順序ヲ經過シテコソ初メテ成功ヲ遂クルコトヲ得ルナリ、之レハ自然ノ理
テアルト私ハ思フ、(即チ高キニ昇ルニハ低キヨリス)トイフコトヲ意味スルナリ。
同問題(同上)

(コノ文章ハ天氣ノ異變ヲ引出シニ例ヘタルナリ)私ハコー天氣ガ快晴デアルモノ
ヲ喜ヒマス、多分早速又曇ル様ニナラナイデシヨウ、人間ガ雨ガ降リテヨイト思フ
程雨天ガ續イテクルルノハヨイト思フ程私ガ思フニハ引出シノ様ナ空天氣ガ引出
ノ様ナモンジヤト思フ。

右ノ答案中前者ヲ問題ト對照スルニ「タ易クハ」ノ一語ガ問題中ノ *easily* ト相合ス
ル有ル而已、前段ニ英語ヲ教ヘサル中學アルヤ云々ト申候所以、此ニ例ニヨリテモ
御了解可有之存候、抑モ如斯者ヲ卒業生トシテ出セル中學ノ亂暴モ亦極レリト評ス
ルモ決シテ過言ニハ有ル可ラスト存候。

語又ハ句ニ就テ多數者ノ誤解ヲ擧クレハ、

young people ヲ「若キ人民ヨ」トスル者、

I say ヲ下ニ附ケズ上ニ連ヌル者、

talk ヲ *tail* ト誤ル者、

hence ヲ *fence* ト誤ル者、

end ヲ端終等トスル者、

第二問最後ノ *by* ヲ解シ得サル者、

第三問ノ *they* ヲ世人、人々、友人トスル者、

obliged ヲ感謝トスル者
 drawers ニ (ヒキダシ) ト譯ヲ插ミアルニモ係ラス、種々ノ異ル誤解ヲ下ス者、
 shut ヲ他動詞トスル者、
 won't ヲ知ラザル者
 winner ヲ酒屋、冬其他ノ意トスル者、
 body and soul ノ譯不明ナル者。
 due ヲ dew ト誤ル者、
 weather ヲ誤譯スル者、

巨細ノ點ニ付テハ其誤千差萬別ニ候ヘトモ以上列擧スルモノハ多數共通ノ誤解ニシテ從テ全文亦無意味ノモノトナル者多シ。

以上ヲ總合シ何ニ因リテ此誤ヲ來セルカノ原因ヲ察スルニ、教師及教授法兩ナカラ其當ヲ得サルニ在ルハ申迄モ無之、而シテ其教授法ニ於ケル根本的誤謬ハ智識ヲ得ル諸官能中主トシテ眼ノ一官ニ重大ノ負擔ヲ課シ聽官ノ働ヲ無視スルコトニ有之、

是レ從來世間一般ノ惡慣行ニシテ決シテ外國語ヲ教フル良法ニアラスト愚信仕候。

豫テ懷ク所ノ愚存ニヨレハ語學ヲ學フモノニハ、初メヨリ書籍ヲ與ヘズ、平易ノ語、簡短ノ句ヲトラヘ、コレヲ口ヨリ耳ニウツシ、學者ヲシテ又口ニコレヲ反覆暗誦セシメ、簡易ノ會話ヲ爲スヲ得シム、此ノ初步幾月ノ間ハ強テ文字、綴字ヲ知ラシムルヲ要セス、只管聽官ニヨリテ英語ノ語法ニ慣レシム、コレ人ガ自國語ヲ話スヲ得ルニ至ル自然ノ法ニ合ス、然ルニ初ヨリ文字、綴字ヲ授ケ眼ヨリ言語ヲ吹込マントスルハ斷シテ自然ノ良法ニアラズ、今前述ノ法ヨリ各品詞中平易ニシテ普通使用セラる、モノ數十語ヲ授ケ動詞ノ配合少シク了解應用セラル、ニ至テ「ブライマー」第一讀本ヲ與ヘ其力ニ應ジテコレヲ教ユ、同時ニ更ニ新語新句ヲ間斷ナク耳ヨリ入レテ暗記セシメ之ヲ應用會話セシム、其熟スルニ及テ再ビ書籍ニ就カシム、而シテ學生ノ漸ク文字ヲ書シ得ルニ至リ力ニ應シ作文書取等ノ科ヲ課ス、若シコノ順ヲ追フ事一年乃至一年半ナラハ恐ラク今ノ法ニヨリテ二四年ヲ學ハシムルヨリモ遙ニ良

結果ヲ得ント存候。

次ニ發音ノ誤ヲ正サ、ルガ屢誤解ヲ來スノ原因トナル Hence フ Hence トスルガ如キハ全ク是ニシテ音讀ノ方法ヲ誤レルモ亦コレト相關聯シ意味ノ誤解ハ往々之ニ因リテ起ル talk フ tall, winner フ winter, spinner, wine. due フ dew トスルノ如キハ上ニ陳ヘタル暗誦筆記作文等ヲ怠ルト不完全ノ發音ヲ寛容スル習慣ト相合シテ生シタル誤ナリ。

文法モ高尙ナルコトハ中學程度ニ於テ授クル餘地モナク又其効力ナケレトモ They don't shut quite easily ホトノ短文句ニ於ケル shut ガ自他動詞ノ何レニ使用セラレアルヤノ區別ヲ知ラサルハ文法ノ智識極テ少キカ或ハ全クコレナキカヲ證ス。答案ノ行文ニヨレハ譯讀ノ教授ニ於テ改良スヘキ點多カルヘシト察セラレ候、何トナレハ受験者中全ク直譯的文體ヲ以テ答フル者多ク、コレガタメ答案者ガ果シテ意味ヲ會得シ居ルヤ否ヤ採點者フシテ之ガ判斷ニ躊躇セシムル場合往々有之候。

又之ニ反シテ最モ平易ニ譯シ得ベキ者ニ至ル迄講義的句調ヲ用キ、語意ノ解釋ヲ屢々譯文中ニ挿入スル者アリ、又意義通スレハ事足レリトシテ譯語譯文ノ適否好惡ハ措テ問ハサル者擧テ數フベカラズ、例ヘハ young people フ「若キ人民」 grown-up people フ「成長セル人民、quite easily フ「全ク易ク」トスル如キハ國語ヲ以テ書シタルモ實ハ國語ノ法ニアラズ、而モ答案者ガ young people フ必シモ「國家ニ對スル人民」ト思惟スルニモ非サルベク「若キ人々」「若イ人達」ノ意トハ心得ナカラ常ニ「人民」ナル語ヲ以テ如何ナル場合ニモ people フ譯スルコト習慣トナリ、自ラモコレヲ怪マズ、教ユル者モコレヲ答メサルハ今日至ル處ニ見ル所、コレ譯讀教授ノ甚粗慢ナルト翻譯ノ練習ナキトニ歸セサルベカラズ、今ノ英語學生ハ連リニ English idiom トイフコトヲ口ニスレトモ果シテ如何ナルモノガ Idiom ナルヤヲ熟知スル者極メテ寡ク概テ或一種ノ Idiomatic phrase ノミヲ是ナリト思惟シ、吾國語ノ Idiom ナトイフ事ハ夢想タモスル事ナシ、從テカレノ「イチヲム」ヲワガ「イチヲム」ニ改ムル如キハ思ヒモヨラズ、雙方ノ話方ヲ兩々相對スル事ヲ知ラサルガ故ニ英文和譯モ和文英譯モ一種奇妙ナルモノヲ作ルハ止ヲ得サルノ結果ニシテ若

シ此風盛ニナラバ終ニ吾國ノ語法ヲ一變スルニ至ルベク候。

直接英語ニ關係ナキ事ニ候ヘトモ譯文筆記ノ亂雜驚クベク尤モ時間ニ制限アルコト其一原因ナルベキモ字畫不明ニシテ閱讀極テ困難ナルモノアリ、加之誤字脱字アリテ讀者ヲシテ意ヲ誤解セシムルコト無キヲ保セス假名ノ誤字ニ至テハ時ニ正反對ノ意味ニ解セラル、コトアリ。

又假名ヲ以テ方言ノ儘ヲ書下シタル、漢字ノ誤字アル等一々之ヲ答ムルノ暇モアラズ、斯ク申ス小官モ日々漢字トノ縁遠カルガタメ不思字ヲ誤リ又時ニ字形ヲ忘却スル事有之言ハ、五十歩百歩ノ差ニシテ今ノ學生ヲ批難スルノ不理ナルヲ承知仕候ヘトモ然レトモ答案ノ中ニハ最モ甚シキ者アリテ、マ、字ニ似テ其實字ニアラサルモノヲ書シタル者アリ、此傾向ハ今日以後益々大ナルベクシテ勢又如何トモスル能ハサル義ニ可有之候得共然モ各高等學校廻送ノ答案中著シク差別アルヲ感セシムルヲ見レハ教授法ノ如何ハ又大ニ此差ヲ生セル事ト被存候、即チ第三高等學校ヨリ來ルモノ、如キハ筆記丁寧字々齊然タル者他ノ答案ニ比シ多キヲ覺エ候、コレ果シ

テ同地方面中學校ノ教授法ニ特種ナル處アルニ因ルカ、小學時代ニ於ケル薰陶他方ニ異ル處アルカ將タ地方人心ノ反照カ此邊研究ノ價值アルベク存候。
終リニ臨ミ今一ツ最モ必要ト感スル點陳述仕候。

抑モ各地中學ニ於テ初年級ヲ主トシテ教授スルハ老練ノ教師ナルカ、將タ教授不熟練ニシテ學力足ラサル者之ニ當ルカ、思フニ下級學生ニ多數ノ時間ヲ教フル者ハ恐ラク後者ヲ多シトセン、果シテ然ラハコレ教授上ノ大々誤謬ニシテ一旦惡習慣ニ育テラレタル後ハ老練ノ師モ容易ニコレヲ矯正スル能ハズ、以是數年ノ修學寸效ヲ收メズ、中學卒業生ニシテ今回ノ四問中一題ヲモ解答シ得サル者多キハ驚クニ堪ヘタリト雖、其因テ然ル所以ヲ察セバ又怪ムニ足ラサルニ似タリ、世人幼年教育ヲ輕視スルノ風アリ、コレ甚ダ謂レナシ、初年級ノ間コン最モ大切ノ時機ナレハ之ガ開導ノ任ニ當ル者ハ少クトモ專門學校ニ教授タルノ資格アル老熟ノ人ナラサルベカラズ、平凡未熟ノ青年ヲシテ幼年者ノ訓育ニ與カラシムルハ品性陶冶ニ最モ危險ナル而已ナラズ單ニ外國語ヲ授クル一點ヨリ言フモ決シテ満足ノ結果ヲ得ル能ハズ學

生ヲシテ徒ラニ腦力ト日月トヲ空費セシムルモノト確信任候。

四、東京外國語學校教授淺田榮次氏ノ意見

英語

- (1) 生徒學力ノ不同ナルコト、
或者ハ學力極メテ劣等ニシテ未タ曾テ英語ヲ學ハサル者ノ如ク見ユルモノアリ之
ニ卒業證ヲ與ヘタル中學校ノ責任ヲ問ハサルベカラズ。
- (2) 教師ノ學力不充分ナルコト、
或答案ヲ檢スレハ教師ガ生徒ニ誤謬ヲ教ヘタルコトヲ明證スルモノアリ。
- (3) 會話讀方等ニ重キヲ置カサルコト、
今日新式教授法ノ行ハル、ニモ拘ラズ、依然トシテ從來ノ教授法ヲ用キ、先ヅ主ト
シテ譯讀文法等ヲ教ヘ會話、讀方、書取等ニ力ヲ注ガス、甚シキニ至リテハ更ニ會
話、書取等ヲ教ヘザル中學校アリト聞ク。
- (4) 發音ノ正シカラサルコト、
是ハ生徒ノ責任トイハンヨリモ寧ロ教師ノ責任ナリ、
- (5) 作文教授法不完全ナルコト、
課題ノ種類、添削、説明ノ方法不完全ナルガ故ニ實力ヲ養フ能ハズ。
- (6) 翻譯ノ不完全ナルコト、
譯語ヲ擇ビ譯文ヲ鍊ルコト不充分ナリ、漢字ノ誤謬ハ實ニ枚舉スルニ遑アラズ、恐
ラクハコレ國語教授法ノ不完全ヲ示スモノナラン。
- (7) 文法教授法ノ誤マレルコト、
根本的規則ヲ教ヘズシテ細則、例外等ヲ教ユルコト多キガ故ニ作文會話等ニ於テ文
法ノ學力ヲ應用スルコト稀ナリ。
- (8) 難語難句ニ重キヲ置クコト、
難語難句ハ奇語奇句ナリ、多クハ野卑猥俗ノ語句ナリ、此ノ如キモノヲ學ブモ益ナ
シ、寧ロ一般ノ用語ヲ學ビ流暢ナル文章ニ慣ル、ニ若カズ。

- (9) 外國教師ノ尠キコト、
如上ノ弊害ヲ生シタルハ此項以下ノ原因ニ基クモノナラン。
 - (10) 外國人ニ就キテ學ヒタル内國教師ノ尠キコト。
 - (11) 速成ヲ主トスルガ故ニ實力ヲ養ヒ得サルコト。
 - (12) 一組ニ多數ノ生徒ヲ編入スルコト。
- 理想ヲイハハ一組十五名ナレトモ三十名マテハ差支ナカラン。

五、英文和譯ノ心得

前章ニ於テ、柳外二氏ノ意見書ヲ讀ンデ、吾人ノ感フ所ハ、英文ヲ和譯スルニ當リテハ如何ナル文體ニスベキカニアリ、三氏何レモ口ヲ揃ヘテ受験者ノ答案ヲ非難スレド、コレガ解例ヲ示サズ、殊ニ吾人ノ奇異ニ感スルハ、柳外氏ガ *experience shows that* 「經驗ニ依レバ云々」ト譯シタルヲ非難シテ、カクテハ受験者ガ *shows* ノ意義ヲ知レルヤ否ヤヲ明ニスル能ハズ、頗ル採點ニ苦シムトノ意見ナリ、吾人ヲシテ「經驗ニ依レバ云々」

々」ノ譯文ガ正解ナルカ、將タ誤解ナルカヲ判セシメバ正解トイフニ躊躇セズ、寧ロ同教授ノイヘル「經驗ハ示スラク」「經驗ハ……ヲ示ス」ト比シテ、吾人ハ後者ガ日本文トシテハ生硬ナリト信ズ、若シ同教授ノ説ニ從ハシカ *Tradition runs* ヲ譯シテ「古稱ノ傳フル所ニヨレバ」「傳説ハ曰ク」トセバ譯者カ *runs* ノ意義ヲ知ルヤ否ヤヲ疑ヒ、「古稱ハ走ル」「傳説ハ走ル」ノ譯ヲ正當トセサルベカラズ、コトハ *Expression* ニ就テナルガ、今若シ *Construction* ニ就テイハハ *Parents should be obeyed. They must be consulted with.* ニ於テ「一文トモ *passive* ナルヲ以テ「子ハ親ニ從ハサルベカラズ」「彼等ニ相談セナケレバナラヌ」ヲ不可トシ「父母ハ從ハルベキモノナリ」「彼等ハ相讀セラルベキ等ダ」ヲ *better* トセザルベカラズ、ソノ何レカ日本文トシテ生硬ナルヤハ何人トイヘトモ判スルコトヲ得ベシ。

サレバ *Idiom* ノ *expression*, *Construction* ヲ譯スルニ當リテハコレ等ノ *expression* 及 *Construction* ヲ無視スルヲ得ザルモ又日本文トシテ成立スルヤ否ヤヲ判定セザルベカラズ、若シ「日本文トシテ成立セザレバ多少原形ヲ犠牲トセザルベカラサル場合ア

リ』、然ラハ如何ナル程度マデ原形ヲ犠牲トスベキヤ、試験官ハコレニ對シ如何ナル意見ヲ有セルヤヲ知ラストイヘトモ、吾人ヲシテ言ハシムレバ『譯文ガ日本文トシテ成立スル範圍ニ於テ原文ノ語句ノ意義及文脈ヲ亂サスシテ表ハスヲ以テ上乘ノモノトナサシ』トス、今日日本ニ行ハル、譯方ニ三體アリ、『直譯體、准直譯體、自由體』コレナリ、或ハ自由體ヲ主張シ、或ハ直譯體ヲ固守スルトイヘトモ、吾人ハ准直譯體ヲ以テ最モ穩當ナルモノト信ズ、コレ自由體ハ答案トシテハ問題ノ目的トセル語句ノ意、文脈ヲ知レルヤ否ヤヲ試験官ヲシテ疑ハシムルノ不利アリ、直譯體ハ日本文トシテ成立セサルノ不可アルニ反シ、『准直譯體トスレハ文脈ヲ辿リテ語句ノ意義ヲ表ハシ、日本文トシテモ亦生硬ナラサルヲ得ベシ』、コレニ日本學生ノ最モヨク親炙セル「ユニオン」第四ノ第一章ニツキ准直譯體ノ實例ヲ示サン。

a. Vincent made himself feared by a habit of turning things into ridicule.

コレヲ試験問題ト假定セバ、試験官ノ目的ハ feared ガ objective complement ナシテ passive ノ意ヲ表ス participle ナルコト、 turning ガ gerund ナルコト、(文典上ヨリ見テ) ridicule 及ビ habit ノ意義ヲ解スルヤ否ヤニアリト見サルヲ得ズ、今コレヲ「びんせんどい嘲弄ニマデ物ヲ變スルノ習慣ニヨリテ自分ヲ恐レシメシ」ト譯スハ普通ナレトモ、カクテハ feared ガ passive ニシテ Complement ナルコトヲ表ヌヲ得ズ、各語句ニ於テハ誤レリトハナサルモ、不完全ナル直譯體トイハサルベカラス、コレハ「びんせんどい何事ヲモ嘲弄スル惡癖ノタメ、自分ヲ恐ガラレ者トシタ」ト譯サバ、日本文トシテハ生硬ナカラ成立シ、Construction ヲモ理解セルモノトスベシ、即准直譯體ナリ。

b. One morning as we were on our way to school, he was seen driving a cow along the road toward the pasture.

コレノ問題ハ、コレヲ文典上ヨリ見ン、school ニ冠詞ナキコト、driving ノ participle ナルコト、toward the pasture ガ adverbial phrase ナルコト、ソノ他各文字ヲ解スルヤンヲ試験スルト見ルヲ得ベシ、之ヲ譯スルニ「一ツノ朝、吾々が學校ニマデ吾々ノ道ニ於テアリシ時ニカレハ牧場ノ方ニ道ヲ沿ウテ牡牛ヲ追ヒツ、見ラレシ」トナサハ、純乎タル直譯體ナリ、コレニテハ「一ツノ朝」「見ラレシ」ハ日本文トシテ全く成立セズ、on

our way to school ナル phrase ヲ解セサルノ誤アリ、コレヲ准直譯體トシテ「或朝、稽古ニ行ク途中デ、彼ガ牧場ノ方ニ道ヲ沿ヒ、牡牛ヲ伴レテ行クノヲ吾等ハ見タ」トセバ、schoolニ冠詞ナキ理由ヲ表ハスコトヲモ、was seenハ、Passive ナレトモ、見タルモノノ we ナルコトハ、as we were……ニテ解スルヲ得ルヲ以テ「吾等ハ見タ」ト譯シテ決シテ不當ニアラズ、コノ場合ニ passive ノ Construction ヲ犧牲トシテ active トセルハ、日本文トシテ止ムヲ得ズ、コレニヨリテ却テ driving ノ participle ナルコトヲ正確ニ表スコトヲ得。

c. After school, in the afternoon, he let out the cow, and drove her away, none of us knew where.

コノ問題ニ於テ、受験者ノ最モ困難トスル處ハ none of ……ノ clause ト where ノ最後ニ來リタル點ナルベシ、コノ construction ハ none 以下ノ adverbial clause ハ drove ニツキタルモノナレバコレヲ解スルニアラサレハ此文ハ決シテ譯スルコトヲ得ズ、多數ノ中學生ハコレヲ「午後業カ済ンデカラ彼ハ牛ヲ引出シテ、彼女ヲアテラニ驅リシ、吾等ノ誰モ何處ナルカラ知ラヌ」ト記スレトモ、コレ大ナル誤ナリ、宜シク後半ハ「吾等」ノ何人モ知ラザル所ヘ伴レ行ケリ」トセサルベカラズ where ガ前ニ在ルモ同一ナリ。

d. None of the boys who had caused the disaster, followed to learn the fate of the wounded boy.

コノ文ハ Construction モ語句モ容易ナレトモ、日本文ニ表スハ困難ナリ、カッテコレヲアル中學四年ノ生徒ニ譯セシメシニ「災難ヲ基イタ所ノ小兒ノ誰モガ、傷イタル兒童ノ運命ヲ學ブベク從ハザリシ」トセリ、コレ實ニ抱腹ニ堪ヘストイヘトモ、今日多數ノ學生ハコレニテ満足シ、教師モマタ深ク答メズ、モトヨリ一字一句ノ謬ナキガ如キモ果シテ日本文トシテ成立シ得ベキヤ、生硬モ實ニ甚シトイハサルベカラズ、今予ハ二様ノ譯文ヲ作リテ之ヲ吟味センニ

「災難ヲ起シタル處ノ男子中、誰レモ一人トシテ傷ケル男子ノ運命ヲ知ランカタメニ後付イテ行キシモノハナカリシ」ト譯スレバ、文脈ヲモ保存シ、幾分カ了解シ得ル日本文ナレトモ、更ニ「災難ニ『遭ハセ』タ子供ノ中、一人モ傷ケル兒童ノ『成行』ニツイテ行ツテ

「見届」ケタモノハナカツセタ」ト譯スルハ cause ヲ遭ハセタトハ不十分ノ如キモ「災難ヲ起シタル」トイハハ、ソノ災難ニ遭ヒタル兒童ノ如ク解セラル、ノ恐アレバ「遭ハセタ」方適譯ナラン、followed to learn ハ「見届ケニ行カナカッタ」「行テ見届ケタモノハナカッタ」ノ方カ「知ラシガタメニ續キ行カサリシ」ヨリモ遙ニ日本文トシテ可ナリ、「傷ケル兒童ノ運命」ヲ「傷ケル兒童ノ成行」トセハ、*was* ノ字ヲ犠牲トセルガ如キモ、眞ノ意義ハ却テ後者ニヨリテヨク表サル、ヲ見ル。次ニ他ノ書ヨリ「ヲ引カンニ、
e. At last the wolf did come.

コノ文ハ the wolf came at last. ト意味ニ於テ同シキモ emphatic form ナルコトヲ知ルナラン、サレド如何ニセハ did come. ト came. トラ區別シテ表ハシ得ルヤ、コレ實ニ受驗者ガ試験場ニ於テ案出シ難キモノ、平素ニ於テヨク心掛ケ置カザルベカラズ、「遂ニ狼ハ「實際」來レリ」ト譯セバタトヒ「實際」ノ語ハ日本文ニテハ副詞ナルモ、emphatic 表ハスニハ適當ナラン、Come! ト Do come! トラ譯スルニモ前者ハ單ニ「來テ下サイ」トシ、後者ヲ「是非來テ下サイ」ト譯ナバ可ナラン。

f. Hardly was a new scholar, and little was known of him among the boys.

此文ニ於テハ、元來副詞カ形容詞カナシ、*little* ガ名詞ノ代リトナリ、of him ノ前ニ known アルヲ注意セサルベカラズ、コレヲ「は」トイハハ新入生ニシテ兒童ノ間ニハ少シシカカレニ就テ知ラレシ」ト譯シテハ不完全ナリ、*little* 及ビ known of him ノ意ヲ表ハスニハ「兒童ノ間ニハカレノ事ハ少シシカ知ラレテナカッタ」ト譯セサルベカラズ、コレヲ「少數ノ友人シカ知ラナカッタ」ト譯スルモノハ、コレ *little* ト few, known of him. ト know him. トノ區別ヲ解スル能ハサルモノナリ。今某學校試験ノ一二ヲ示サンニ

g. There are no less than thirteen ships in port.

コノ文ヲ譯スルニ常リ no less than ヲ如何ニ表スベキヤ、事實ハ was thirteen ships in port. ト同シ意ナレトモ no less than アルハ此碇泊所ニハ十三隻アルコトハ稀ナルニ、此場合ニハ一隻モ缺ケズシテ十三隻アリトノ意ヲ表シ、イタ in port ハ abstract sense ヲ有ス、故ニコレヲ譯スルニ「實際十三隻モ船ガ碇泊シテ居ツタ」トセハ不満足ナカラ原文ノ意ヲ表スコトヲ得ベシ。

7. In one of the large parks of Paris there is a cage in which there are sometimes as many as a hundred monkeys.

此文ヲ「一百ノ猿ダケ、ソレダケ多クアル」ト譯シテハ、ソノ何ノ意ナルヤヲ知ル能ハズ、サリトテ只「百疋ノ猿ガ居ル」ト譯セバ、ソノ意味ニ於テハ誤ナキモ as many as many as ヲ無視シタリトイハサルベカラス、as many as ハ「籠ニハ二三疋多クモ十疋内外ノ猿ガ居ルノガ普通ナルニ、コノ籠ニハ百疋トイフ大數ガ居ル」ノ意ヲ表ハスモノナレハ、コレヲ「百疋カラノ澤山ノ猿ガ居ツタ」トセハ適譯ナラン。

Not long since some boys were flying a kite in the street just as a boy on horseback rode by on his way to mill.

此ノ文ノ注意ヌヘキハ since ハ短期日ノ ago ナルコト、a kite ハ一ノ紙鳶ニアラスシテ kites ト同一、just ハ直ニテ Conjunction ノカヲ有スルコト、on horseback ハ on the horseback ト同意義ナラサルコト、mill ニ冠詞ナキコト等ナリ、詳言スレバ、flying ハ紙鳶ヲアゲ居ルコト、on horseback ハ riding ノ意ナルコト、例ハ A bird perched

on the horseback ハ「一羽ノ鳥ガ馬ノ脊ニトマレリ」ニシテ A boy on horseback ハ、

「馬ニ乗レル小兒」ノ意ナルカ如シ、mill ハ猶 school, church 等ノ如ク用キラル、原文ハコレヲ「アマリ以前テハナイガ、數人ノ兒童ガ、町ノ中デ紙鳶ヲアゲテ居ツタ、丁度ソノ時ニ、馬ニ乗レル一人ノ兒童ガ、水車場ヘ仕事ニ行ク道ニソコヲ通りカケタ」ト譯スレバ可ナラン。

コレヲ要スルニ、英文ヲ譯スルニハ第一、「語句ノ譯意ヲ十分ニ表シ」、第二、「句ノ用法ヲ正當ニ譯シ」、第三、「原文ノ construction, expression, form 等ヲ無視セズ」、第四、「譯文ガ日本文トシテ、可成生硬ナラサルコト」、コノ第四要素ヲ具備スレバ、大過ナキニ庶幾ランカ。

五、受験ノ注意

受験ニ際シ學生ノ最モ注意スベキコトハ先ヅ文章ノ種類ヲ考ヘ、疑問文、命令文、否定文、肯定文、表願文、感動文ノ何レナルカヲ究メ、文ノ構造ヲ見分ケテ文脈ノ連絡ヲ知り、

次ニ文典ノカニ訴ヘテ、コノ副詞ハ何レノ語ニ對スル Modifier ナルカ、コノ句ハ何レニ屬スルヤヲ調ベ、然ル後全文ノ意義ヲ考ヘソノ文脈ヲ辿リテ准直譯體ニ譯スベシ、而シテ自分ノ最モ容易ナリト信スルモノヨリ始ムベシ、今一例ヲ舉ゲテ、ソノ思考ノ順序ヲ述フレバ、

I often thought it funny you preferred the man you married to Charlie.
ナル文ニ對スルニハ funny ガ thought ノ Complement ヲ示シ、ノ adjective ナルコト、preferred ハ the man you married ヲ隔テ、to ニ連絡スルコト、the man ハ you ノ間、funny ハ you ノ間各省畧ヲ語アルコトヲ知リテ然ル後、筆ヲ取ラサルベカラズ。

次ニ日本語ニテハ實ニ表シ難キモノアリ、例ハ

1. Let me be everything to you or rather let us be everything to each other.
ノ如キ everything ノ一字ハ困難ナルタメ全文ニ影響シテ譯方ニ減フ甲ハコレヲ「私ハ君ヲ何デモ助ケマセウ、イヤオ互ニ助ケマセウ」ト譯シ、乙ハ「私ハ君ニハナクテハ

ナラナイモノニナリタイモノダ、寧ロオ互同志ガナクテハナラナイ間ニナラウ」ト譯シ、丙ハ「私ハ貴方ニ全心ヲ捧ゲマセウ、寧ロ私ハ同心異體ニナリマセウ」ト譯ス、何レモ吾人ヲ満足セシメヌトイヘトモ、コレカ完全ノ譯方ハ至難ノ事タリ、讀者諸君ノ推敲ニ待タントス。

2. What Japan was she owed to the Samurai.
what Japan was ナル clause ハ owed ノ目的ナリ、コノ文ハ意義モ解シ易キモノニアラズ、譯方ニ至リテハ更ニ困難ナリ、或ハ「舊昔ノ日本ハ武士ノ力ニ依リテナレリ」ト譯シ、或ハ「舊日本ハ武士ニ負フ所多シ」ト譯ス。

3. After the prizes were distributed, the principal remarked that there was one prize, consisting of a medal, which was rarely awarded, not so much on account of its great value, as because the instances are rare that merit it.

多數ノ學生ハコノ文ヲ譯シテ「コノ賞品ハ滅多ニ與ヘラレナイ、ソノ譯ハ、ソノ價值ノ大ナル爲テハナクテ、コレニ當ル場合ガ稀デアル故ナリ」トナス、譯者自身ハソノ眞意

義ヲ解セルカ如ク考ヘラル、モ、コノ意義ハ「與ヘラレザル理由ニツアリテ、一ハツノ價值ノ大ナルタメ、一ハコレニ當レル實例ノ稀ナル所以ニシテ前者ハ後者ニ比スレハ輕シトイヘドモ、マタ一理由タルヲ失ハズ」ナリコノ要點ハ必ズ譯文上ニ表ササルベカラズ、吾人ハコレハ「賞品ヲ與ヘラル、ノ稀ナルハ、ソノ價值ノ大ナリトイフヨリモ、寧ロコレニ當ル實例ノ少キカ爲メ」ト譯セントス、或ハコレヲ以テ適當トナサンモ文脈ヲ多少犠牲トスルノ恨ミアリ、何レモ吾人ヲシテ満足セシムル能はず是亦、讀者諸君ノ研究ニ任セン。

譯文ノ文體ハ如何ニスベキヤ、漢文調、中古文體、言文一致體ノ何レヲ撰フヘキカ、理想的ニイヘバ、原文ノ文體ト相對照シ、謹嚴ナル文章ハコレヲ漢文調ニ、流麗ナル文章ハコレハ中古文ニ、通俗ナル文章ハコレヲ口語體ニ譯スルヲ可トセン、然レトモ九クノ如ク一々對照シテ文體マデ撰擇スルコトハ至難ノコトニシテ、殊ニ試験場ニ於テハ不可能ノコトタリ、故ニ普通ノ新聞記事體即チ萬朝、國民、時事等ノ文體ニ從フカ或ハ全ク口語體ニスベシ、サレド「口語體ハ地方ニヨリテ特種ノ方言アリテ試験官ヲシテ

感ハシムルノ恐アルヲ以テ不可ナランモ、我國標準ノ口語ヲ書キ得ル學生ハコレニ依ルモ差支ナカラン。

受験ニ際シ不知ノ語句ニ出會ヒタルトキハ如何ニスベキヤ、コハ實ニ容易ナラサル問題ニシテ、コレニ處スルノ道ハ、文法上ノ文脈ヲ辿リ、ソノ知ラサル語句ハ、ソノ儘譯文中ニ搜入スルニ如クハナケン、試験官ノ多忙ナル、ソノ英語ニ熟達セル、屢々邦語ト英語トヲ混同シ、譯文中ニアル一字位ノ英語ハ無意識ニ讀過シ、意外ノ幸福ヲ得ルコトアリ、呵々、カ、ル僥倖ヲ期セズトスルモ不知ノ字句ニ牽強ノ譯ヲ付スルハ他ノ正解セル字句ニマデ影響ヲ及ボシ、コレカタメ全文ヲ破壊シ了ルノ恐アリ、深ク注意スベキコトナリ。

六、譯文摸範例

次ニ吾人ハ日本ノ學生ガ、最モ邦文ニ表ハシ難キ英文ノ解釋例數十ヲ舉ゲテ、讀者ガ英文和譯ノ摸範例トナサントス、讀者ハヨク英文ト譯文トヲ對照シテ、字句ノ解釋、文脈ノ

連絡、邦文ノ精練等、譯者ノ苦心ノ存スル處ヲ玩味シ、以テ英文和譯ヲ學フノ好資料トセヨ。諸子ノ答案ニシテ斯クノ如クンバ成功期シテ待ツヘシ

1. You do not take such care as ought to be taken.
汝「當然ス可キ」注意ヲシナイ。

2. I was taken for him the other day.
先日私ハ彼ト「取り違ヘラレタ」。

3. He speaks so low that he can not be heard.
彼「聞エナイ」程低聲ヲ語ス。

4. He can not be done without.
彼「實ニ」缺ク可カラザル」人物ダ。

5. Medicine should not be relied on much.
藥「多ク」依賴ヒシラハナラヌ」。

6. He is not to be depended upon.
彼「依賴」ニナラヌ」。

7. Such desperate means should not be resorted to.
斯「ナ烈シイ手段」ニ「依リラハナラヌ」。

8. They must be consulted with. *Shew*
彼等「相談」セヨハナラヌ」。

9. Nothing happens to man which he is not formed by Nature to bear.
人「自然」ヨリ「作ラレタ」身體「堪ヘ得ナイ」様ナ事ハ「何モ」人ノ上ニ「ハ」ヨリ來ナイ。

10. Dr. Sato must be sent for at once.
早速佐藤「サ」ヲ「呼」ンベハナラヌ」。

11. It is bare justice to Olive to say that proud and overbearing as he was, kindness was never thrown away upon him.
傲慢不遜ノ人ナリシトハ言ヘ、くらゐハ親切ヲ受ケテ「之ヲ感ゼザリシ」如キ人ニ「ハ」ズラザリシト「言」フモ是レ唯正當ノ言ナラン。

12. The physician will not allow me the use of my books, nor does he even consent to my being read to.
 醫者ハ私ガ自分デ書物ヲ見ルヲ許サヌ許リデナク、人ニ「讀マシテ聽クノ」ヲモ許サナイ。
13. You have no more mind than a blade of grass.
 汝ノ「無神經ナ事」ノ草ノ葉ノ無神經ナ「様ナモノ」ダ。
14. The whale is no more a fish than a horse is.
 鯨ノ「魚デナイコト」ハ猶馬ガ魚デナイノト「同シ」。
15. The Chinese are no more moved by human suffering, even among their own people, than animals are.
 支那人ガ人間ノ苦痛ヲ見テモ「情ヲ動かサズル」ノコトハ「(彼等同國人間ニ於テサレ)尙動物ト「同シ」」。
16. Nations are not to be judged by their size any more than individuals.
 國民ノ版圖ノ大小ニヨリテ(價値ハ)「判斷スベカラザル」ハ「猶個人ノ身體ノ大小ヲ以テ賢愚ヲ判スベカラ」サルガ如シ」。
17. Brandt did not know any more than a child what to do with this discovery.
 「ブランド」ガ此発見ヲ如何ニスベキヲ「知ラザリ」シト猶「兒童ノ如クナリキ」。
18. To add to the difficulties, he lost his health.
 「ソノ困難ニ加フルニ」彼ハ健康ヲ失ハリ」。
19. Some of them were indeed, to do them justice, men of parts.
 カレ等ノナルモノハ實ニ「公平ニ評スル」ハ「技能ヲ有スル人ナリキ」。
20. To say nothing of dinner, they might at any rate give us a cup of tea.
 「食事デロロカ」カレ等ハ茶一杯モ呉レハセヌ(呉レデモヨイノニ)「控目ニイフテモ」二千ノ人ヨリハ少カラザル大勢ガ居ツタ」。
22. Our officers and crews are highly experienced and disciplined, to say nothing

of their patriotism and valor, upon which we depend more than on weapons.

我等ノ海軍ノ士官並ニ水兵ハ、「彼等ノ愛國心マハト勇氣ノ多キトハ云ハザルモ」尙經驗ト訓練ニ富メリ、我等ハコノ點ニ依頼スルコト兵艦、銃器ニタヨルヨリモ尙多シ。

23. To complete the catalogue of evils, ^{they} quarrelled among themselves.

「不幸ノ極ニ達セルコトニハ」彼等ハ内輪喧嘩ヲナセリ。

24. It is hard for a Scotsman, or an Irishman, to disguise his nationality, not to speak of a Londoner.

「倫敦人ハイフニ及ハズ」蘇格蘭人或ハ愛爾人モ自己ノ坐國ヲ匿スコトハ困難ナリ。

25. Depend upon it, he knows what he is about.

「大丈夫デヌヨ」彼ハ自分ノシテ居ルコトハ承知シテ居ルヨ。

26. No, I think not. To be sure, the sick is not worth much; yet I do not wish to lose it.

「イーエ、私ハ…デ無イト思フ、ソレハイカニモ」、杖ニ格別直打ガアル譯デハ無イガ、デモ失フノハイヤダ。

27. Be that as it may, the matter was kept in abeyance for nearly a month, and it was on the 23rd of January that M. Pokotloff met with the Chinese Ministers in conference for that matter.

「ソレハトツレトシテモ」此事件ハ一箇月許リモ打遣リテアリタノデ、ソノ件ニ付「*Mr. Pokotloff*」氏ガ清國大臣ヲ會見セシハ一月二十三日ノコトナリキ。

28. One's home is one's capital: be a place what it may, one gets to like it, if one lives long in it.

自家ノ住居ハ自家ノ首府ナリ、「場所如何ニ拘ハラズ」、久シク住スレバ、之ヲ好ムニ至ル(住マシム都)。

29. Deprive Euler of his eyesight, and he but studies harder upon mental problems, thus developing marvellous powers of mathematical calculation.

「ウーラー」ノ視カヲ「奪ハンカ」却テ彼ハ思考的問題ヲ研究シ、以テ數學的思想ノ驚ク可キカヲ發揮セン。

30. "Are you joking?" asked the subaltern. "On the contrary," replied the major, "move a muscle and you are a dead man. Can you stand the strain?"

汝ハ冗談ヲサル、ヤ、ト副官ハ尋ネタリ。イヤ決シテ、ソナテ譯テハナイ君ガ筋一ツデモ「動かサンカ」君ハ死セザルヲ得ズ、君ハソノ勞(静止ノ苦痛)ニ堪エ得ルヤト大佐ハ答ヘリ。

31. Let the world without go as it may, let kingdoms rise or fall, as long as he has *schwerdikal* to pay his bills, he is for the time being, the lord of all he surveys.

「世間ハナルマ、ニ、邦國ハ興亡スルマ、ニア、ソハ少シモ彼ニ關スルトモロニ非ズ、彼ハ今日ノ支拂ノ金タニアラバ、差當リ、一人天下デ威張ツテ居ル。

32. Let no more sun rise and set, and the party hoped to quit Vladivostock.

「此上太陽ガ出沒セヌ中ニ」(即モウ一日タノヌ中ニ)一行ハ浦港ヲ去ラント望メリ。

33. He has been acquitted, and no wonder.

彼ハ放免サレタガ別ニ「怪ムニ足リナイ」。

34. You may take my book, and welcome.

汝ハ予ノ本ヲ持ツテ行ツテモ宜イ、「サーサードウト」。

35. All that creates amusement and innocent mirth, we may admit as good, so far as it goes.

何事ニテモ娛樂ト無邪氣ナル歡喜ヲ生ズルモノハ「其範圍内ニ於テハ」善事ナリト認ムルヲ得ベシ。

36. It was black, so far as black goes, but there was no lustre in the colour.

「黒イ事ハ相當ニ黒カツタガ」其色ニ光澤ハ無カツタ。

37. After a journey lasting, so far as my feelings went, about two years, I got to my lodgings.

「余ノ感ジタル處ニテハ」殆ンド二年モ續キシト思ハレタル旅行ノ後余ハ宿ニ歸着シタリ。

◇ 38. **As far as the house is concerned,** our old servant Yaichi would be able to carry on the business.

「他事ノ兎モアレ家事ニ關シテハ」忠僕彌一ハ能ク其事務ヲ行フヲ得ヘシ。

39. "True again" I said, "so far as our experiments go, the magnet pulls iron always, and never any thing else."

ソレモ本當ダ。「私共ガ實驗シタ丈デハ」磁石ハ毎モ鐵ヲ引イテ決シテ他ノ物ハ引カナイ。ト私ガ言ツタ。

40. **No man ever entered Mr. Pitt's closet who did not feel himself a braver man when he came out.**

「ピット」ノ居間へ這入ツタ者ヲ出テ來ル時ニ、エラクナツタ氣ガセモノハナカッタ。「皆シタ」。

41. **Nothing was ever promised me that was not given, nothing ever threatened that was not inflicted.**

約束シタ物ハ貰ハザリシコトナク、(皆貰ヒ)威赫サレタコトデ實行サレヌ事ハナカッタ。「皆實行サレタ」。

42. **I never knew one who made it his business to beat the faults of other writers that was not guilty of greater himself.**

人ノ過失ヲ非難スルヲ仕事ニセシ者ヲ自ラハ一層大ナル過失ニ陥ツテ居ラザリシ者ハ吾未ダ知ラズ。

43. **No man ardently wishes to be submissive, patient, modest, or liberal, who does not become what he wishes.**

自分ノ欲スル所ノ從順、忍耐、謙遜、寛大ニナヌ者ハ、マダソレヲ熱心ニ欲シナイノダ。「熱心ニ欲スレバ己ノ欲スルモノニナレシ」。

44. **He hears of no swordsman but he envies his reputation and must needs put his**

valour to the proof.

彼ハ武士ノ語ヲ耳ニスル毎ニ「必ズ」其名譽ヲ羨シ其實力ヲ試メサントシタ。

45. Indeed, I never heard or saw introductory words "without vanity I may say, &c.," but some vain thing immediately followed.

誠ニ、吾ハ「私ハ斯ノ言ノモ自慢スルヲハ無ク」云々トノ前口上テ話シカケタ人ガ自慢ノ事ヲ直ニ出サヌ例ハ見タ「コトハ無ク」。

46. I was a passionate, headstrong boy; and never did this frame of temper come upon me, but I seemed to see her mild, ^{tearful eyes} tearful eyes full upon me just as she used to look in life.

私ハ怒リ易キ頑迷ナ男兒デアツタ、而シテ、此惡癖ガ心ニ出タ「度毎必ズ」、母上ガ在世ノ頃、私ヲ真向キニ見ラレタアノヤサシキ涙ゲンダ御兩眼ガ目ニ見ユル「様ニ感シタ」。

47. A man's worth lies not so much in what he has as in what he is.

人ノ價值ハソノ有スル財産能力等ニ存スル「ヨリハムシロ」其人物ニ存ス。

48. The difficulty is not so great to die for a friend as to find one worth dying for.

困難ナルコトハ友人ノ爲メニ死スルニアルヨリモムシロ死ンデヤラウト思フ程ノ友人ヲ見付クルニアリ。

49. It is not so much the hours that tell as the way we use them. 效果ヲ奏スルノハ時間ノ數ニアル「ヨリモ寧ロ」時ヲ用キル方法ニアリ。

50. It is not the failure of the Russians so much as the success of the Japanese that is the centre of European interest.

歐洲人ノ注目ノ焦點トナレルハ寧ロ露西亞ノ失敗セルコトヨリモ、日本ノ成效セルコトニアリ。

51. It is not poverty so much as pretence that harasses a ruined man. 零落セルモノノ心ヲ苦シムルハ、貧、ソノモノヨリモ、寧ロ、是ヲカクサントノ念慮

ナリ。

52. The prize was rarely awarded, **not so much** on account of its great value as because the instances are rare that merit it.
 コノ賞品ヲ與フルノ場合稀ナリシ理由ハ、ソノ實質ノ價值ノ大ナリシニヨレルヨリハ、寧ロコレヲ贏チ得ルノ事例ノ稀ナルニヨリシコト大ナリシナリ。

53. A jollier year we shall **not** see.
 (今年ヨリ)尙樂シキ年ハ「再ビアラザルベシ」。

54. **No more** wonderful or attractive region for the explorer can anywhere be found.
 (此地ヨリ)モット探險者ニトリテ不思議ナ或ハ人目ヲ惹ク地方ハ何處ニモ見出サレナイ。

55. **Nothing** can be more inconsistent in us, than aiming at titles.
 何事ヲ雖モ爵位ヲ望ムコトヨリ吾々ニトリテ「矛盾シタコトハナイ」。

56. If a man sink discouraged upon the threshold of a life of fierce competition, he might as well be a dead man.
 猛烈ナル競争ノ人生ニ將ニ出デントシテ落胆ニ沈ム者ハ「寧ロ」死人タルニ「若カズ」(何人モ落膽スベカラズ)。

57. You might as well let him eat your dinner as "do your sums" for you.
 汝ハ彼ニ計算ヲサセル「位ナラ」、汝ノ食事ヲモ彼「ニサセルガヨイ」。

58. You might as well advise me to give my fortune up as my argument.
 私ニ議論ヲ止セトイフノハ、私ニ財産ヲ打捨ヨト「忠告スルノト同シダ」。

59. Many young people continue to practise bad manners because they were not born with natural grace. We might as well refuse to go to school because we were not fitted for college when we were born.
 多クノ青年ハ天與ノ美容品格ヲ有セザルヲ理由トシ不行儀不法ヲ行ヒ續クル者アリ、コレ猶我等ノ生レシ時、大學ニ入ルノ資格ナシトノ理由ヲ以テ、小學校ニ行クヲモ「肯ゼザルト同様ナリ」(何レモ不合理ナリ)。

60. You might as well snub the sun as such men as Bismark and Grant.

「びすまーく」或ハ「ぐらんと」ノ如キヲ抑ヘントスルハ猶「太陽ヲ遮ラントスルカ如シ」(何レモ不可能ナリ)。

第三章 國文英譯

一、東京外國語學校教授村井知至氏ノ意見

(1) 予ガ擔當セシハ和文英譯答案ナリシカ、思フニ受験者ハ英文和譯ヨリモ和文英譯ニ於テ實力ガ更ニ乏シイ様アル、コレハ中學校ニ於ケル英語教授法其當ヲ得ズ、英語ノ語法組立ヲ説クヲ疎ニスルカラニ相違ナイ、英書ヲ講スルニシテモ唯文章ノ意義ヲ教ユルノミテ各語ノ精確ナ意味及ヒ用法ヲ説カナイカラ、學生ハ折角知ツテ居ル單語モ實ニ變ナ用ヒ方ヲナシ滑稽ナ文章ヲ作ルコト、ナル例セバ「私ハ斯フ丈夫ヲモ何時病氣ニナルカ分リマセン」トイフ一文「斯フ丈夫デモ」ニ對シ、受験者ノ誤譯左ノ如キモノガ澤山アル。

- (1) Such strong as I am.
- (2) I am health as such.
- (3) I am such a iron now.
- (4) Although I am so hardy.
- (5) Though I have such elastic body.
- (6) In spite of so well now.
- (7) Now I am wholesome like this.
- (8) I am saintate now.
- (9) In spite of my good construction.
- (10) Although I have such a iron frame now.

語ノ當否ハトニカク形容詞ヲ用ユヘキ所ニ名詞ヲ用キタリ形容詞(名詞ヲ伴ハザル)ノ前ニ冠詞ヲ附シタリ a iron トイヘル如キ英語入門者ノ心得オクベキ普通ノ事ヲ間違ヘルノハ生徒ノ罪トイハンヨリ寧ロ教師ノ罪トイフベキテアル。

又同一問題中ノ「何時病氣ニナルカ分リマセン」ニ對スル受験者ノ誤譯中左ノ如キモノカアル。

- (1) I may fell sick any when.
- (2) I cannot give assurance of it to future.
- (3) It is in complehencibility when I am fallen sick.
- (4) But I may be sick infinitely.
- (5) There is no accounting for my falling into sick what time.
- (6) It is unsuspected that when I take ill.
- (7) Heaven knows however I will died.
- (8) It is very faint that when I fell in sickness.
- (9) Yet I cannot as sure of my perpetual health.
- (10) It is unstable when I fall sick.

之ニ依テ見ルト中々ハツカシイ語ヲ知ツテ居ル様テハアルガ、判然ト此等ノ語句ヲ

記憶シテ居ラス、又其用法ヲ知ラナイタメニ折角ノ智識ガ却ツテ害ヲナシテ居ル様ナ傾キガアル、中學校英語教授ノ任ニ當レル人々ハ平生譯讀ヲ教ヘル際テモ文法ヲ説ク際テモ、作文ノ時間ニ於ケルト同様ニ生徒ヲシテ語句ノ精確ナル用法ニ習熟セシムル様努メネハナラヌト思フ、殊ニ *may* トイフ助動詞ノ次ニ *be* トイフ過去動詞ヲ用ユル様ナ誤リハ中學校卒業生ニアルベキコトテバナイト思フ。

(2) 第三問ニ今頃ハ神戸ニ着イテ居ル筈デアツタトイフ所ガアル、此「今頃ハ」トイフ語ニ對スル受験者ノ答解中ニ

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) till now. | (9) now or so. |
| (2) now where. | (10) this time the day. |
| (3) at now time. | (11) by now. |
| (4) now this time. | (12) now while. |
| (5) about just now. | (13) in the now. |
| (6) now about. | (14) toward this time. |

- (7) about this time of being. (15) nowly.
- (8) now a time. (16) by this time or about.

ナトイフノガアツタ、實ニ滑稽ノ極テアル、譯讀ヲ教ユルノ際、其教科書ノ何タルヲ問ハズ、其中ニアル極ツタ文句ハ「フリース」トシテコレヲ教ヘ生徒ヲシテ其文句ノ下ニ線ヲ引カセ克クコレヲ覺ヘ、且ツ屢々コレヲ見テ目ニ觸レシムル様ニセハ利益多ク「今頃ハ」トイフ如キ句ヲ斯ク雜多ニ記スコトナカルベシト思フ。

- (3) 次ニ Spelling ニ就テ一言セン、今回ノ答案文中、綴リノ誤謬極メテ多ク Strong ヲ Strong ト誤綴シ、Steamer ヲ Steamer ト、Certainly ヲ Certainly ト誤綴スルナトハ普通テアツタ、斯ル誤謬ハ中學教師ノ英語發音宜シカラザルヨリ生シタル結果テアルト思フ、和文英譯第二問ノ「佛語カ獨語ヲ學フ」云々ノ「獨語」ヲ

- (1) German. (3) germany.
 - (2) garman. (4) Doichi.
- ナト書シ、甚シキハ第三問ノ「神戸ニ着イテ居ル」ノ神戸ノ羅馬綴サへ間違ヘテ。

- (1) Kobet. (3) Conva.
- (2) Kobey. (6) Kobu.
- (3) Koobe. (7) Konba.
- (4) Koba. (8) Covr.

ナト書イタノガアツタ、中學卒業生デ羅馬綴リ位ハ間違ヘナイ様ニ平生注意シテ貰ヒタイノテアル、今日ノ中學英語教育ニ於テ今少シク書取(デクテーション)ニ重キヲ置ク様ニセバ以上示スガ如キ誤綴ナトナクナルデアラウ。

- (4) 最後ニ受験者ガ日本語ヲ直譯シタ五六ノ例ヲ舉クレバ、
- (1) Had could not. (出來ナカッタ)
- (2) I am appeared very well. (丈夫ニ見エテアル)
- (3) I was expected to study. (勉強スル積リテアツタ)
- (4) I was intended to study. (同上)
- (5) I have been thought to study. (勉強セント思ッテ居タ)

- (6) She must should have been reached to Kobe. (神戸ニ着ク答デアッタ)
- (7) She must arrived. (同——)
- (8) I can not understand when I have sick. (何時病氣ニナルカ分リマセン)
- (9) I can not learn.....

ナトカアツタ此ハ英語ノ文法ヤ語法ヲ無視シ唯タ日本語ヲ直譯セント勉メタ結果
 コンナ妙ナ英譯カ出來タモノニ違イナイ。

中學英語教授者ハ日常日本語ト英語トハ文法ヤ語法、句格ノ異ル點ヲヨク注意シテ
 生徒ニ吞込マセル様教ヘナケレハナラス。

一、和文英譯ノ心得

和文英譯ニ就テハ、前項村井教授ノ報告書、並ニ後章高島教授ノ意見書ニ於テ殆ト論述
 シ盡スヲ以テ、最早吾人ハ蛇足ヲ加フルノ必要ナシトイヘトモ、尙少シク吾人ノ見ル所
 ヲ述フレバ、元來「和文英譯」ノカハ直接和文英譯ノ練習ヨリ來ルモノニアラスシテ、ソノ

根本ハ英文和譯ニアル「カ如シ、サレバ英文ヲ譯スルニ當リテ、カノ日本文ニシテ日本文
 ナラサルカ如キ譯文ハ、嚴ニコレヲ避ケ、常ニ正確ナル日本文ニ解釋スルノ習慣ヲ養ヒ
 以テ和文英譯ノ助ケトナサルベカラズ、然ラサレバカノ所謂日本の英文ニ陥ルノ恐ア
 リ、吾人ノ見ル所ニヨレバ、眞ニ英文ヲ和譯シ得ル人ハ、マタ眞ニ和文ヲ英譯スルノ人ナ
 リ、世上所謂某教師ハ和文英譯ニハ巧ナレトモ英文和譯ニハ拙ナリトノ見解ハ、決シテ
 正當ナラズ、而シテ亦世ニ専門ノ英文和譯ノ教師アリト言ハ、誤レリ。
 和文英譯ヲナスニ當リ、一般學生ハ和英辭書ヲ以テ、コレカ助ケトナストイヘトモ、和
 英辭書ハ其儘直ニ和譯ニ役立つモノニアラズ、和英辭書ニヨリテ得タル語句ヲ、更ニ英
 語辭書ヲ以テ十分ニ吟味シ、而シテ適當ナル語ナルヤ否ヤヲ判定セサルベカラズ、カノ
 中學生ガ化物的英文ヲ作ル原因ハ、主トシテ和英辭書ヲ用ユルニヨルモノナリ。
 多クノ學生ハ、和文ニ於ケル名詞、動詞、副詞ハ、英文ニ於テモ必ス名詞、動詞、副詞トシ、
 所謂 Literary translation トセサレハ安ンセサルカ如シ、コレ大ナル誤ナリ、和文ヲ譯スル
 ニハ Construction ニ顧慮スルヲ要セズ、タゞ「和文ハ英文ナラハ如何ナルモノナル

ヤヲ考へ、而シテソノ英文ヲ作り、更ニ餘力アラバ、和文ノ語句ニ對スル穿鑿ヲナスベシ。試験官ノイフ所ニヨレバ、受験者ノ多クハ、最モ必要ナル文章ノ構造ヲ忘レテ、單ニ部分的ノ語句ニ拘泥シ、或ハ subject ヲ欠キ或ハ predicate ナキガタメ全ク英文ノ體ヲ備ヘサルモノ多シトイフ、コレ一般學生ガ四肢、機能ハ具備セザルモ、容貌美ナラバ撰バシトシ、四肢、機能ハ完備スルモ容貌醜ナラバ捨テントスル一種ノ病弊ノ影響ナルナカラシヤ。

語句ヲ用ユルニ最モ注意スベキハ、自分ガ master セルモノヲ用キ、決シテ半知半解ノモノヲ用キサルコトナリ、又自分ガ會テカクノ如キ譯文ニ當ル英文ヲ讀ミシコトアリヤ否ヤヲ考へ、コレヲ記憶ニ喚起スコトヲ得バ、必ズソノ中ノ語句ヲ使用セザルベカラズ、讀書力ノ和文英譯ニ至大ノ關係アルハ即チコノ點ニアリ、自己ノ頭ヨリ製出シタルモノハ決シテ英文ニアラサルコトヲ記セサルベカラズ、而シテ文章ノ要素タル subject 卜 predicate, subject ノ person 卜 predicate ノ person ガ一致セムヤ、form ヲ誤ラサルヤ等ハヨクコレヲ穿鑿セサルベカラズ。

二、和文英譯問題答案

吾人ハコ、ニ某學校入學試験問題答案ヲソノ儘掲ダテ一般學生ノ通有ナル誤謬ヲ指摘シテ受験者諸君ノ參考ニ資セントス。

- (1) 左様サ、山田君ノ來タノハ先月ノ二十三日、村上氏ハ明日出發ストノ話ヲシタカラ、村上氏ノ立ツタノハ二十四日デアッタ。
- (2) スウ毎日ノ雨デハ、到底モ仕事ハ捗取ラナイ。
- (3) 彼ハ東京へ來テカラ、十二年目ニ始メテ、向島へ櫻見ニ出掛ケタトハ驚クデハ無イカ。

右三問題ニ付、出題者ノ目的トスルトコロヲ推測スルニ、第一ハ Indirect narration 第二ハ、直譯ニテハ無意義トナルモノ、第三ハ Tense 及び phrase ニアルコト疑無シ、其他一般英語ノ學力ガ、各文ニ於テ試ミラル、ハ勿論ナリトス、コレニ對スル答案ノ中五通ヲ示サハ次ノ如シ。

A.

1. Well, it was on the 23rd day of last month that Mr. Yamada came here and it was said that Mr. Murakami was to start on the morrow. Therefore the former left on the 24th day, I dare say.
2. Having had such a rainy weather every day, we do not make progress in every-thing in which we are engaging at all.
3. Strange to say he has visited for the first time at Mukojima to see the cherry blossoms when thirteen years had passed since he set his foot on Tokyo.

B.

1. Well, it was 23rd of last month that Mr. Yamada came. He told me that Mr. Murakami would leave there the next day. Then Mr. Murakami's sitting out was 24th.

2. As it rains every day as this, the works don't get on well, by any means.

3. How am I surprised at to hear that he went to see the cherry blossoms at Mukojima for the first time after 13 years since he had been at Tokyo.

C.

1. Yes, the day was the 23rd, last month that Mr. Yamada came. They said that Mr. Murakami would start the next day, so Murakami's start was on the 24th.
2. As it rains like that every day, the work may not be succeeded rapidly at the most.
3. I am surprised that he should have been to Mukojima to see the cherry blossoms for the first time after thirteen years he had come up to Tokyo.

D.

1. Say, when Mr. Yamada came to my house on the 23rd of last month, he had told "Mr. Murakami will start to-morrow." So Mr. Murakami started out on the next day.
2. At all the works cannot be done so quickly, owing to every day's rain.

3. I wonder that he has been to see the cherry blossom to Mukojima at first time since he came to Tokyo about thirteen years ago.

E.

1. So I On the 23rd of the last month, Mr. Yamada came, and then he tolled me that Mr. Murakami would start to-morrow so Mr. Murakami must be started on the 24th.

2. I am not do quickly the work at all in such rainy every day.

3. I am astonished that he has been at Mukojima to see the cherry blossoms for the first time in the 13th year of since he has come to Tokyo.

右伊太利體部分ハ到底取リ去ラザルベカラス、今一々其ノ誤謬ヲ訂正シテ示サズト雖モ讀者諸君ハ作文ノ練習トシテ之ニ對セバ自ラ得ルトコロ少ナカラザラン、而シテ以上和文三問ノ中最モ短文ナル第二問ヲ正シク解答シ得タル者殆ンド一人モ無キハ注目スベキコトナリ、即チ、一般學生ハハハケ敷語句文章ハ平日之ヲ書カント練習スルモ短文平易

ナルモノハ返テ之ヲ輕視シテ省ミザルヲ證スルモノナリ、コレ今後中學ノ教師諸賢並ニ學生諸君ガ注意セラレシコトヲ望ム。

四、入學一ヶ年後ノ和文英譯ノ成績

次ニ吾人ハ某官立學校生徒ガ入學ノ後滿一ヶ年、即チ一年級最終ノ試験ニ於テ、和文英譯ノ答案トシテ提出セルモノニ就キ一例ヲ示サン、要スルニ既ニ一ヶ年間高等ノ學校ニ於テ學ビタルコトナレバ、中學生ノ如ク主格ヲ欠キ又ハ客語ヲ畧スルガ如キ文章ヲ見ザルモ、尙、文字ノ使用法、意味ノ表ハシ方、文章ノ組立、等ニ於テ、決シテ満足スベキモノニ非ズ、只漸次進歩ノ途ニアルヲ見テ聊カ慰ムルニ足ルアルノミ。

和文英譯問題 (時事新報社説ノ一部)

吾國戰後ノ經營ヲ思ヘバ、國勢ノ隆起ト商業ノ發展ト相伴ヒ、吾船舶ノ南米ニマデモ達セシムベキ時アルハ勿論ナルガ、併シ吾人ハ是等自然ノ發達ニノミ委スベキニ非ズシテ、戰爭中大ニ増加セル船舶ノ爲ニ、新市場ヲモ發見セザルベカラス。

(1)

Reflecting upon the *affairs of post bellum*, it is not doubted that along with the expansion of our national *influence* and development of our trade, *there must be sometime* when we shall spread our wings toward South America. But we can not well contentedly rely upon its natural development. *Still more when we consider the urgent necessity of opening new trading ports to manage the vessels which we pressingly increased during the war!*

(11)

It is *undoubtedly* that after the war our *commerce is to extend* over to South America by the development of our *country* and by *that of our commerce*; but we must never wait, *holding our hands, till when their natural developments are done by degrees.*

Much more, it is a pressing importance to open new ports to trade, so that we may dispose of many many ships which were increased during the war.

(11)

We do not doubt that the day will come to *stretch* our mercantile business to the South America, along with the expansion of our *national power* and the progress of trade as a result of the war. But *in this case, we could not bear to leave the growth of itself, still more how necessary it is for us to open the new trading ports and employ the ships which were built precipitately during the war.*

吾人ハ今右ニ譯文ニ就キ表ハシ方ノ著シク宜シカラザルトコロヲ伊太利體ニセシガ中ニモ著シキヲ擧クレハ(一)ニ於テハ

イ、戦後ノ經營、ロ、國勢、ハ、時來ラン、ニ、新市場ヲ開ク、ホ、増加セル船、

(二)ニ於テモ又(三)ニ於テモ、殆ンド同一ノ個所ニ欠點多キガ上ニ、更ニ他ニ於テ到底活カス可カラザル語句ノ用法アリテ、(一)ヨリ更ニ不可ナルモノアリ、今吾人ハ之ヲ添削シ可成丈原文ノ語句ヲ活カシ見シ、次ノ伊文字ヲ用キタルトコロハ是レ筆ヲ加ヘタル

モノナリ。

(1)

Reflecting upon the *post-bellum* affairs, it is not to be doubted that along with the expansion of our natural resources and development of our trade, a time must come when we shall spread our wings towards South America. But we can not contentedly rely upon its natural development. *Indeed it is a matter of urgent necessity to open new markets for the sake of the many vessels which passed into our hands during the war.*

(11)

It is *not to be doubted* that after the war the field of our activity will extend itself over to South America, along with the development of our resources and commerce; but we must *not wait with folded arms for the arrival of such a time.*

Indeed, it is very important for us, to open new markets, so that we may be able to employ those many ships which came into our possession during the war.

(111)

We do not doubt that the day will come when we shall extend our mercantile business to South America, along with the expansion of our national resources and the progress of our trade both of which are sure to follow as a result of the war. But at the same time, we could not bear to leave the matter alone with no effort on our part. *It is absolutely necessary that we should open new markets so that we may employ those many ships which were built or bought during the war.*

更ニ吾人ハ數言ヲ費ヤシ學生一般共通ノ誤謬ヲ詳センニ、「國勢」ヲ譯シテ、national power 又ハ influence トセシム、語ヲ譯シテ意ヲ譯セサルモノト言ハザル可カラズ、孤立セル一句トセバ、以上ノ如ク譯スルモ敢テ誤トハ言フ可カラサルモ、此所ニテハ前後ノ關係上、即チ外國トノ貿易上ノ「國勢」ナレバ輸出ノ源泉、即チ國富 national resources トセザルベカラズ、次ニ、「新市場」ヲ ports 又ハ trading ports ト譯セルハ、是レ日本

語ノ「新市場」ナル意味ヲ了解セザルノ結果ト言ハザルベカラズ、「新市場」ハ「商品ノ捌ケ先」ニシテ。互市場又ハ開港地ナラザルコトハ、原文ヲ讀ミ何人モ誤解スベキ筈ナルニ、「支那ハ今回直隸沿岸ニ(新市場)ヲ開クノ意アリ」ノ(新市場)ノ如ク解セルハ、餘リニ常識無キ次第ト言ハザルベカラズ、其他「自然ノ成行ニ任スベカラズ、戰時大ニ増加セル船舶ノ爲ニ云々」ノ如キ、言ヒ廻シノ少シク込ミ入リタルトコロニ於テハ、凡テ其構造用語共ニ大ニ直譯的無意味ノ rendering アリシハ猶英語ニ熟セザルヲ表シテ餘アリ。

第四章 英語文法、及英語書取其他

一、第五高等學校教授厨川辰夫氏ノ意見

拙者ノ採點シタル英語書取ト英語文法トノ内、後者ニツキテハ特ニイフヘキコトナシ、然ルニ前者ハ之ニ反シ、其結果甚シク不良ナルモノ尠カラサルヲ見タリ、其原因トシテ認めラルベキハ、次ノ四項ナルガ如シ。

- (1) 受験者者ガ發音ヲ聽取スルノ練習ニ乏シキコト(換言スレバ耳ノ練習ノ足ラサルコト)。
- (2) 文章ノ朗讀ヲ聽キテ直ニ其意義ヲ解スルニ熟セサルコト。
- (3) 受験者自ラノ發音不正確ナルコト(例ヘハ平素自ラエ音トI音トノ區別ナク發音セルヲ以テ之ヲ紙上ニ寫スニ當リテモ兩者ヲ混スルノ類)。
- (4) 單語 (Vocabulary) ノ智識甚タ乏シキガタメニ、發音ヲ聽取シ得ルニモセヨ、コレハ紙上ニ寫シ能ハサルコト。

二、第一高等學校、講師和田正幾氏ノ意見

英語文法

- (1) 第一問ノ命令中、The parts of the underlined words. The part of speech of each of the underlined words. トセサリシヲ遺憾トス、何トナレハ受験者中 1. a. ノ such 7 as. 1. b. ノ needs 7 hard 二語々ノ連ナリタルモノ part of speech ヲ問

フモノト誤解シタモノアリ、素ヨリ此様ナル誤解ハ何等ノ理由ナキモノナレトモ問題ノ命令ノ如キハ極メテ明白ニ一點ノ疑フベキ所ナク、又誤解ノ生スベキ餘地ナキ様ニ記スベキモノト思考ス。

- (2) 又第一問ニ於テ underline アレハ italic ニテ記ス必要ナク、italic ニテ記スレハ線ヲ除キ underlined ヲ italicized トスレハ可ナリ、本紙ニ於ケルガ如ク italicize シタルモノヲ underline スルハ不必要ト思考ス。

- (3) I, he, no, as, 關係代名詞トカ、接續詞トカ、文法ニヨリテ種々ノ見解アリ、此様ナ面倒ナル語ヲ高等學校入學試験ノ問題中ニ入ルベキモノニヤ。

- (4) I, a, no, such, to, as, 二語ニテ形容詞ナリト記シタルモノ又 to, as ヲ前置詞ナリト記シタルモノ多シ、抑 to, as ヲ前置詞ナリト記シタルハ何ヨリ割出シタル考ナルカ。

- (5) I, he, no, needs, ヲ動詞ナリト記シ、尙其説明ニ三人稱單數ナル故ニ to ヲ附シアルナリト記シタルモノ極メテ多シ、而シテ副詞ナリト記シタルモノ極メテ少シ、hard ハ誰モ先ヅ形容詞ト覺ユル故、先人主トナリテ、此所ニテハ副詞トシテ使用シタル

モノトハ心付カズ、形容詞トシテ何トカ纏リヲ付ケントシテ無理ニ work, no, complement ナリトカ、又 work, no, modify, する形容詞ナリトカ記シタルモノ多キヲ認ム、同一ノ語ニテハ種々ノ part of speech ニ使用セラル、モノ多キコトヲ一層詳カニ教ユル必要アリト思考ス。

- (6) I, a, no, am, no, were, to, him, no, he, to, するハ普通ノコトナレトモ之ヲ知ラサルモノ案外ニ多シ。

- (7) I, to, no, most, no, 大概ト解スルモノ少キヲ認ム、children ヲ單數ト考ヘ、go, no, goes トシタルモノ多シ、children ヲ複數ニナサントシテ to, no, go, to, bed ノ如キハ言語道斷ニシテ中學校卒業生等ニハ有間敷間違ナリ、to, go, to, bed ノ如キ公式的 idiom ヲ初メヨリ數ヘ込ム必要アリ。

- (8) I, a, no, of, to, about, to, する入ルベキ所へ、轉倒シテ入レタルモノ多シ。

- (9) I, a, no, at, suffering, with, influenza, to, 又 since, two, weeks, to, するモノ隨分多數ヲ占メ居レリ、病氣ニ罹ルトキに suffer, no, from, no, 附スルガ如キ又 two, weeks

ノ如キ period of time ノ前ニ since ヲ用ユベカラサルコト等ハ一定不變ノモノトシテ教ユル必要アリ。

- (10) 要スルニ文法ハ中學校ニ於テ、一層實用的ニ教授セラレタキモノト思考ス。

國文英譯

- (11) 第三問ノ如キハ成ルベク受験者ヲシテ英譯スルニ便利ヲ與フルタメ所謂直譯體ヲ用キタルモノナルベケレトモ、第二、第三トモ其意義明瞭ナラザルヲ遺憾トス、以後ハ邦文トシテ遺憾ナク、何人モ誤解スルコトモナク、又二様ノ解釋ノ出來得ヘカラスアル文ヲ撰ムベシ。

英語書取

- (12) 今後ノ試験ニ於テハ、書キ取ルベキ文ノ subject ヲ最初ニ知ラセ置クヲ至當ト思考ス、斯スレハ受験者ハ豫シメ其趣意ノ何タルヤヲ了解シ、大ニ便利ヲ得ベシ。
- (13) 書取文中 Thorny boughs ノ如キ受験者ノ餘リ出會セサル語ハ無キモノヲ選フベシ。

英文解釋

- (14) 問題ノ撰定遺憾ナキヲ得ズ、諸方ヨリ持ち合セテ之ヲ擊付ケタルモノ、如ク、第三第四問ニハ due to ナル同一ノ句アリテ面白カラズ、第一問中ニハ because that ノ如キ現今餘リ使用セサル體裁ノモノアリ、問題撰定ニ關シ、今一層ノ注意ヲ要スルモノト認ム。

二、英文法ヲ學ブノ心得

吾人ガ現今中學ニ於ケル英文法ノ教授ヲ見テ常ニ遺憾トスル處ハ、一學年ニ於テ名詞ヨリ始メテ動詞ノ中途ニ終リ、次學年ニ於テ、更ニコレヲ繰返シ、終ニ文法ノ全般ヲ教授シ得サルニアリ、文典ハ決シテ部分的ノモノニアラズ、ソノ全體ニ通ジテ始メテコレヲ應用シ得ルモノナルコトハ吾人ノ言ヲ俟タスシテ明カナリ、試ミニ第三「リーダー」中ノ一文ヲ取リテコレヲ論スルモ、優ニ文法書一卷ヲ作り得ベシ、文章論ニ於テモマタ然リ、サレバ文典ハ淺クトモ全般ニ通セサルベカラズ、若シ望ミ得ベクンバ、一學期中ニソノ全體ヲ授ケ、漸次ソノ廣サト深サトヲ増サンコトヲ望ム、抑モ文典ハ、英米人ニアリテハ

correct speaking と correct writing トヲ助クルノミナレドモ、日本人ニ取リテハ、「英文ヲ書クト同時ニ英文ヲ解スルニ屈強ナル武器」ナレハ、讀書文典ナル一種ノ文典ヲ組織スルノ價值アリト信ズ、英文典ニ於テ特ニ注意スベキハ動詞ノ conjugation, tense, mood form 等ナリ、コレ等ハ常ニ例題ニヨリテ演習ヲ怠ラサレバ自ラ會得スルコトヲ得ン、徒ニ理論ト例外トノミヲ知リテ、コレヲ實地ニ應用シ得サルハ一般學生ノ通弊ナリ、省ミサルベカラズ。

四、書取ノ心得

書取ハ試験官ガ必ズ始メニ一度朗讀スルモノナレバ、ソノ時出來得ルダケ意義ヲ解スルコトニ勉メサルベカラズ、書取ノ際ハ、一群ノ文字ヲ一度ニ讀ムモノナレバ、絶對的ニ sound ノミヲ以テ catch スルコト能ハズ、sound ト meaning トヲ理解シテ、コレヲ書取ルニアラサレバ到底完全ヲ期スベカラズ sound by sound ニテハ幾年陳習スルモノノ上達ハ望ムベカラズ、今、書取ニツキ最モ注意スヘキ數點ヲ擧クレバ、

1. 習慣上ノ綴、即チ silent letter ヲ有スル字、high, through, 又ハ Stephenson ノ如キコレハ習慣上ノ綴ナレハ暗記セサルベカラズ。
- (2) 同シ sound ノ字、there ト their, see ト sea ノ如シ、前後ノ關係ニヨリ、コレヲ見分ケサルベカラズ。
- (3) 學生ノ最モ誤リ易キハ *th* ト *sh* ト *l* *v* ト *b* *s* ト *er* ト *ar* 及ビ *c* 音ニ續ク時即チ receive ヲ receive トナス、*e* *i* ノ二ツノ母音重ナリテ。ノ後ニ來ルトキハ、ソノ綴ハ必ズ *e* ナルコト等ヨク記スヘキナリ。
- (4) Punctuation ヲ付スルコトハ困難ニシテ、ヨク文章ノ意義ヲ解セサレバ能ハズソノ學力ト相伴フモノナレトモ、止ムヲ得ズンバ、試験官ガ最後ノ一讀ノ際、ソノ抑揚、緩急ニヨリテ附スベキナリ、疑問符ハ殊ニ注意スベシ。
- (5) 不知ノ字ニ際シタルトキハ、コレカタメニ躊躇セズ、空所ヲ置キテ進ミ、最後ニ sound ニヨリテ書入ル、ベシ、一字ノタメニソノ前後ヲ攪亂セサル様注意スベシ、イラハ易クシテ、コレカ實行ハ難シ、殊ニ試験場ニ於テハ動モスレハ狼狽シテ自分

ノ熟知セル字サヘ誤ルコトアリ、寂然自若ノ修養モ、マタ受験準備ノ一科タラン
カ。

(6) Capital letter ヲ誤ラサルコト、London ヲ London トセルカ如キ、不注意ニ出テタ
リトスルモ、決シテ恕スベカラサルナリ、一例ヲ擧クレバ、

Railway Nationalisation Bill was handed over to a committee on Sunday last. 等

(7) 字體ヲ明晰ニ書クベキコト、a t o e t h r t b. ソノ何レナルカ試験官ヲ
シテ惑ハシムルハ、受験ノ術ヲ得タルモノニアラズ。

コレヲ要スルニ、前ニモ述べタルカ如ク、「書取ハ sound ノミニヨリテ、ナスコトヲ得ズ、
英文和譯、和文英譯ノ力、加フルニ自己ノ發音カ正確ナラザレバ、完成ヲ期シ難クレバ、
書取ハ英語ノ e i t o i f m 過言ニアラズ、故ニ平素コレニ練習ヲ怠ラサレバ、音ニ書取
ニ熟スルノミナラズ、英語ノ凡テニ著シキ進歩ヲ見ルハ、吾人ノ實驗セル處ナリ、コレガ
練習ヲナスモ word by word ニテハ斷シテソノ効果ナシ、必ズ part by part ニ依ラサ
ルベカラサルコトヲコノニ再言セントス。

吾人ハ次ニ某學校入學試験書取問題ノ二三ノ成績ヲ手蹟ノマノコレヲ示シ、ソノ最モ誤
リ易キ點ヲ指摘シテ、受験者ノ參考ニ供セントス試験場ニ於ケル周章苦悶歷然トシテ見
ルハシ、コレ全ク平素ノ練習ノ足ラサルノ致ス所、讀者勉メサルベケンヤ。

書取問題

The good scholar at school, more than the poor scholar, is likely to
develop into successful manhood. Yet many heads of classes, and many
more not far down the scholastic ramping-line, have made failures of life,
while many a boy at the foot of his class, or near the foot of it, has
been the first to cross the tape of life's track of accomplishment.

右ノ問題ニ對スル受験者ノ成績ハ次ノ如シ。

注意 右語ト語トノ間隔廣キトコロニ於テ試験官ハ pause ヲ置キテ書キ取ラセタ
ルナリ。

讀者諸君、以下四頁ニ示セル寫眞版四面ニ對シ精細ナル注意ヲ拂ヒ以テ諸子カ戰友ノ眞蹟ニ對シ大ニ同情ヲ起サ、ル可カラズ、又自ラ大ニ之ニ鑑ミテ諸子カ實戰ノ際後レヲ取ラザル様注意セラルベシ

(1)
The good soldier as related
more than the poor relation is
likely to develop into successful
war hero. Yet many heroes of
classes and many more not far
down the rehabilitate line,
have made failures of life while
wearing a bay at the foot of the
plaid or near the foot of the
sho from the first. It is
the tale in Ligeia's track of
accomplishment.

Distinction

The good scholar at school more than the poor scholar is likely to develop into successful manhood. Yet many heads and many more not for them the scholar's line have made for him while many a boy at the west of or near foot has been the first to cross the tape in life track of accomplishment.

The good scholar at school more than the poor scholar is likely to develop into successful manhood. Yet many heads of ~~scholar~~ and many more not for down the scholar's ranking line have made fears of life while many ~~away~~ at the foot of the class or near the foot of it has been the first to cross the leap in life's track ~~over~~ ~~at~~ ~~the~~ accomplishment.

(四)

*The ^{scholar}scholar at school more
 than the poor scholar is likely to
 develop into successful
 manhood. Yet many heads of
 classes and many more not
 far down the scholastic
 ranking line, have made failures
 of life, while many a boy at
 the foot of his class or near
 the foot of it has been the
 first to cross the at tape in
 pipes track of an over accom-
 plishment*

(1)

此書取ハ體裁稍完備シ「ハンド」モ普通ナレバ或ハ及第ノ「マーク」ヲ得タルヤ、遺憾
 トスベキハ學生ナル文字 scholar ヲ scholar ト綴リ、同文字ノ形容詞 scholastic ヲ
 scholastic トセシハ平日同一ノ語原ヨリ發生セル諸語ヲ相比較シテ記憶スル事ノ練
 習ヲ爲サント表ハヌカト思ハル、school ヨリ scholar 來リ scholar ヨリ scholastic
 來ルモノニシテ俄ニ「ガ」ニ變ズル理由ナキニ之ヲ平日注意シ居ラザルヤノ疑無
 キ克ハズ、次ニ handwriting ヲ書キ得ザリシハ此部分意味少シク困難ナルヲ以テ音ヨリ
 見ルモ一字ノ意ヨリ見ルモ此語ハ敢テ聽キ取リ難キモノニ非ザレ共此受驗者ガ之
 ヲ書シ得ザリシハ敢テ中學卒業ノ學力程度ニ見テハ非難スベキモノニ非ズ。

(2)

此書取ハ第一ノ者ト比シ「ハンド」ニ見劣リセラルノトコロ無ク從テ試験場中胸騒
 キ指頭戰ヲノ場合ノ者トシテ先ツ宜シトスベシ。サレド自己ニ最モ縁アル學生ナル
 文字ヲ schore トニ度々テモ綴リタルハ不可ナリ、又 develop 又ハ develope ヲ
 develop, manhood ト manhood, many ト many, scholastic ト scholastic, cross
 ヲ cross, life's ト life's トシタルハ普通ノ學力以上アリト見認ムヲ得ズ、只音ニ依

リテ書キ取リタル形跡多ク意ヲ解シテ書キ取リタル形跡ノ少ナキハ遺憾ナリ。
 (3) 此書取答案ハ「ペン」モ宜シカラザリシガ如ク又此答案者ノ「ハンド」モ宜シカラズ、最初ノ部分並ニ最後ノ部分ニ比較的善キ成績ヲ表ハセドモ中央ニ於テハ頗ル狼狽セル跟踪ヲ殘セリ前掲ニ答案ガ揃ツテ誤レル學生ナル文字 scholar ヲ正シク綴リタルトコロ develop ラヤツテ抜ケタルトコロ天晴ト言ハザル可カラズ、若シ此人ニシテ平素今少シク「ハンド」ニ注意シ居タランニハ中々見勝リスル答案ヲ書キ得タリシナラン、今三ヶ月間程此點ニ注意シ書取ヲ練習セバ及第ノ成績ヲ取ルコトハ請合ナリ。

(4) 此書取者ハ「ノ貧ツキ者ヲ所有シタルニハ非ザルカ」「ハンド」モ善キニ非サレド表ハレタルトコロ前ニ答案ニ比シ頗ル見劣リセラル又綴字モ前二者ニ加ヘ a boy フア boy トセシハ殘念ト言ハザルヲ得ズ、stage フ stage トシ、第二答案モ同様ナルガ of accomplishment ヲ over accomplishment トセシハ此個所ノ意ヲ解セザリシヲ

表ハス。

第五章 東京高等商業學校教授高島拾太氏ノ意見

入學受験準備ノ心得

現今ノ中學卒業生ト、往年ノ所謂大學豫備門ノ生徒トノ英語ニ於ケル學力ヲ對照スルニ、勿論コレヲ絶對的ニ比較スルコトハ難ケレド、一般ヨリイヘハ、豫備門ノ生徒ハ中學卒業生ヨリ勝リ、特種ノ點ニ至リテハ後者ノ勝リタル所アリ、一言ニシテ盡サハ前者ハ自然的ニシテ後者ハ機械的ナリ、ソノ原因ハ主トシテ、豫備門ニ於テハ何レノ學科モ皆英語ヲ以テ學習シ、ソノ教授法モ組織ナク、恰モ小兒ガ長スルニ從ヒ自國ノ言語ニ熟スルガ如キ方法ニヨリ、而モ修學年限長クシテ學科目少ナク、専ラ英語ニ力ヲ盡スコトヲ得シニ反シ、今日ノ中學ノ教授法ガ、理論的ニシテ而モ學科目ハ多方面ニ涉リテ、語學ノ研究ニ十分ノ時間ヲ許サズ、加フルニ年限ノ短キニ依ルナラン、要スルニカレハ實用

英文和譯

即チ讀書力ハ近來ニ至リテ著シク減セリ、コハ

(1) 今日ノ中學ニテハ、難解ノ書ヲ避ケテ、平易ノモノノミヲ讀マシムル方針ナルニヨリ、生徒ガ苦心シテソノ解釋ニ勉メサルニ因ル。

(2) 今日ノ學生カ文學的ノ素養乏シキニヨル、往年豫備門時代ニハ國語、漢文ニ重キヲ置キシニ反シ、今日ハ科學ニ專ラカテ致シ、國語漢文ヲ輕視スルカ故ニ、入學試験ニ際シテモ、科學的ノ問題ハ、比較的ヨク解スルヲ得レトモ、文學的ノ問題ハ、殆ト之レヲ解スル能ハス、漢文國語ト英語トハ直接何等ノ關係ナキモノ、如クナレトモ、何レノ國トイヘトモンノ美妙ノ結構ニ至リテハソノ軌ヲ一ニス、國語漢文ノ素養深カラサレハ、マタ英語ニモ造詣深キヲ望ムヘカラサルナリ。

(3) 讀本ノ種類ノ變化少キニヨル、今日「リーダー」以外ニハ殆ト傳記、た物語、修身書ニ限ルカ如シ、入學試験問題ニモ修身のモノヲ出セハ多少解釋スルコトヲ得レトモンノ他ノモノニ至リテハ、殆ト之レヲ解スル能ハス。

從來ノ入學試験ノ成績ニ徴スルニ、一般學生ニ通有スル缺點ハ概テ次ノ如シ。

(1) 「アテ讀」ノ多キコト、即チ全體ノ文章ヲヨク吟味セシテ、只二三字ヲ見テ自分勝手ノ解釋ヲナスコトナリ、嘗ツテ Poverty is not good under any circumstances. ヲ譯シテ「貧窮ハアル場合ニハヨカラス、即チアル場合ニハヨキコトモアル」ト譯シ、一筆ノ食、一瓢ノ飲、陋屋ニアリテソノ樂ヲ改メサル顔回ヲ引出シテ、ソノ例證トナスカ如キ、抱腹ニ堪ヘサレトモ、コレ全ク文章全體ヲ見スシテ只二三ノ字ヲ見、直ニ自己ノ臆測ヲ以テコレヲ解セントスルニヨル。

(2) 單語ノ意義ノ shade ヲ知ラサルコト、例ヘハ despise モ contemptation 共ニ單ニ「卑シム」ト譯シ、ソノ間ニ美妙ノ用法ノ區別アルヲ知ラス、又此間ノ試験ニ於ケル save ノ如キモ、只「救クル」ト譯スルヲ知ルノミコト、except ノ意アルヲ知ラス、コレハ主トシテ英語辭書ヲ用キスシテ、怪シキ英和字書ヲ用ユルニヨルモノナリ。

(3) particle ヲ等閑ニスルコト、yet 或ハ already ノ如キ簡單ナル particle カソノ文章ノ骨子タルニ氣付カス、漫然コレヲ解釋スルコト。

(4) Punctuation ノ意ヲ知ラサルコト、即チ「コロシ」「セミコロシ」ノ解釋ヲ誤リ、ソノ文章ノ意義以外ニ涉ルノ弊。

コノ他舉ケテ數フヘカラサレトモ、以上ハソノ最モ著シキモノナリ、コレ等ノ缺點ヲ補フタメ、吾人ハ先ヅカノ中學卒業生ガ、所謂受験準備ト稱シテ、受験的問題即チ Ictona ナドヲ集メタルモノナトヲ讀ミテ試験ニ應セントスルモノヲ戒メントス、英文ハ決シテソノ中ノ一言一句ヲ以テ解スベキモノニアラズ、殊ニ大家ノ文章ハ、ソノ前後トノ連絡深クシテ、中々一言半句ヲ以テ到底解シ得ヘキモノニアラズ、然ルヲ單ニ熟語成句ノミヲ暗ンジテ、以テ受験ノ用ニ供セントス、富籤ヲ引クカ如シ、試験官ノ出ス問題ノ範圍ハ廣クシテ容易ニコレニ當ルコト能ハズ、總ジテ難句集ナドハ、全體ノ英語ノ力ヲ増サシムルモノニアラス、タゞ一言一句ヲ知ルヲ得ルノミ、決シテ受験準備ノ好資料ニアラサルコトヲ知ルベシ。

入學試験ノ答案ニ、意義疎隔トシテ解スベカラサルアリ、ソノ甚シキハ始メ意義ヲ直譯體ニ書キ、次ニ「即チ」トシテ意義ヲシキモノヲ書ケルモ、ソノ直譯ト意義ト矛盾スルモ

ノアリ、吾人ノ經驗ニヨレハ、コレマデ入學試験ノ答案ニ「即チ」ノ申譯ヲ書ケルモノニ殆ド誤ラサルモノナシ。

某外國教師曰ク日本中學卒業生ニシテ英國ニ於ケル十歳ノ小兒ノ知レル普通ノ語ヲ解シ得ルモノハ、僅ニソノ三分ノ一ニ過キサレベシト、吾人コレヲ某中學ニ於テ試ミシニ果シテ然リキ、心細キ限リナリ、勉メサルベカラズ。

コレヲ十年前以前ニ比スルニ、當時ノ學生ハ、和文英譯ヨリモ英文和譯ノ方勝リ、今日ノ學生ハ英文和譯ヨリモ和文英譯ノ方少シク勝リ、全ク逆ノ傾向ヲ來セリ。

和文英譯

英文和譯ヨリモ少シク勝レリトイヘトモ、ソノ書キ得ル範圍ハ實ニ狹隘ナリ、固ヨリ中學ニ於ケル僅カノ時間ヲ以テ、多方面ニ涉ルコト能ハサルハ勿論ナリト雖、少シク遺憾ナキ能ハズ。

從來試験ノ答案ヲ見ルニ、例ヘハ四問題ノ内、アル生徒ハコレヲ何レモ完全ニ譯スル能ハサレトモ、甚シキ誤謬モナキモノト、アル生徒ハコノ中二問ハ完全ニ答ヘ、他ノ二問ハ

全ク誤レルモノトアリ、吾人ハ學力ニ於テ前者ハ後者ニ數等優レルヲ見ル、何トナレハ後者ノ完全ナルニ間ハ、カツテ中學又ハ補習科ニテ學ビタルモノト、偶然符合シタルニヨルモノニシテ、少シクツノ文ヲ代フレハ答フル能ハサルベシ。

從來ノ専門學校選抜試験ノ問題等ヲ見ルニ、試験官ノ求ムル所ハ極メテ小ナリ、即チ「動詞ノ用法」「前置詞ノ用法」「時」「接續詞ノ用法」等極メテ狭キ範圍ニ於テ試験スルニ、而モヨクコレニ答フル能ハズ、一體今日ノ學生ハ一般ノ事ヲ知ラスシテ只ソノ除外例ノミヲ暗ンズ、中學卒業生ニテ *he may can.* ト書クモノアレハ *he does it* ヲ誤ルモノアリ、假令一般ノ規則ヲ知ルモ、コレヲ應用スルコトヲ知ラズ、熟語集、問題集ヲ讀ム弊害トシテ徒ラニ *idiomate* ニ書カントシテ、却テソノ適用ヲ誤ル、普通ノ字ヲ知ラズシテ稀ニ用ユルノ字或ハ俗語ヲ暗ンズ、即チ *father, mother,* ハ知レトモ *uncle, aunt,* ハ知ラズ、*breakfast* ヲ知ラズシテ *incomprehensibility* ヲ知ルカ如キ本末ヲ誤レリトイフベシ、吾人ヲシタイハシムレバ、英文典ニ於テハ、除外例ハ知ラサルモ一般ノ規則ヲ解セハ十分ナリト。

今日學生一般ニ英語ノ力ノ不足ナルハ、機械ニヨリテ學バントスル弊ヨリ起ルモノナリ、自ラ苦心シテ練ルニアラスシテ、タ、漫然書ヲ讀ムノミ、譜ヲ知リテ手ノ伴ハサル音樂師ノ如シ、從來入學試験ノ答案ヲ見ルニ、文章ノ要素ヲ備ヘザルモノアリ、原文ノ意ト遠カリテモ、セメテ一文章トシテ意味ヲ成サハ聊カ恕スベキモ、主語ナキアリ、客語ナキアリ、他動詞ヲ用キテ目的ヲ缺ケルカ如キニ至リテハ決シテ許ス可ラサルナリ、吾人ハ美文ヲ望マズ佳作ヲ期セズ、タ、文章ノ要素ヲ備ヘテソノ意義ヲ解スルヲ得レハ足レリ、豈多キヲ望マンヤ、而モコノ小ナル要求ヲモ充ス能ハサルモノ、比々皆然リトイフニ至リテハ遺憾ニ堪ヘザルナリ、和文英譯ヲ能クセントスルニハ、中學ニ於テ譯讀ニ際シ書籍ニ譯字ヲ記スルヲ止メ別ニ「ノートブック」ヲ作りテ、コレニ自分ガ始メテ出合ヒシ語句ヲ記入シ、併セテソノ用例ヲモ書シテ作文ノ資料トスベシ、マタ勉メテ多方面ニ涉リ、常ニ新聞紙ノ電報欄或ハソノ他極メテ簡短ナル記事ヲ翻譯シ置キ、コレヲ「ジャパンタイムス」等ノ英字新聞ト對照シテ、其用法ヲ知リソノ誤謬ヲ正サハ、ソノ效果ノ著シキモノアラン、和文英譯ニ當リテハ、ソノ和文ノ「意ヲ譯シテ」、決シテ「字ヲ譯スベカラズ」、

徒ラニ一字一句ニ拘泥シテソノ意ヲ譯スルヲ忘ル、トキハ、所謂佛作リテ魂入ラズ、先日ノ高等工業學校ノ問題第一ノ「オ急キテスカ、オ差支ナクバ」ヲ譯スルニ徒ラニ「差支」ノ日本語ニ拘泥シテソノ意ヲ取ル能ハズ、engagedヲ用ユヘキヲobstruction, hindranceヲ用ヒタルカ如キハソノ適例ナリ、又和文一題ハ英文ニモ必ズ一文章トセサルベカラサルモノト誤解セルモノアルカ如シ、又、總シテ動詞ノ變化ヲ誤リテ he may have gone. フ、he may have go. トナス、今少シ Conjugation ニカヲ用ヒサルベカラズ。要之近來ノ學生ハ只ニ書籍ヲ朗讀スルノミニテヨクコレヲ咀嚼シコレヲ消化スルコトハナサズ、宜ナリ、ソノ學力ノ進歩ノ著シカラサルヤ、須ク物ニ依ラズシテ自レニ依ルベシ、我國ガ露國ニ勝チシモコレニ外ナラス、學界ノ競争ハ益激甚ナラントス鑑ミサルベケンヤ。

書 取

コレヲ極端ニイヘハ、吾人ハ書取一科ヲ以テ受験者ノ英語ニ於ケル凡テノ力ヲ知り得ベシ、コレマデノ試験成績ニ見ルニ、和文英譯ト書取トハ必ズ相伴フ、即チ書取ノ成績ヨキモノハ、必ズ和文英譯ヨク、和文英譯ノ劣レルモノニ書取ノ可ナルモノヲ見ズ、更ニマタ

書取ニヨリ「閉取」ノ力ヲ試ムルヲ得ベシ、從來書取ハ一般ニ輕視セラレシカ近來ソノ必要ヲ認メラレシカ、高等學校入學試験ナドニモコレヲ課スニ至レリ、然ルニ一般學生ハ書取ニ於テハ殊ニ劣レルヲ見ル、彼等ハ只一字一句ヲ書取ラントスルニ勉メテ絶エテソノ意ヲ解セントセズ、我校ナドニハ豫メ書取ノ問題ヲ讀ミテソノ意ヲ解セシメントスルニ、受験者ハヨクコレニ耳ヲ傾ケズ、ソノ書取トナルヤ狼狽シテ甚シキ誤謬ヲナシ、friend & friend, Grammar ヲ Grammar, therefore ヲ therefore, London ヲ London トスルカ如キハ、一般ニ「スペル」ニ暗キニヨルナランモ、ソノ精神状態ノ常ナラザルニ因スルモノアラン、又中學ニテハ一般ニ鉛筆ヲ用ユルノ慣習アルカ故ニ、試験ニ際シ、「ペン」ヲ用ヒシムレハソノ文字ノ拙劣實ニ甚シ、要之書取ニ熟スルニハ sound ノミニヨラズシテ其意義ヲ會得スルニ勉メ、「ペン」ヲ用ヒテ常ニコレガ練習ニ怠ラサレハ、ソノ上達ハ著シキモノアラン。

年々ワカ校ノ入學應募者二千人餘、英語試験ニテ淘汰セラル、モノコレカ三分ノ二、而シテ英文和譯、和文英譯、書取ノ三科ニ於テ完全ニ近キ成績ヲ得ルモノハ、ソノ殘餘ノ更

三十分ノ一ナリトイフニ至リテハ吾人ハ切ニ學生カ層一層ノ奮勵ト、ソノ教師ノ教授
法ノ研究トヲ望ンデ已マサルナリ。

第二編

第一章 一、國語漢文解釋問題

國語解釋

- (1) 世に後醍醐天皇の中興のおほみわざ中頃にしてすたれたるをくちをしきことに思ひてみかどの賞罰正しからざりし故なりなごあけつらふものありしはたゞに成敗の事の迹をみてたしはかれるにてそのかみの有様を深くも考へざるものなりけり。
- (2) 須賀直見がいひしは廣く大きな書をよむは長き旅路をゆくが如しなもしろからぬ所も、たほかるを經行きては又たもしろくめさむるこゝちする浦山にもいたるなり又あしつよき人はばやくよわきはゆくことなともよく似たりとぞいひけるをかしきたとへなりかし。

- (3) 左記各項ノ語句ノ意義ヲ示スベシ。

イ、行幸、行啓

ハ、篠をつく、盾をつく。

國語文法

- (1) 左ノ文中ヨリ活用スル品詞ヲ摘出シテ一々ソノ語尾變化ヲ示セ。
をさなかりし時より御身に養はれ且教られたる恩は永くわすれぬぞ
- (2) 左ノ例中「」ヲ施セル部分ヲ説明セヨ。
(甲) イ、われも行か「なん」、ロ、われも行き「なん」、
(乙) 雪深くつもり「に」ければ道も知れざる「に」足「に」任せてゆき「に」ゆく、
- (3) 左ノ文ニ誤謬アラハ訂正セヨ、但説明ヲ要セズ。
(イ) 一分の時さへ空しふ過すな、(ロ) 思ひきやこゝにして汝に逢へりとは、

國語作文

戦時ニ於ケル學生ノ覺悟。

漢文解釋

- (1) 左ノ語句ノ意義ヲ解釋シ且 (1) (5) ニハ送り假名ヲ付セヨ。
- (1) (イ) 仁者必有勇 (ロ) 勇者不必有仁
- (2) 敵愾
- (3) 鹵簿
- (4) 霄壤之差
- (5) 人有不爲也、而後可有爲、
- (2) 左ノ文章ニ送り假名ヲ附シ且其意義ヲ解釋セヨ。
 淮陰屠中少年有悔信者。衆辱之曰。若雖長大好帶劍、中情怯耳。能死刺我。不能出我胯下。信熱視之、俛出胯下、蒲伏。一市人皆笑信怯。

二、第一高等學校教授今井彦三郎氏ノ意見

國語解釋

一、第一問第二問ハ中學卒業生ニ對シテ、平易ニ過キタルニ似タリ、故ヲ以テ二三少數者ヲ除クノ外、大抵皆解シ得タリ、二三少數者ノ解シ得サリシハ何ノ故ナルカハ云フ迄ナク、何レノ所何レノ時ニモ有リ得ベキ事情ニシテ之ヲ以テ中等教育ノ缺陷トハ爲スベカラサルナリ。

又文中「あけつらふ」、「そのかみを推す」等ノ語句ヲ解シ得サリシモノモアリシガ、大體ノ文意ニ於テ、解シ得サリシハ殆ト之アルナシ、之ニ由テ現今中等國語教授ノ大概ハ概括的教授ニ成功シテ、分解的授業ニ不充分ナリトモイフベキカ、サレト此ノ一事相ヲ以テ、一並ニ推論シ去ラハ決シテ當ヲ得タル見トイフベカラサルベシ、今ハ却テ其反對ノ事實ナルヲ認ム。

本委員ノ見ヲ以テスレハ長連續ノ文ヲ出シテ、解釋ヲ求ムルハ文ニ就キテノ理解力ヲ試ンガタメナルベケレバ、之ガ解答ヲ爲サンモノハ、文意ノアル所ヲ察シ、文理ヲ析キ、文趣ヲモ會セン用意アルヘキ筈ニテ、第一問ノ歴史ノ事實ヲ論シタルモノニ於テハ、史上一隻眼ヲ開キテ、事實ノ表裏ニ涉ル觀察ノ力ヲ見スベク、第二問ノ讀書

- ノ苦樂ヲ説キタルモノニ於テハ、人生讀書ノ一好樂タルベキ趣味ヲ本文以外ニ嚙分ケタル痕ヲ止ムヘキ恰好ノ問題タルベシ、然ルヲ單ニ本文ノ語句ニ搦ミテ解答ヲ下サントシ、文ニツキテノ解答ヲ下サン考ナラバ、語句ヲ解スルモ文章ヲ解スルモ何ノ異ナルトコロナキニ似タリ、今回受験答案ヲ檢スルニ何レモ皆語句ノ解ニノミカヲ寄セ、連續セル思想ヨリナル文章ニツキテノ解ヲ下セルモノ殆ト稀ナリ、此ノ如キハ平生教授ノ任ニアル人ノ注意ヲ缺ク結果ト見テ不可ナクバ之ヲ現今國語教育ニ於テ見ル所ノ缺陷トナスベクヤ、乍去是ハ毎年ノ答案同シキ處ニシテ今日始メテ見タル現象ニアラズ、仍テ探點ニハ充分ノ注意ヲ加ヘ、寛裕ノ舉ニハ出テタリト雖、後來國文教授上深ク注意ヲ要スベキ事ト信ズ、
- 一、第三問ニツキテハ別ニ云フベキ處ナシ。

二、第五高等學校教授本田弘氏ノ意見

國語解釋、同文法

- 一、國語解釋ハ國語文法ニ比シ平易ニ過キタル感アリ、現ニ或人ノ評ニ「コレハ尋常師範學校ノ入學試験問題ノ如シ」トイヘルヲ聞ケリ。
- 一、國語文法問題中語尾ノ變化ニ關スル第一問ヲ全ク答ヘ能ハサルモノハ、中學ニ於テ如何ナル教授ヲ受ケタルカ、殆ト了解ニ苦ム所ナリ、サテ文法ノ一課ニ就テ零點ヲ取リシ者、無論此問題ヲモ全ク答ヘ能ハザリシモノナリ、故ニソレ等ノ零點ヲ取リシモノ、出身學校ヲ取調ベテ、相應ノ注意ヲ與フルノ必要アリ。
- 一、地方ノ方言ヲ答案ニ交フルハ、誤解ノ恐レナドアリテ、必竟受験者ノ不得策ニ歸スベキモノナリ、然ルニ中學校ニ於ケル國語教授上コノ注意ヲ與ヘサルモノアルニヤ、コノ缺點ニ陥レル多クノ答案アルヲ見タリ。

四、東京高等師範學校教授、松井簡治氏ノ意見

國語解釋

小生受持ナリシ國語解釋ノミニツキテイハ、本年ハ問題ノ平易ナリシタメ、甲乙ノ差

甚ダ少ク、十ノ七八ハ半數以上ノ得點ナリシ様思ハレ候、其中ニモ(1)(2)ノ問題ハ何人ニモ解シ易キ問題ナリシカバ、大抵ハ成績モ同様ニテ、僅ニ(3)ノ問題ニヨリテ多少ノ差等アリシノミ。
(3)ノ問題ハ簡單ナル一ニ二ノ語句ダケナリシカバ、詳細ナル語源マデハ、受験者ノ何人モ解シ得サリシハ勿論ナレド比較的實力アル受験者ガ却テ迷ヲ生シタルカノ疑モ之アリ候、一語一句ノ問題ハ調査ニハ簡便ノ様ナレド、眞ニ學力ヲ試ミンニハ、今少シ前後ニ多少ノ語ヲ加ヘタル方宜シカランカト存候。

五、第一高等學校教授、杉敏介氏ノ意見

國語文法

一、國語文法三問題中第一問ハ動詞、助動詞ノ語尾ノ變化ヲ問ヒタルモノニテ如何ナル者モ決シテ零點ヲ得ベキ筈ノモノニ無之是非共四五點ハ得ラルヘキモノニ有之候
ニ、第一問零點ノ者隨分有之候、是等ハ中學卒業ノ實資格ナキモノト存シ候。

一、文法三問題ヲ通ジテ零點ヲ得タルモノ、東京受験者中百人ニ五六人位必有之候哉ニ記憶致シ、地方受験者中ニハ餘リ無之様記憶致候、是等ハ勿論第一問ニモ相違ナク零點ヲ得タルモノニ有之候、然レバ受験者中劣等ニシテ卒業ノ資格ヲ疑フベキモノハ東京受験者中ニ専ラ多キ儀ニ御座候。

一、國語文法滿點五十ニ對シ、各自ノ得點ガ、零點ヨリ滿點マデ(多クハ四十八點ナリ)有ラユル差等ヲ以テ採點表中ニ展列致候、之ニ由リテ本年ノ文法問題カ現今ノ中學卒業生中ヨリシテ卒業相當ノ者ヲ撰拔スルニ最適切有效ナル程度ニアリシコトヲ認ムベキモノト存候。

附言、零點ノ者有之候事ハ、決シテ問題過酷ノ證差トハ成ラズシテ偶々卒業生ノ無資格ヲ證スルニ止マルモノナルコトハ、第一項所陳ノ通りニ御座候。

六、第六高等學校教授、原榮氏ノ意見

國語文法

一、入學試驗問題ノ難易ハ、或程度マデハ、受験者成績ノ良否ニ格別ノ影響ナク、寧ロ試驗委員ノ手心即チ採點標準ノ如何ニヨルコト多キニアルカト思ハル、又受験者ニトリテモ例年ニ比シテ餘リニ易キ問題ニ接スル時ハ疑惑ノ念ニ驅ラレ、却テ文意ヲ曲解スル場合ナドモアルヤニ聞及ベリ、而シテ予ハ現今中學學課程度ニ對シテ、近年ノ入學試驗問題ガアナカチ高尚ニ失シタルモノトハ思ハレズ、コハ中學校ノ教科用書ヲ見バ自ラ明瞭ノ事ナルベシ。

二、本年ノ國語試驗問題中文法ハ先ヅ適當ナラントノ衆評ナリシガ、審査ノ結果ハ時ニ零點ヲ付スルノ已ムヲ得サル程ノ者ヲ出シ、其他ノモノトテモ決シテ好結果トハイフコト能ハサルベケレド稍細密ナル採點標準ニヨリタル結果トモ思ハル、作文ハ審査ノ經驗モナケレド例年採點標準ノ委員ニヨリテ異ルコト此科ヨリ甚シキハアラザルベシ、サレト格別良法トテモナキヤウナレバ致方ナシ、解釋ハ異口同音ニアマリニ易シトノ聲ヲ發セシガ、實際答案ヲ審査シタル委員ノ話ヲ聞キタルニ「行幸」「行啓」ノ區別ヲモ知ラサルモノ随分多カリシト也、然ラハ入學試驗問題ハ易キドコロカ、本年ノニテモ矢張六ヶ敷カトイフニ、予ノ考ニテハ此ノ如キ結果ヲ來シタル原因ハ、一ハ前項ニ述ベタル曲解ニ基キ、他ハ主トシテ中學校ニ於ケル國語科ノ教授法ニ因ルコト、思ハル。

三、中學校國語科ニ於ケル文法ハ、只教科書ヲ與ヘテソレヲ講ズルノミニテハ、彼ノ乾燥ナル學科如何デカ生徒ヲシテ直ニ會得セシムルコトヲ得ン、況ンヤ各自中學所定ノ文法教科書ヲ讀ミコナスニ困難ナル教師モコレアル趣ハ、夏期講習會講師ナドヨリ聞クトコロ也、且ツ高等學校生徒ニ對シテ文法ノ質問ヲ試ミルニ、度ハツレニ忘レ居ルヤウ也、サレド予ハ現今ノ中學教科用ノ文法書ハ寧ロ六ヶ敷モノ、否所論ノ六ヶ敷ニアラザレトモ、内容ノ混雜ナル者ト思ハル、故ニ中等教科用ノ文法書ハ極メテ簡單ナルモノヲ、參考書トシテ持タシムルカ、成ルベクハ、文法上必要ナルモノ、ミ記シタル一枚ノ「表」位ヲ持タシメ、教師ハ文法ノ時間トシテハ定メズニ（時ニ必要ニ應ジテ時間ヲ設クルモ可ナラン）主トシテ即席作文ノ時間或ハ講讀ノ時間ニ反覆コレガ練習ヲナシテ十分ニ習熟セシムル教授ノ方法ニ注意スルコト必要ナ

ルベシ。

四、講讀用ノ教科書トテモ現今ノモノハ大概十冊ニテ各學年二冊宛使用セシムル目的ヲ以テ編纂セシモノ而シテ落合氏ノ中等國語讀本ニヨレバ九、十ノ卷ニハ軍記類ヨリ徒然草、方丈記、増鏡、古今、新古今、新葉和歌集ヲ始メトシテ謠曲、新體詩及ビ徳川時代國學者ノ擬古文ヲ記載シアレバ決シテ高等學校一年級ノ教科書ニ比シテ優ルトモ劣ルコトナク、又一、二ノ卷ト高等小學三年用ノトノ聯絡如何ヲ見レハ急ニ文體ニ於テ内容ニ於テ、變化シ居ルヤウ也、勿論小學ヨリ中學、中學ヨリ高等學校ト其教授ノ方法、講義ノ程度異ナレハ強テ教科書ニ付テ、彼此論スル必要ナシトセバ、沙汰ノ限リニアラザレトモ、必竟中學校ニ於ケル講讀ノ教科用書ハ小學校ヨリ觀ルモ、高等學校ニ比スルモ高尚ニ失シ、聯絡ヲ缺キ、教師ハ教授法ヲ無視シ、生徒ハ多讀ヲ旨トシ、古文ニ泥ミ、既得ノ智識ヲ確實ナラシメズ、終ニ中學卒業生ニシテ「行幸」「行啓」ノ區別ニスラ迷フモノアルニ至リシナルベシ。

五、要スルニ小學校ノ現況ハ先ヅ設備完全ニ、諸學科ノ連絡ヲ計リ、教授法ニ注意シ兒童ヲシテ十分習熟セシムル方針ヲトリ、且ツ着々實行シツ、アルモノ、如シ、然ルニ一旦兒童ガ小學校ヲ出デ、中學校ニ入ルヤ、急ニ授業ノ方法異ルニヨリ一學期間位ハ五里霧中ニ彷徨シ、其後トテモ多クハ所謂詰メ込ミ的授業ヲ受ケテ不消化ニ終ル傾アルヤウ也、而シテ中學校ニ於テハ、四年級頃ヨリコソ自修ノ念モ起レ、一年級ヨリ三年級頃マデハ未ダ遊ヒ盛リノ少年ナレハ特ニ授業法ニ注意スルコト緊要ナリ、實ニ中學校國語科ニ於ケル目下ノ一急務ハ教授法ノ改善ニアルベシ。

七、第二高等學校教授、椿時中氏ノ意見

國語作文

一、小官ハ國語作文受持ノ處、半途ニシテ老母死亡セシニ付、職務ヲ辭シ候ニ付、只第一高等學校ニ於テ受験セシ第三部志望者七百五十名ノ作文ヲ閱了致候迄ニ候ヘトモ、其他ノ全體ヲ通シテ作品程度ニ於テハ格別ノ等差ハアルマシト存シ候。

一、近年中學校教授科目ノ内、國語漢文科ハ時數ノ減少ト、教育者一部ノ議論カ該學科

ヲ輕視スル傾アリテ、輕躁者流隨テコレニ雷同セシトニヨリ、其成績(實力)ガ悲シムベキ状態ニ陥リ居ルハ事實ニ候、而シテ該學科ノ實力ハ尤モ作文ニ於テ表現セラレベキモノナレバ、其修養ノ深淺ハ寧ロ文章又ハ語句ノ解義ヨリモ明瞭ニ認取セラレベキヲ以テ、小官ハ現時中等教育ニ於ケル該學科ノ造詣ヲ觀ルヲ得ント存シ居候處豫想以上ニ種々ノ缺點ヲ發見致候。

第一、文ノ構成ニ法格ノ見ルベキモノナク所謂「ナグリガキ」ニシテ思想ヲ統一安排スル力全ク無シト申スヲ憚ラズサリ迎健筆豪放ノ素質トハ決シテ見受ケ難ク候、又往々近時文學者ト自稱スル一輩ノ筆癖ヲ學ビ柔軟、綿ノ如キ冗筆ヲ弄シ居ルモ少カラズ、前項ノ如キハ時間ノ短キカ爲メニモ依ルベク候ヘトモ如何ニ咄嗟倉卒ノ作ニテモ修養アルモノハ多少ノ痕跡ヲ存スベキ筈ニテ、全クハツノ素養ヲ缺キ居ルモノト認メ申候、後者ノ如キハ青年ノ氣節ニ關シ尤モ怖ルベキ者ト存候。

第二、文法甚ダ疎亂ニテ時格係結呼應等ノ顧慮乏シク、試ニ其一節ヲ取リテ論理的

文法的ニ分解スレバ支離滅裂文意ヲ成サトルモノ多ク有之候、此事ハ中學校ニ於ケル文法教授ガ徒ラニ古文ニノミ拘泥シテ現時ノ文體ニ應用シテ鍊修セシメザリシカ、又ハ單ニ語格句法ノ單純ナルモノ、ミヲ專トシ文章法ニ就テ悟入セシメザリシカノ弊ニ非ルカト存候。

第三、漢學存廢ノ議論シキ折柄トハ申乍ラ、漢學ノ智識尤モ淺薄ニシテ、日常ノ用語スラ誤謬甚シク、中ニハ又奇語奇字ヲ弄シテ、却テ文面ヲ澁晦ナラシムルモノ有之就中副詞ニ屬スル肝要ノ字ニテ日常使用スル者スラ、正當ノ用法ヲ心得居ルモノ甚タ稀ナルニハ一驚ヲ喫シ申候、此事ハ中學教師ノ猛省ヲ促スベキモノト存候。

以上ノ状態ヲ以テ觀レハ、日本全國ノ青年界ニハ、日本文法ヲ知リ、日本文字ヲ知レル者ナシト斷言シ得ベク、且ツ高等學校ニ入學ヲ志願スル程ノモノナラハ、其一部タリ、二部三部タルヲ問ハズ、他日必ラズ社會ノ上流ニ立チ、一世ノ信賴ヲ得ベキ筈ナルニ、其素養此ノ如クナルハ(假令今後尙ホ修養ノ望ミハアリトスルモ所謂先入主トナリテ、少年時

代ノ印象ハ、容易ニ矯正シ難カルベシ、且ツカ、ル基礎的ノ修養ハ、今後ソノ暇ナカルベシ尤モ歎ズベキ有様ニ候。

右ニ對スル矯正ノ一策トシテ、且ツハ平素讀書上ノ注意ヲ深カラシムル一方法トシテ、今後ノ入學試験ニハ國語漢文科ノ問題ヲ、今少シク改正相成候ハ、全國中學校授業上ニモ必ズ其効果可有之、獨リ高等學校入學者ノミノ利益ニハアラザルベシト存ジ候。

國語漢文科ノ問題ヲ左ノ五目ニ分ツ

- 一、國語解釋(50) (従前ノ通り但シ純粹ノ古文ハ避クルコト)。
- 一、國語文法(50) (從來ノ例ニヨレバ、古代ニノミ用キラレテ現今ニ用ナキ法則モシクハ文體ヲノミ摘記セラレシ様ニ思ハル、今少シ現行的ヲモノヲ撰ビタシ)。

三、漢文解釋(50) (典故若クハ短キ成語ヲ摘擧スルコトモ、年々ノ例トナリテハ、生徒ハ唯漫然暗記スルノミニシテ所謂尋章摘句ノ陋態ニ陥ルベク候)。

四、漢文用法(50) (名稱ハ如何様ニテモ宜シク候、其實例二三、左ニ呈錄致候、此他簡

單ナル復文、譯文等モ然ルベシ)。

イ、戰「マサ」ニ酣ナリ「コレ」男兒「マサ」ニ國ニ報ユベキ秋ナリ、吾「マサ」ニ進ンデ「コレ」ヲ伐ントス(括弧ヲ施セル處ニ正當ノ文字ヲ記入セヨ以下同ジ)。

ロ、陸兵「ステ」ニ破レ、海軍「マタ」殲ク、彼レ一敗「マタ」起ツ能ハズ、「マタ」以テ自ら悟ルベキナリ。

ハ、彼「ハタシテ」能ク我ニ抗センカ「ハタ」戈ヲ投ジテ我ニ降ランカ。

ニ、士道ハ「コレ」人道ノ粹、而モ能ク「コレ」ヲ解スルモノハ獨リ我國ノミ「コレ」アリ、「コレ」等ノコト唯識者ト語ルベシ。

ホ、往テ某ヲ訪フ「アタカモ」途ニ遇ヘリ、傾蓋シテ語ル「アタカモ」十年ノ交ノ如シ。

ヘ、人ノ世ニ「アル」ヤ、必ズ大ニ惜ムベキモノ「アリ」。而モ彼ノ財貨生命ノ謂ニ「アラザル」ナリ。

ト、旅順ノ地ハ「コレ」王師「カツテ」武ヲ用キシ「トコロ」ノ「トコロ」今「マタ」一戰「コレ」ヲ取ル、「コレ」古人謂フ「トコロ」一草一木悉クソノ「トコロ」ヲ得タルモノ

奇功此ノ如キハ未ダ「カツテアラザルトコロ」ナリ。

五、作 文(50) (文體ヲ一定シテ必ズ普通文ト規定セラレタシ、純漢文古文及ビ書

簡文、談話文(言文一致)ナドハ一切取ラザルコト)。

右漢文ヲ二百百點トスルハ、從來該科目中四分ノ三ハ國語ニ屬シ、漢文ニ係ルモノハ、僅ニ四分ノ一ニシテ、兩者權衡ヲ得ズ、況ンヤ漢語漢學ハ現在ノ實用決シテカノ京都鎌倉時代ノ古文法ト同日ノ談ニアラザルヲヤ、依テ全科ヲ五目トシ其總點數ヲ二百五十トス、但他學科トノ比例上モシ過重トナラバ、各自四十宛トスルモ可ナリ。

八、第一高等學校教授、鹽谷時敏氏ノ意見

漢文解釋

一、仁者必有勇勇者不必有仁

一、人有不爲也而後可以有爲

右二題字面ヨリ言ヘバ、平易ナレドモ、出典ヲ知ラザレバ、明解ヲ得ルコト難シ、受

驗者ニハ少シク難題ナルベシ。

一、鹵簿

右平生見狎レタル字面ナレドモコレガ解義ハ頗ル錯雜ナル故同前困難ナルベシ。

九、第六高等學校教授、秋月胤繼氏ノ意見

漢文解釋

小官ガ分擔審査セル本年度大學豫科選拔試驗應募者ノ漢文科成績ハ滿點五十二對シ其得點概シテ二三十ノ間ニアリ、決シテ良好トイフベカラズ、本年ノ問題ノ如キ、平易ナル短語ト文章ヲモ案外解セザルモノ少ナカラズシテ、斯ク不良ノ結果ヲ來セルハ、全ク學力ノ不足ニ因ルト申ス外ナク、而シテ此學力ノ不足ハ中學教育ニ於ケル漢文科ノ授業ノ方法及精神ノ未ダ至ラザル所アルニ職由セズヤト推察致サレ候、小官ハ年々高等學校ニ入學シ來ル第一年級生徒ノ漢文科ノ學力ヲ檢スルニ一年一年低落スルヲ覺ヘ申候、中學校ニ於テ五年間漢文ヲ學習シナガラ、コレハ相應セル効果ヲ見ザルハ誠ニ遺憾ト存候、今

試ニ此迄中學校ヲ經テ高等學校ニ入リシ者ノ學力ト、本年ノ受験者ノ成績トヨリ打算シテ中學卒業生ノ漢文科ニ於ケル學力ノ缺點ヲ概觀スルニ大要左ノ二點ニ歸スベシト存候。

一、正確ニ漢字ノ意義ヲ知ラザルコト。
 二、漢文ノ結構ヲ知ラズ、品詞ノ地位ヲ知ラズ、品詞ノ地位ノ變動ニヨリテ文義ニ差異アルコトヲ知ラズ、故ニ極メテ平易ナル文章ト雖、其意義ヲ正確ニ理會シ能ハザルコト。
 以上ノ二點ハ殆ド一般學生ノ缺點カト存候、此等ノ缺點ヲ救ハンニハ、平素授業ノ際ニ教師ノ周到ナル注意ヲ要スベク候今右ニ對スル救濟策トシテ卑見ヲ開陳スレバ左ノ如クニ御座候。

第一ニ漢字ノ意義ヲ正確ニ知得セシムルニハ、漢字ニハ同字異義ノモノアリ、異字同義ノモノアリ、類字異義ノモノアリ、此等ノ差別ヲ講讀ノ際、實地ニ就キ正確ニ區別シテコレヲ授ケ、生徒ヲシテ確實ニ之ヲ記得セシムルヲ要ス。

第二ニ生徒ヲシテ漢文ノ結構、品詞ノ地位、品詞ノ變動ニヨリテ、意義ニ差異アルヲ知ラシムルコトハ、單ニ文義字義ノ講讀ノミニテハ達セラレズ、必スヤ之ト共ニ復文ノ方法ニ由ラザルベカラズ、文法モ亦此目的ヲ達スル一法ナルモ、兎角理論ニ偏シテ、實際ニ疎キ弊アレバ、實際ノ効果ヲ收メントセバ、寧ロ復文ニ由ルヲ可ナリト信ズ、即チ漢文ヲ假名交リ文ニ、又ハ假名交リ文ヲ漢文ニ書キ取ル方法ニテ講讀ノ傍此方法ヲ練習スル時ハ自然ニ然モ確實ニ漢文ノ結構、品詞ノ地位、品詞ノ地位ノ變動ニヨリテ文義ニ差異アルヲ知得スルニ至ルベシ。

以上二種ノ方法ハ中學教育ノ如何ナル時期ニ於テ最モ力ヲ致スベキカトイフニ改メテ申ス迄モナク語學ノ學習ニハ初步ノ際ガ最モ大切ニ有之、即チ中學一、二、三年級ノ間ニ於テ十分之ヲ學習セシメテ其根底ヲ作ラザレバ假令中等教育ヲ終ルモ、何ノ得ル所ナキニ終ルベシ、即チ此三年間ノ學蹟如何ハ將來ニ至大ノ關係アリ、サレバ上記二種ノ訓練ハ、中學一年級ヨリ三年級マデノ間ニ於テ特ニコレヲ課スベク、而シテ復文ハ初メハ極メテ平易ナル短句、文章ヨリ漸次ニ複雑ナルモノニ及ボシ、三年級ニテハ時ニ和文漢譯ヲモナサシムルヲ可トス、斯ク一方ニ於テハ復文ヲ練習セシムル傍、一方ニ於テコレニ

試ニ此迄中學校ヲ經テ高等學校ニ入リシ者ノ學力ト、本年ノ受験者ノ成績トヨリ打算シテ中學卒業生ノ漢文科ニ於ケル學力ノ缺點ヲ概觀スルニ大要左ノ二點ニ歸スベシト存候。

一、正確ニ漢字ノ意義ヲ知ラザルコト。
 二、漢文ノ結構ヲ知ラズ、品詞ノ地位ヲ知ラズ、品詞ノ地位ノ變動ニヨリテ文義ニ差異アルコトヲ知ラズ、故ニ極メテ平易ナル文章ト雖、其意義ヲ正確ニ理會シ能ハザルコト。
 以上ノ二點ハ殆ド一般學生ノ缺點カト存候、此等ノ缺點ヲ救ハンニハ、平素授業ノ際ニ教師ノ周到ナル注意ヲ要スベク候今右ニ對スル救濟策トシテ卑見ヲ開陳スレバ左ノ如クニ御座候。

第一ニ漢字ノ意義ヲ正確ニ知得セシムルニハ、漢字ニハ同字異義ノモノアリ、異字同義ノモノアリ、類字異義ノモノアリ、此等ノ差別ヲ講讀ノ際、實地ニ就キ正確ニ區別シテコレヲ授ケ、生徒ヲシテ確實ニ之ヲ記得セシムルヲ要ス。

第二ニ生徒ヲシテ漢文ノ結構、品詞ノ地位、品詞ノ變動ニヨリテ、意義ニ差異アルヲ知ラシムルコトハ、單ニ文義字義ノ講讀ノミニテハ達セラレズ、必スヤ之ト共ニ復文ノ方法ニ由ラザルベカラズ、文法モ亦此目的ヲ達スル一法ナルモ、兎角理論ニ偏シテ、實際ニ疎キ弊アレバ、實際ノ効果ヲ收メントセバ、寧ロ復文ニ由ルヲ可ナリト信ズ、即チ漢文ヲ假名交リ文ニ、又ハ假名交リ文ヲ漢文ニ書キ取ル方法ニテ講讀ノ傍此方法ヲ練習スル時ハ自然ニ然モ確實ニ漢文ノ結構、品詞ノ地位、品詞ノ地位ノ變動ニヨリテ文義ニ差異アルヲ知得スルニ至ルベシ。

以上二種ノ方法ハ中學教育ノ如何ナル時期ニ於テ最モ力ヲ致スベキカトイフニ改メテ申ス迄モナク語學ノ學習ニハ初步ノ際ガ最モ大切ニ有之、即チ中學一、二、三年級ノ間ニ於テ十分之ヲ學習セシメテ其根底ヲ作ラザレバ假令中等教育ヲ終ルモ、何ノ得ル所ナキニ終ルベシ、即チ此三年間ノ學蹟如何ハ將來ニ至大ノ關係アリ、サレバ上記二種ノ訓練ハ、中學一年級ヨリ三年級マデノ間ニ於テ特ニコレヲ課スベク、而シテ復文ハ初メハ極メテ平易ナル短句、文章ヨリ漸次ニ複雑ナルモノニ及ボシ、三年級ニテハ時ニ和文漢譯ヲモナサシムルヲ可トス、斯ク一方ニ於テハ復文ヲ練習セシムル傍、一方ニ於テコレニ

關係セル文法ヲモ兼テ授クル時ハ、生徒ハ一舉シテ理論ト實際ノ二面ヨリ漢文ヲ了得スルコトヲ得テ、其間ニ多少ノ趣味ヲ感ズルニ至ルベク、斯クテ三年間ノ練習ヲ積ムトキハ、四年五年ヲ終ル迄ニ必ズ相當ノ學力ヲ有スルニ至ルベキヲ信ズ、方今中學生ノ漢文科ニ於ケル學力ノ不足ハ、上記ノ方法ニヨリテ補フコトヲ得ベクト存候。

以上ハ授業上ニ於ケル卑見ニ御座候ガ、漢文科ニ於ケル中學卒業生ノ學力ノ薄弱ナルハ更ニ重大ナル原因可有之存候、之ハ學生ノ精神上ニ基クモノニシテ、心的原因トモ可申之ニ二種アリト存候。

一ハ漢文ハ國語ト共ニ、他ノ學科ニ比スレバ、比較的ニ解シ易シト妄信シ、他ノ學科ノ忙ハシキニ逐ハレテ、漫然コレヲ等閑ニ附シ去ルコト。

一ハ漢文科ニ對スル學生ノ不安ノ念慮ニ本クモノニシテ、即チ嘗テ世上ニ喧擾セル漢文漢字ノ廢止論ノ影響ヲ受ケ、漢文科ニ對シ一種不安ノ念慮アリ、此不安ノ念慮ハ學生ヲシテ眞心コレヲ修ムル能ハザラシムルコト。

以上二種ノ内ニ於テ、前者ハ全ク慣習上漫然誤解ニ陥リ居ルモノナレバ、之ヲ救フニモ

漢文科ハ決シテ他ノ學科ニ比シテ容易ナルニアラザルコトヲ説キ示シ、其蒙ヲ啓ケバ足ル、然モ、後者ニ至リテハ實ニ生徒ノ漢文學習上ニ甚大ナル障害ヲナシ候様被存候抑モ生徒ガカ、ル不安ノ念慮ヲ抱クニ至レルハ、全ク先年勃興セル漢字全廢說若クハ中學校ニ於ケル漢文科廢止論ガ生徒ノ心理ニ深キ印象ヲ與ヘタル結果ニテ、中學生ノ思慮ハ至テ單純ナルモノニ候ヘバ、爾來漢文ノ必要ナル方面ハコレヲ顧慮セズ、一ニ世論ニ誘致セラレテ、漢文科ハ比較的ニ必要ナルベシトノ考ヲ起シ、眞心コレヲ修ムル念慮ニ乏シク相成候様見受申候、然シタトヒ生徒ノ心情此ノ如シトスルモ、若シ一方ニ於テコレヲ教ユルモノ、此間ニ處シテ誠實ニ漢文ヲ修ムルノ必要ヲ説キ諭シ、又適當ナル方法ニヨリテ之ヲ教導セバ、其迷疑ヲ覺醒セシムルヲ得シナルベキモ、實際今日迄ノ處ニテ其事ハ行レ居候ヤ、是亦年々成績不良ノ結果ヲ見ルニ至リシ所以ト存セラレ候。

以上ハ要スルニ中學卒業生ニ漢文ノ學力ノ薄弱ナルコト、其薄弱ナル原因、及コレヲ救治スベキ方法ニツキテノ小官ノ卑見ノ大體ニ御座候、此ニ小官ガ切ニ望ム所ハ、苟モ漢文ガ中等教育ノ必修科トシテ設置シ居ル以上ハ、之ガ師タルモノガ、其道ヲ書シテ熱心

ニコレヲ教授スベキハ勿論、生徒タルモノモ真心之ヲ學習シ、兩々相待テ其成績ヲ向上セシムル様致度事ニ御座候。

十、第七高等學校造士館教授、山田準氏ノ意見

漢文解釋

- 一、本年ノ問題ハ従前ノ問題ニ比較シテ、最モ平易ナレバ、中學校卒業程度ニ比例シテ高尚ニ過グル憂ナシ。
- 二、漢文ハ助字ノ位置ニ因リ、文意ニ非常ノ相違ヲ生ズ、本年試験問題ノ(1)ノ(イ)(ロ)ニ問亦其一例ナリ、然ルニ受験者往々「必有」ノ必ト「不必有」ノ必トヲ同視セルハ中學ニ於テ此方面ノ訓練不足セルナリ。
- 三、受験生ノ多クガ普通ノ文字ニ付キ明確ナル認識ヲ缺ケルコト甚シ、例セバ本年ノ問題ナル「鹵簿」ノ簿ヲ「輕薄」ノ薄ト混同シ、薄弱又ハ少智等ノ解釋ヲナセルモノ一二ニシテ足ラズ、是レ明カニ文字上ノ教育不足セルナリ。
- 四、新聞雜誌等ニ慣用セル熟字ニシテ、人々目ニ觸レ、口ニ擧ゲ、其大意ヲ了解セルモノ、ソノ文字ニツキ的確ナル智識ヲ缺ケル類多シ、本年ノ問題ニ於ケル「敵愾」ノ如シ、敵ヲ惡ム、又ハ敵國ニ向ヒテ憤慨スルトイフ如キ點マデハ、十人中七八人ハ解釋シ得ルモ、其文字ニツキ明確ナル解釋ヲ施セルモノ殆トコレナシ、此ノ如キ類例他ニ少カラズ、是等ノ類ハ中學ニ於テ、國語漢文教授ノ際、特ニ生徒ノ注意ヲ喚起スル方法ヲ必要トス。

第二章 國語漢文解釋ノ心得

前章ニ於テ試験委員諸氏ノ意見書ヲ見ルニ、其ノ一二ヲ除クノ外ハ、概シテ該問題ヲ以テ、平易ニ過キタリトナセルカ如シ、吾人ハ問題ノ標準ニ對シテ委員諸氏ノ有スル意見ニ就テ多少ノ疑惑ナキ能ハズ、抑モ中等教育ハ國民教育ヲ完成スル所ノ教育ニシテ、高等學校ノ豫備門ニアラサルガ故ニ、入學試験問題ノ制定ハ、飽迄國民教育ノ終了ヲ以テ標準トスヘキモノニシテ試験委員ガ自己ノ學識ヲ以テ之レヲ推シ、濫リニ専門的ニ傾ク

ベカラサルナリ、近來高等學校入學試驗問題ハ年々多少考慮ノ痕ヲ存セルガ如キモ、昨年ノ高等學校選抜試驗問題ノ如キハ未タ全然其ノ弊ヲ脱セルモノトイフベカラス、加之之レニ對シテ各委員ノ提出シタル意見書ニヨレバ、益々問題ヲシテ専門的ナラシメントスル希望アルガ如シ、是レ實ニ容易ナラサルノコトタリ、即チ吾人ガコノ論アル所以ナリ。

國語解釋第一ニ於テハ事實ノ表裏ニ渉ル觀察力ト共ニ、史眼ノ如何ヲ試ム可ク、第二ニ於テハ本文ノ解釋以外ニ讀書ノ趣味ヲ解セリヤ否ヤヲ檢スルニ足ル、好箇ノ問題タルコトハ、實ニ今井氏ノ說ノ如シ、然レドモ其ノ之レヲ課スルニ當リ、單ニ國語解釋トシ何等ノ注意ヲモ與ヘズシテ、問題ノ解釋以外ニ、ソノ形式ニ渉ル事項マデモ完全ニ説明シ得タル答案ヲ求メントスルハ不當ノ要求トイハザルベカラズ、若シ之レニ附與スル或ル簡單ナル注意、例ヘバ「文意ヲ主トシテ解セヨ」等ノ語ヲ以テセンカ、現時ノ中學卒業生、如何ニ知識淺薄ナリトハイヘ、之レニ應スルコト能ハサルモノハ蓋シ殆ントアラサル可シ、若シ、之レヲ以テ屑シトセサレバ、茲ニ余輩ノ一案アリ、即チ中古文體ノ一篇ヲ課シ、

コレヲ現代ノ普通文ニ譯セシムルコト是レナリ、カクスル時ハ、先ツ文理ノ大體ヲ理解スル必要アリト共ニ、單語ニ於テモ、必ス相當ノ語句ヲ發見セサルヲ得ザルヲ以テ、問題ノ形式的事項ニ關シテモ、同時ニ之レヲ檢スルヲ得ベク、傍ラ受験者ガ現代ノ話國語ニ關シテ有スル實力ヲモ、檢定シ得ルノ便アリ、全體今日ノ國語界ハ、現代ノ話國語ヲ餘リニ輕視シ、教育者ノ如キモ、口語ト普通文、普通文ト古文等ノ間ニアル關係、並ビニ之レガ教授及其方法等ニ着眼セルモノハ極メテ稀ナルガ如シ、近來小學校ニ於テハ少シク鑑ミル所アルガ如キモ、中等教育ニアリテハ、依然從來ノ和學國學時代ノ觀察ヲ以テ國語科ニ向フモノ、未タ其ノ跡ヲ絶ツニ至ラズ、國語トイヘバ和文ト心得ルモノ比々トシテ皆然リ其ノ局ニ當リ自、教授ニ任スルモノモ、太政大臣ノ説明ニ汲々タルモ、内閣總理大臣ノ何物ナルカヲ說カサルニ至リテハ、實ニ本末ヲ轉倒シタリトイフ可シ、抑モ中學校ニ於ケル國語教育ハ小學教育ヲ完成スルモノナレバ、現代ノ國語ヲ中心トシテコレニ中古ノ國語ヲ併セ教フベキモノニシテ、中古文、擬古文等ヲ以テ其ノ本領トナスヘキニアラズ、今第一問第二問ヲ見ルニ、問題トシテハ共ニ一面ノ價值ヲ有スレトモ、文體ヨリ見

レバ共ニ一種ノ擬古文ナリ、固ヨリ古文ニ關スル解釋力ヲ檢スルハ不必要ニハアラザレド、二問共ニ同様ノ文體ヲ選ビタルハ、雷ニ試験方法トシテ當ヲ得サルノミナラズ、中學校ニ於ケル國語教育ノ本旨ヲ無視シタルモノト云ハサルベカラズ、吾人ヲシテイハシムレバ、其二問ヲ普通文トナスカ、或ハ前述ノ譯文法ニヨリテソノ學力ヲ檢スルノ可ナルヲ信ゼントス。

第三問ノ如キハ實ニ拙劣ヲ極ム、凡ソ二三ノ單語ヲ以テ實力ヲ檢スルコトハ不可能ナリ、如何ニ簡單ナル單語ト雖、偶々ソレヲ知ラサルコトハコレアリ、「行幸」「行啓」ノ區別ノ如キハ一見恰好ノ問題ノ如キモ深く考フレバ、尙少シク專門ニ涉ルノ嫌アリ、又「篠ヲツク」「盾ヲツク」ノ二語ヲ行幸行啓ト並フルニ至リテハ、頗ル意地悪キ方法ニシテ、受驗者ヲシテ疑惑ノ念ヲ起サシメ、比較的實力ヲ有セルモノヲシテ、却ツテ誤ラシムルガ如キ不自然ナル結果ヲ來スノ恐アリ、コノ點ニ於テ吾人ハ松井氏ト見テ同ジクス、要スルニ單語ノ問題ハ、成ル可ク獨特ナルモノヲ避ケ一般の語中ヨリ許ス限リ多クヲ抽出スルコト、最モ、効果アル方法ナラン。

次ニ文法ノ問題中第一問ノ如キハ今日以後ノ問題トシテ頗ル不適當ナルモノナリ、何トナレバ今日ノ中學校ニ於ケル文法教授ハ多少ノ形式的價值ヲ有スト雖、其ノ實質的價值ハ、國語語法ノ大體ヲ知ラシメ、一ハコレニヨリテ、正確ナル文章ヲ綴ラシメ一ハ外國語ノ學習ノ基礎ヲ形作ルニアリテ、之レヲ完成スルニハ綜合的教授ヲ以テ最良トナス、從來中學校ノ文法科ハ其ノ教授餘リニ分析的ニ失シタレトモコハ我國文法ノ研究ハ其發生ノ時ヨリ日尙淺クシテ、今日ト雖未ダ完全ノ域ニ達スルコトヲ得サレバ、從テコレガ教授法ノ如キモ未ダ「フーソリチー」トスルモノナキニ因スルモノナレドモ、元來文法ヲ分析的ニ研究スルハ文法學者ノ任務ニシテ普通教育ニ於テコレヲ摸スヘキニアラズ、學問ト教育トハ決シテ混合スヘカラズ、教育ノ方面ニアリテハ、苟モ教授ノ目的ヲ達スルタメニハ如何ナル方法ヲ取ルモ可ナリ、必ズシモ科學ト一致スルヲ要セザルナリ、是レ文法ニ綜合的教授ノ唱ヘラル、所以ナリ、入學試験問題ハ素ヨリ國民教育ノ終了ヲ標準トシテ制定セラル可キモ、今日ノ如ク該試験問題ガ中等教育ニ大ナル影響ヲ及ホスノ時、國語教授界ノ大勢、從來ノ科學的分析教授ヲ避ケテ綜合教授ニ進マントスル喜フベ

キ曙光ヲ認ムルノ際ニ於テカクノ如キ分析的問題ヲ出スハ、單ニ問題トシテ價值ナキノミナラズ、實ニ中學ニ於ケル國語教授ノ進歩ヲ阻害スルモノナリ。

コノ點ニ於テ吾人ハ切ニ當局者ノ三省ヲ乞ハント欲ス、杉氏ノ報告ニヨレバ

第一問ノ不良成績者ハ東京受験中ニ多クシテ却ツテ地方ニ少シト、コレ實ニ等閑視スヘカラサルノ現象ニアラズヤ。

第二問三問ノ如キ多クハ中古文法ヲ主トシタル問題ニシテ、出題者ガ明治文法ヲ輕視セル痕迹、歷々トシテ認ム可シ、殊ニ「行カナン」「行キナン」ノ區別、「サヘ」「スラ」「ダニ」ノ異同ノ如キ殆ンド問題ノ標準ノ那邊ニアルカヲ了解スルニ苦シム、素ヨリ中古文法ノ大體ヲ學ベル中學校卒業生ニ對シ、之レヲ試ムルコト一理ナキニアラサレドモ、「ナン」「ナシ」「サヘ」「ダニ」ノ區別ハ、彼等ガ中等國民トシテ、世ニ立ツ上ニ於テ、サシモ重要ナル知識ナランヤ、且ツ文法三問中文章法ニ就テ試ミタルモノハ、僅カニ最後ノ一題アレトモ、コレトテ文章ノ構成ニ關スル緊要ナル設問ニハアラズシテ、唯拙劣ナル呼應ノ一試問タルニ過キズ、吾人ハ、是等ノ三問ニヨリテ果シテ文法ノ實力ヲ試験シ得ルカヲ疑フ

モノナリ、果セルカナ椿氏ノ作文成績ニ關スル意見書中、「文法疎亂ニテ時格、係結、呼應等ノ顧慮ナク試ミニ其一節ヲ取リテ論理的文法的ニ分解スレバ支離滅裂文意ヲ成サザルモノ多々有之候」トノ非難ヲ見ルニ至レリ、凡ソ現今中學校ニ於ケル國語教授中最モ放任セラレタルモノハ、作文教授ニシテ、生徒ノ文章ニ對スル教師ノ添削ノ如キモ、陽ニ開發主義ヲ標榜スルモ陰ニ其努力ヲ惜ミ、些々タル語句ノ誤謬ヲ訂スルニ止マリテ、進ンデ事實、論理、修辭、語法、文章法等ノ各方面ヨリ之レヲ添削シ、欠點ヲ戒飾スルト同時ニ其ノ美點ヲ賞揚シ、生徒ヲシテ技能的興味ヲ感ゼシムルガ如キ教授ヲナスモノナシ、吾人ハ國語教授界ノ爲ニ三嘆セサルヲ得サルナリ、夫レ國語科中尤モ實力ノ表現セラル可キモノハ作文ニシテ、殊ニ文法ニ關スル實力ハ、拙劣ナル問題ニヨリテ之レヲ試ミルヨリモ、寧ロ生徒ノ文章ニ於テ明瞭ニ認了セラル可キナリ、假令文法第三問ノ正誤ヲ完全ニ通過シタリトスルモ、其ノ文章ニ於テコレヲ誤ラバ、其ノ力ノ薄弱ナル知ルベキナリ、是レ探點上大ニ注意ヲ要ス可キ問題ニシテ、文法作文ノ兩者、飽ク迄提携セサル可カラサル所以ナリ。

椿氏ノ提出セル問題改正案ハ從來ノ問題ノ通弊ヲ看破シタル見解ニシテ首肯スベキモノナリ、殊ニ文法問題ニ對スル氏ノ意見ハ吾人ノ雙手ヲ舉ケテ贊同スル所ナリ、タゞ國語解釋ノ條下ニ「純粹ノ古文ハ避クルコト」ト註セルハ聊其理由ヲ解スルニ苦シム、氏ノ所謂純粹ノ古文トハ其ノ意味漠然タリトイヘトモ、若シ擬古文ト區別シタル名目ナラシメバ、試験問題トシテノ兩者ノ徑底何處ニアルカヲ疑ハザルヲ得ズ、又氏ハ新ニ漢字用法ノ一說問ヲ立テ漢文科ニ屬セシメタルガ如キモ、或ル程度迄ハ國語ノ範圍ニ屬スベキモノナリ、國語問題トシテ試ミ得ル範圍ニ於テ漢字ノ用法ヲ試問スルハ可ナルモ、漢文科ノ問題トシテノ漢字用法ハ餘リニ難解ニ過キタルガ如シ、而シテ今、之レガ實例トシテ掲ゲタル例題ヲ見ルニ多クハ、漢文科トシテノ漢字用法ノ問題ニシテ餘リニ專門ニ失シタル感ナキ能ハズ、且氏ハ既ニ漢文解釋ニ熟語故事ヲ摘舉スルコトノ弊ヲ認メタリ、今又斯ノ如キ問題ヲ課センカ、機敏ナル書肆ハ忽チニ適切ナル受験的冊子ヲ刊行シ、受験生ハ一夜漬ノ記憶ヲナスニ至リ、熟語典故ト同様ノ弊害ヲ來サンコトハ明ナリ、又氏ハ漢字用法ノ條下ニ於テ「簡單ナル復譯文等モ然ル可シ」ト註シタリ、抑モ中等教育ニ

於ケル漢文科ノ位地ハ、恰モ歐洲諸國ノ高等普通教育ニ於ケル「ギリシヤ」「ラテン」語ト同様ノ關係ニシテ、自國ノ文化ニ嘗テ大ナル貢獻ヲナシタル國語ヲ解シ、其ノ國ノ文化ヲ知り、コレニヨリテ自國ノ文化ヲ根本的ニ理解セシメ、並ビニ將來發展ノ基礎ヲ形作ルヲ以テ目的トセルモノニシテ、決シテ實用ヲ以テ目的トセサルナリ、サレバ獨逸ノ各高等學校ニ於ケル「ギリシヤ」「ラテン」ノ教授ニ於テモ發音等ニ拘泥シテソノ進歩ヲ阻害セシムルコトヲ避ケ、且ツ其ノ作文教授モ、文法語法ヲ確實ニ會得セシムル一手段トシテ之ヲナセルノミニテ、敢テ之レニヨリテ、思想ヲ發表セシメントハセザルナリ、我國ノ漢文教授ノ如キモ其ノ語法、用字等ニ關シ、確實ナル智識ヲ得シメ以テ、解釋力ヲ養フ方便トシテハ、復文、作文等ヲナサシムルモ敢テ不可ナキモ、ソハ漢文教授ニ於ケル一種ノ手段ニ過キズシテ國民教育終了ヲ標準トシテ制定スベキ高等學校入學試験問題ニ、之レヲ課セントスルハ當ヲ得タル見解トイフ可カラズ、秋月氏ハ現今中學卒業生ノ漢文ニ關スル實力ノ淺薄ナルヲ嘆キテ之レガ救濟策ノ一トシテ、復文法ヲ主張スルモ是レタゞ實力養成ノ一法トシテ、之レヲナスベシトイフニアリテ、之レヲ以テ入學試験問題ニ應

用セヨトニハアラズ、マタ以テ此ノ面目ヲ持スルニ足ランカ。

當今中學卒業生ノ漢文力ニ乏シキハ實ニ秋月氏ノイヘルガ如ク學力ノ欠點モ、氏ガ掲ケタル二ヶ條ヲ以テ、大略之ヲ盡シタリ、而シテソノコ、ニ至リタル原因ハ主トシテメノ教授法ノ不完全ニ歸スルガ如シ、近來他ノ各科教授法ハ、大ニ改善ノ域ニ進ミタレドモ漢文科ノ教授法ノミハ、依然トシテ舊ノ如ク甚ダシキニ至リテハ、寺小屋時代ノ教授法ト何等擇ブ所ナキガ如キアリ、蓋シ漢文科ノ中等教員ハ寺小屋時代ノ御師匠様ニアラサレバ、ソノ塾生門弟ノ徒ニシテ教授法ノ如キ殆ト夢想タニセサル老生ノ如キニヨルナラシカ、且ツ漢文科ハ比較的實用ニ遠カレル學科ナルヲ以テ、常ニ生徒ヲシテ興味ヲ起サシムルニ勉メサレバ、生徒ハ之レヲ輕ズル傾向ヲ生ズベシ、秋月氏ハ漢文ノ衰退ヲ二個ノ心的原因ニ歸シ、一ハ生徒ガ漢文ヲ容易ナリトシテコレヲ輕スルト、一ハ漢文漢字廢止論ノ影響ナリトナセリ、從來ノ中學卒業生ハ、ソノ小學時代ニ於テ、比較的難解ノ書ヲ教ヘラレシヲ以テ、或ハ中學ニ於テ漢文ノ容易ナルヲ感スルノ傾向ナキニアラサリシモ、今日ノ學生ハ決シテ然ラズ、如何ニカヲ漢文科ニ注クモ尙ソノ進歩ノ遅々タルハ、

吾人ガ嘗テ中學ヲ參觀シ、親シク教員學生ヨリ聞キタル所ナリ、漢文漢字廢止論ノ影響ノ如キ、吾人深ク究メストイヘトモ、コレヲ以テ直ニ一般學生ノ漢文力ノ薄弱ノ主因トナスニ至リテハ未ダ俄ニ首肯スベカラサルナリ。

觀來レバ諸教授ノ意見ナルモノハ各相異リ、カツテソノ間ニ貫通セル一ノ主義ナルモノヲ見出ス能ハズ、試験問題ガ何等ノ統一ナキ杜撰ノモノタルハ怪ムニ足ラサルナリ、既ニ高等學校ノ試験問題ガ中學ノ教授法ニ大ナル影響ヲ與フルモノトセバ、寧ロコノ武器ヲ利用シテ中等教育ノ改善ヲ計ランコト、刻下最良ノ策ナラズヤ、吾人ハコノ點ニ於テ切ニ當局者ノ三省ヲ乞ハント欲スルモノナリ、受験準備ノ如キモ、試験委員ニ確乎タル定見ナキ間ハ、到底成算ナキモ、吾人ノ希望ノ一端ヲ言ハンカ、試験官タル者ハ國漢文ヲ中學ニ教フルノ目的ハ學生ノ常識養成ニ大任務ヲ負フモノナルコトヲ自覺シ常ニ之ニ向ツテ學生ニ教ヘ學生ヲ導クヲ主トセザルベカラズ、從テ高等學校入學試験等ニ於テモ之ヲ標準トシ通常佳良ナル新聞雜誌ニ散見シ社會的生活ニ實際關係アル國漢文句、故事熟語等ノ智識ノ有無ヲ試メスニ止メザルベカラズ、斯ノ如クンバ受験者亦自ラ其向フト

コロヲ知り之ニ對スル準備ヲナスヲ得ンカ。

第三編 數學

第一章 一、試驗問題

算術

- (1) 甲酒二升ト乙酒三升トノ價ハ三圓六十錢ニシテ甲酒三升ト乙酒四升トノ價ハ五圓七錢ナリ今之ヲ混合シテ一升七十五錢ノ酒三斗八升ヲ造ラントス各幾許ヲ要スルカ。

- (2) 與ヘラシタル整數ヲ ∞ ニテ整除シ得ルヤ否ヤヲ知ル方法及其理由如何。

代數

- (1) 金若干ヲ貸シ一年ノ後元利合セテ百四十圓ヲ得タリ若シ元金二十五圓多ク年利率四分高カリセハ元利合計百七十四圓ヲ得ベカリシトイフ、元金及年利率ヲ問フ。

- (2) 次ノ分數ヲ約セヨ。

$$\frac{6a^4 - 5b^3 - 20a^2 + 1}{4a^4 - 17a^3 - 10a + 3}$$

幾何

- (1) 三角形ABCノ一邊ABノ上ニアル一點Pヲ過リテ其面積ヲ二等分スル直線ヲ引クコトヲ求ム。
- (2) 一ツノ點ヲ過リ同シ平面ノ上ニアラザル二ツノ直線ニ出會フ直線ノ位置ヲ求ム。

三角法

(1) $\tan \theta = \frac{d}{a}$ ナルキ $\sqrt{\frac{a-b}{a+b}} + \sqrt{\frac{a-b}{a-b}} + \sqrt{\frac{a+b}{a-b}} = \frac{2 \cos \theta}{\cos 2\theta}$ ナルコトヲ證明セヨ。

- (2) 三角形ノ三ツノ角ヲA, B, Cトシ其對邊ヲ夫々a, b, cトス、 $B = 60^\circ$ ナルトキ $\frac{a+c}{2b} = \sin(30^\circ + \phi)$ ナルコトヲ證明セヨ。

二、第一高等學校教授、數藤斧三郎氏ノ意見

算術

本年ノ高等學校入學者撰拔試験成績ノ中、數學ノ部ヲ通覽スレハ受験者中ノ少カラサル部分ハ幾何ノ問題ニ成功シ、算術第一問及代數第二問等ニ失敗セル如シ、是レ注目スベキ一現象ナリ、幾何ニツキテ言ハシニ最初ノ二問ハ共ニ比較的困難ナルモノナレドモ又觸レタルモノニシテ殆ト何レノ教科書ニモ之ヲ載セザルナク、殆ト何レノ學校ニテモ其解法ヲ授ケサルコトナシ、之ニ反シテ算術第一問ハ比較的平易ニシテ之ヲ「第一甲乙二種酒ノ代價ヲ求ム、第二混合ノ割合ヲ求ム」ト二個ノ問題ニ分割セバ答ヘ得サルモノ稀ナラン、代數第二問モ亦然リ、之ヲ少シク露骨ニ「分子分母ノ最大公約數ヲ求ム」トセハ解シ得サルモノナカラシ、然レトモ兎ニ角前者ハ問題ノ分析ヲ要シ、後者ハ問題ノ真相ノ看破ヲ要ス、此分析モ此真相看破モ共ニ斯ク極メテ容易ニ且自然ナルモノナレトモ疑ナク活用ニ屬ス、即チ受験者ガ幾何ニ成功セルハ其熟知ノ問題ナルガ爲ニシテ代

數算術ニ失敗セルハ其應用問題ナルガ爲ニアラスヤ、コレ決シテ一個臆斷ニアラス、近來市内有數ノ某々私立豫備校等ニ於ケル數學教授ノ實況ヲ聞クニ、教師日々時間ノ許ス限リ多數ノ問題ト其解トヲ黑板ニ書流シテ、生徒ヲシテ勿急ニ之ヲ筆記セシムルノミ、何等講義ナク何等課題ナク寸毫モ生徒ノ數學能力ノ開發ヲ勉メス唯機械的暗誦ヲ以テ足レリトナスニ似タリ、彼入學試験成績ハ實ニ教授法ノ此弊害ヲ暴露スルモノナリ、而シテ之ガ矯正法ハ當局者ニ於テ必ズ講究セラルベキモノナラン。

三、東京高等師範學校教授、生駒萬治氏ノ意見

算術

算術問題(1)ハ稍思考力ヲ要スベキ問題ナリシニ係ラズ、比較的好成績ヲ得タリ。問題(2)即チ與ヘラレタル整數ヲ八ニシ整除シ得ルヤ否ヤヲ知ル方法及ビ其理由ハ極メテ平易ニシノ通常ノ教科書ニハ殆ト記載セサルモノナク苟モ中學校ヲ卒業シタルモノハ何ント雖解答シ得ベキ筈ノ問題ナリ、殊ニ予ノ審査シタル第二部志望者ハ比較的數學

ニ興味ヲ有シ、將來希望ノ專門學科ヲ修ムルニモ亦數學ヲ要スルコト多キモノナリ、然ルニ此問題ヲ完全ニ解答シ得タルモノハ甚タ稀ナリキ。何レノ問題ノ解答ヲ見ルモ思想ノ發表概シテ拙劣ナルヲ覺エタリ。抑モ此ノ如キ現象ヲ呈シタルハ、從來往々問題ノ高尚ニ過ギ、或ハ一方ニ偏シタルタメ、中學校ニ於ケル教授ハ常ニ高尚ニ失シ、或ハ生徒ノ心力ニ不適當ナル教材ヲ皮想的ニ課シ、或ハ各種ノ入學試験ニ屢々出ル種類ノ事項ノミニ注意スルノ弊ニ陥リ却テ平易ニシテ必要ナル事項ヲ充分ニ理解セシメ、且ツ之ヲ完全ニ發表セシムルコトヲ等閑ニ附シタルニヨルモノト斷定セサルベカラズ。

此故ニ將來問題ヲ撰定スルニ當リテハ成ルベク各方面ニ關係セル平易ノ問題ヲ選ビテ中學教育ヲ完全ニ修了セルヤ否ヤヲ判定スベク、中學校常事者ハ入學試験ニ重キヲ置カズ、只管生徒ノ心力ニ適當ナル教材ヲ選ビ、十分ニコレヲ理解セシメ、コレヲ練習セシメ且ツコレヲ完全ニ發表セシメ、以テ中學教育ノ完成ヲ期スベキモノナリト思考ス。

四、第四高等學校教授、河合義文氏ノ意見

代 數

小官本年高等學校入學者選抜試験委員トシテ上京中調査致シ候ヒシ答案ハ英語ヲ外國語トセル第三部シカモンノ代數科ノミニ事故直接ニ得タル感觸ハ至テ小局部ニ止リ數學科全般ニ亘リテハ何トモ申上兼不候ヘトモ兎モ角モ代數科ニ於テハ本年ノ問題ハ中學現時ノ程度ニ對シ聯絡ヲ缺クモノトハ認メ不申、受験者ノ最多數ハ同問題ヲ解シ得ル能力ヲ具備スルモノト認メ申候、但シ實地練習ノ十分ナラサルト我國舊來ノ通弊トシテ、教ユル者モ教ヲ受クル者モ不知不識平生運算ヲ輕視スルノ結果第二問ノ如キニ會シテハ一舉手ノ運算ノ後ハ混亂爲ス所ニ迷フカ、或ハ挫折拋棄ノ無氣力ニ終リ今回小官調査セシ千四百八十八人中第二問ニ對シ相應ナル答ヲ附シ得タルモノトテハ僅ニ數十人ヲ出テサル不結果ヲ見、小官今更ナガラ遺憾ニ存シ居ルコトニ候。

然シ過ル明治三十五年小官同シク試験委員ヲ命セラレ、今回同様代數科（但シ第一部ヲ

受持チ候ヒシガ、其時ノ結果ヲ追想シ、今回ノト比較スルニ運算ノ拙ナルハ殆ト同様ニ候ガ代數學ノ基礎ナル正負號ノ尊重スベキコトハ其後大ニ覺醒セラレタル様ニ感シ、甚ダ愉快ニ存シ居ルコトニ候。

之ハ小官受持以外ノコトニ屬シ、成績ト對照シ得タル儀ニハ無之、申上クルモ如何ニ候モ御注意ニ任セ聊カ所感ノ一二ヲ申上候ヘハ算術科ニ於テハ第二問ノ如キハ普通教育ニ於ケル算術科ノ問題トシテハ如何ノモノニヤ、カ、ル種類ノ問題、高等學校入學試驗問題トシテ見レンカ、中學教育ノ方針ヲ變更セシメ再ビ明治二十三四年頃ノ弊風ニ陥ラシメサルナキカ、杞憂ニ存候。

幾何學科ニ於テハ小官別ニ所感無之、先ヅ相當ノモノ、様ニ心得申候。
三角法科ニ於テハ第二問ノ如キハ中學教育ニハ不相當トハ考ヘ不申候ヘトモ中學ニ於テ教ヘ得ル最高限ニ瀕スル問題カト存候、カ、ル問題ハ各中學ニ於テ十分ナル練習ヲ得サルモノト推シ候、從テ今回ノ如キ試驗ノ問題トシテハ如何カト存シ居候。

五、高等師範學校教授、千本福隆氏ノ意見

代 數

本年施行相成候大學豫科入學者選抜試驗ニ於テ、生ノ取調ヘタルハ數學科中代數ノ答案ニ有之候處、右答案中二問題トモ完全ニ答ヘタルハ極メテ僅少ニ有之是レ第一問ハ二次方程式ヲ生ジ、從テ二個ノ答數ヲ得ル處、其取捨ヲ明カニシ得ザリシ者往々有之ト、第二問ハ演算ノ方法少シク拙ナルトキハ大ニ時間ヲ要シ、タメニ終結ニ至ラザリシ者多キニヨルベク、然レトモ該科滿點五十中三十點以上ヲ得タルモノハ相應ニ有之タル様覺ヘ居候、要スルニ本年ノ代數科ノ問題ハ適當ノ程度ニシテ甚シク困難トモ見受ケス候、此他ニ於テハ特ニ心付候廉モ無之候。

六、第二臨時教員養成所講師、板橋盛俊氏ノ意見

代 數

小生ハ二部受験者ノ代數答案調査ヲ受持チシニ調ヘタル結果第一問題ハ成績比較的良好ナリシモ第二問題ハ甚ダ不良タリ、第一問ハ應用問題ニシテ其解法ハ二次式トナルヲ以テ應用的能力ト二次式解法ノ能否ヲ同時ニ檢スルコトヲ得ルタメ試験問題トシテハ好點多シト信ズ、第二問ノ不良ノ成績ヲ呈セシハ那邊ニアリシヤヲ考察シタルニ、第一、本文ノ如ク分數式ヲ簡單ニセヨノ種類ノ問題ニシテ普通ノ教科書ニアルハ多クハ視察ニヨリ、分子分母ノ因子分解ヲナシ得ヘキモノニシテ本問ノ如ク視察ニヨリ公約數ヲ發見シ難キモノハ少シ、受験者ハ視察ノミニヨリ公約數ヲ發見セント切リニ試ミシモ其效ヲ奏セズ、時間切迫シタルモノ最多キガ如シ、第二、視察ニテハ到底公約數ヲ發見シ得サルヲ以テ普通ノ方法ニテ分子及分母ノ最大公約數ヲ求メント試ミシモノモ演算比較的複雑ナルタメ半途ニテ誤算ヲ生シ、遂ニ約數ヲ求メ得ズ、再ビ改算ヲ試ミシモ時間足ラズ、不能ニ終リシモノ亦少カラサリシガ如シ、本題ノ要ハ蓋シ最大公約數ヲ求メ得ルヤ否ヲ檢スルニアリシナランカ、然ラハ短時間ノ試験ニ於テ本問ノ如ク分數式ヲ簡單ニセヨトセスシテ寧ロ二次式ノ最大公約數ヲ求ムトセラレシナラバ、視察ヲ試ミテ時間ヲ費スコトナク受験者ニハ却テ都合ヨカリシナラン、去リトテ演算ガ本問ノ如ク複雑ニ陥リ易キモノヲ避ケラレンコトヲ希望スルモノナリ、第一問ト雖、更ニ少シク易クセラレテ可然カ、例ヘハ利率ガ四分高カリシナラバノ語ヲ略カレシナラハ、一層好成绩ヲ呈セシナラン、要スルニ僅カニ三時間内ニ數學全科八問ヲ課スルトセハ本年算數問題ハ中學卒業生ニハ易キモノトハ思ハレズ。

七、第六高等學校教授、瀨戸虎記氏ノ意見

幾 何

小官ハ本年入學試験ニ際シ幾何學試業答案ノ調査ヲ分擔セリ、二問題共ニ普通中學教科書(菊池大麓氏著小幾何學)ニアリフレ、大概ノ受験生徒曾テ一度ハ習得セシ故ナルベキカ成績一般ニ佳良ニシテ多クノ場合ニ於テ成績ノ高下ヲ判定スルニ苦シミタル位ナリキ、此際特ニ中學校ニ於ケル幾何學授業ニ關シテ指摘スベキ弊害ヲ發見セズ唯其成績佳良ナリシ事實ヲ答申スルノ外能ハサル所ナリ。

八、東京高等師範學校教授、國枝元治氏ノ意見

幾 何

小生今回ノ擔當學科幾何學答案調査中心付タル點聊カ左ニ申述候。

先ヅ事實トシテ多數ノ答案ニ現ハレタル所ニヨレバ二題ノ作圖問題中第一即チ平面幾何ニ屬スル方ハ其解答ニ於テ、特述作圖證明ト順序正シク説明シタルモノ多キニ拘ラズ、其第二即チ立體幾何ニ屬スルモノ、解法ニ於テハ其説明一般ニ亂雜ニシテ作圖證明等前後錯雜シ前題ニ於ケルガ如ク順序正シク説明シテ完全ナル解答ヲ與ヘタルモノ比較的少カリシ様見受ラレタリ、實ニ今回ノ問題ハ二題共極メテ平易ニシテ、中學卒業生ハ大概會テ一度ハ其解法ヲ學習シタルモノナルニ右ノ如キ狀況ヲ呈セシハ何故ナルカ、僅々二題ノ答案調査ヲ以テ現今中學校ニ於ケル數學教授ノ相ヲ推察スルハ固ヨリ難事ナリト雖、同種類ノ問題ノ解答ニ於テ右ノ如クナリシヨリ察スレハ、或ハ中學校ニ於ケル立體幾何學ノ授業不十分ナルニ非ルカ、特ニソノ問題ノ解法證明等ニ於テ平面幾何

學ニ於ケルガ如ク嚴密ニ順序正シク説明スルノ學習ヲ怠タルノ弊風存スルニハアラサルカ、是レ大ニ注目スベキ點ト思考ス。

又左ノ一件ハ小生受持ノ部ニアラサリシヲ以テ、其成績ノ如何ハ之ヲ知ルコト能ハサリシト雖、同ジク數學科ニ關スルヲ以テ一言御參考ニ供シ候。

算術ノ第二問題ハ遺憾ナガラ、少シク不適當ノ問題ナリシ様考ラレ候、此ノ如ク整數ノ性質ニ關スル特種ノ事項ハ、成ルベク中學校ニ於ケル算術教材中ヨリ省略スベキモノニシテ現在教科書中ニハ既ニコレヲ掲載セザルモノモアル様見受ケラル、程ナルニ、大學豫科入學試験問題ノ如キ一般ノ試験問題トナスハ如何ナランカ、或ハ恐ルコレガタメ全國中學校ノ算術教育上面白カラサル弊害ヲ生センコトヲ。

九、第一高等學校教授、保田棟太氏ノ意見

三 角 法

小生ノ受持ハ三角法ニテ答案審査中別ニ中學教育上注意ヲ要スベキ點心附不申候、一二

ノ不得要領ノ點ヲ申述フレハ左ノ通りニ御座候、狼狽ノ餘リ三角形ニ關係ナキ式ニ三角形ノ公式ヲ用キ、或ハ式ヲ其自乗ノ式ニ等シト書キ、或ハ二項式ノ自乗ヲ作ルトキ、其二項ノ相乗積ノ二倍ヲ忘レ、或ハ單ニ相乗積ノミヲ加ヘタルモノモ有之様記臆致候、又三角形ノ公式ヲ證明スルニ當リ、特別ノ場合ナル直角三角形ヲ取リテ證明セル等ニ有之候。

十、東京帝國大學理科大學助教授、中川銓吉氏ノ意見

三角法

本年御施行ニ相成タル大學豫科入學者選抜試験ノ答案中、小官ノ審査シタルハ重ニ一部英法ノ三角法ナリシガ、其正確ナル答ヲ出スコト能ハサリシモノ、多數ハ三角函數ノ性質ヲ知ラサリシヨリモ寧ロ代數計算ノ不熟練ナルニ基因セリ、殊ニ第一問ノ如キ根號ヲ有セル數即チ不盡根數ノ四則ガ十分ニ了解サレ居ラズ、其演算モ亦從テ拙劣ノ様ニ見受申候、右ハ畢竟中學校ニ於テ代數學ノ理論ヨリモ演習ノ足ラザル結果ニアラサルヤト思

考仕候。

第二章 數字受験ノ心得

數學ハ暗記ノ學問ニハアラス、然ルニ近頃學生ノ多クハ徒ラニ多數ノ數學ノ問題ト其解法トヲ暗記シタルノミニテ能事畢レリトナシ、以テ十分ニ試験ニ應ジ得ベキモノト心得居ルハ大ニ誤レリトイフベシ、尤モ數學ニ於テハ基礎トナルベキ定理公式等アリテコレ等ハ勿論儘ニ暗記セザルベカラザレドモ唯之ヲ暗記シタルノミニテ其出デ來レル理由ヲ詳ニ會得セザレバ一旦コレヲ忘却スルトキハ如何トモスル能ハザルニ至ル、故ニコレ等ノ證明法等ハ十分暗記シ置カザルベカラズ、又幾何學ニ於テハ定理トイフモ問題トイフモ殆同一物トイヒテ差支ナキ程ニテ問題ノ中ニテモ隨分他ノ問題ヲ解クトキノ基礎トスベキモノ多ケレバ此等ハ矢張り暗記セザルベカラズ、サレド唯多クノ問題及其解法ヲ暗記スルノミニテハ一度其知ラザル問題ニ出會フトキハ如何ナル定理如何ナル問題ヲ應用スベキカヲ考ヘ出スコト能ハズ故ニ平生自ラ問題ヲ可成多ク解イテ其思考力ヲ

養成スルコト必要ナリ、嘗テ予ガ某校ニ於テ中學補習科ノ生徒ニ

一ツノ圓ト二點A Bヲ與ヘラレテ此圓周上一點Pヲ求ムルニ角 $\triangle P B A$ ヲ最大ナラ

シメヨ

トイフ問題ヲ授ケタリシガ其年ノ高等學校入學試験ニハ

一ツノ直線ト二點A Bトヲ與ヘテ此直線上ニ角 $\triangle P B A$ ガ最大ナルベキ一點Pヲ求メ

ヨ

トイフ意味ノ問題ガ出タルコトアリキ、予ガ前ニ教ヘタル補習科生徒中此試験ニ應ジタリシモノアリシガ其中ノ一人ハ此問題ヲ解クコト能ハザリシトテ予ニ「圓ガ與ヘラレタル場合ハ先生ヨリ授カリテ暗記シ居タリシガ直線ノ場合ハ未ダ授カラザリシ故出來ザリシ」トイヒテ甚平然タリシ、此時予ハ斯クマデモ應用ニ疏キカト考ヘ茫然自失シタリ、然レドモ其後傳聞スル所ニヨレバ斯ク應用ノ能力ニ乏シキモノ甚多シトイフ、昨年ノ高等學校大學豫科入學試験ニ就キテノ試験委員ノ意見ニモ亦此言アルヲ見ル、嗚呼コレ何ノ罪ゾ。

コ、ニ於テ學生ニ勸告ス、數學ヲ學バント欲セバ解式集ヤ他人ノ解ヲ暗記スルヨリハ自ラ其解ヲ考ヘ數回考究ノ結果尙適當ナル解ヲ得ズンバコ、ニ始メテ他ノ教授ヲ求ムルカ又ハ解式集ニヨリテ其解ヲ求メヨ、十題ノ解ヲ暗記スルヨリハ自ラ一題ヲ解ク方遙ニ其思考力ノ養成ニ效アレバナリト。

コレヨリ算術、代數、幾何、三角ト各科ニ分チテ少シク注意スベキ點ヲ述ベン。

算 術

中學卒業生ガ高等學校ヤ各種専門ノ學校ノ入學試験ニ應ズル際失敗スルモノハ算術ニ多ク、又補習科等ニテ數學ヲ授クル際ニモ學生ノ最好マザルモノハ算術ニ在リト、其失敗スルノ原因ハ其好マザルニアルコトハ云フヲ俟タザル所ナルガ其好マザルノ原因ハ那邊ニ在ルカ、予ハ思考力ヲ練習スルニ最適當ナルハ數學諸科(中學程度ニ於テイフ)中算術ヲ措テ他ニナカルベシト思フ、コレ予ガ一家ノ私言ニアラズ、一般ニ數學ヲ知ルモノ、云フ所ナリ、現今ノ學生ガ自ラ考ヘテ數學ノ問題ヲ解クコトヲ嫌フコト前項述ブル所ノ如シトセバ其算術ヲ好マザルノ所以モ亦茲ニ存スルナルベシ、果シテ然ラバ算術ヲ嫌フモノハ

好んで自己ノ數學上ノ智識ヲ劣等ニセント欲スルモノナリ。

故ニ苟クモ數學ヲ修メントスル（モノ少クモ試験場裡ニ於テ數學ニ成效セントスルモノ）ハ先算術ノ問題ヲ十分ニ練習スルヲ要ス。

算術ノ問題ヲ解カンニハ其問題ノ意義ヲ熟考シテコレヲ一層簡易ナル數個ノ問題ニ分解スルコト必要ナリ、斯クスレバ一通リノ算術問題ノ解法ヲ知レバ可ナリ、難問ヲモ解クコトヲ得ベシ、難問トイフ程ニモアラザレドモ昨年ノ高等學校ノ入學試験問題ノ一ツニツキテコレヲ説明スベシ。

問題 甲酒二升ト乙酒三升トノ價ハ三圓六十錢ニシテ甲酒三升ト乙酒四升トノ價ハ五圓七錢ナリ、今之ヲ混合シテ一升七十五錢ノ酒三斗八升ヲ造ラントス、各幾許ヲ要スルカ。

此問題ヲ解クニハモシ各酒一升ノ價ヲ知ルヲ得バ通常ノ混合法ニヨリテコレヲ解クヲ得ベシ、故ニ先ツ次ノ問題ヲ解クヲ要ス。

甲酒二升ト乙酒三升トノ價ハ三圓六十錢甲酒三升ト乙酒四升トノ價ハ五圓七錢ナリ、

各一升ノ價何程。

コレハ少シク四則雜題ノ解ヲ知レルモノニハ容易ニ解クヲ得。

故ニカクノ如ク問題ヲ分析スレバ各酒一升ノ價ヲ求ムル四則雜題ノ問題トソレヨリ混合ノ割合ヲ求ムル混合法ト三斗八升ヲコノ割合ニ分ツ配分法トノ三ツノ問題ニ分ツヲ得、其各問題ハ一通リ算術ヲ學ビタルモノナラバ容易ニ解クヲ得ベキナリ。

第一高等學校ノ數藤教授ノ意見中此點ニ論及セラレタル所一般受験者ノ猛省ヲ要スベキナリ。

代 數

此科ニ付キテハ別段取立テ、云フベキ程ノ事ハナケレドモ此科ハ主トシテ公式ヲ應用シテ計算スル學科ナル故計算ニ熟練スルコトハ此科ニ成效セントスルモノ、第一急務ナリ、又公式ヲ精確ニ暗記シテ自由ニコレヲ運用シ得ル様ニスルコトモ亦必要ナリ、コレガ爲メニハ矢張り平生成ルベク多クノ問題ヲ練習スルヲ必要トス、學校ニテ少シク複雑ナル計算ヲ要スル問題ヲ課スルモ此様ナル面倒ノ問題ハ出ルコトナキ故コレヲ解ク

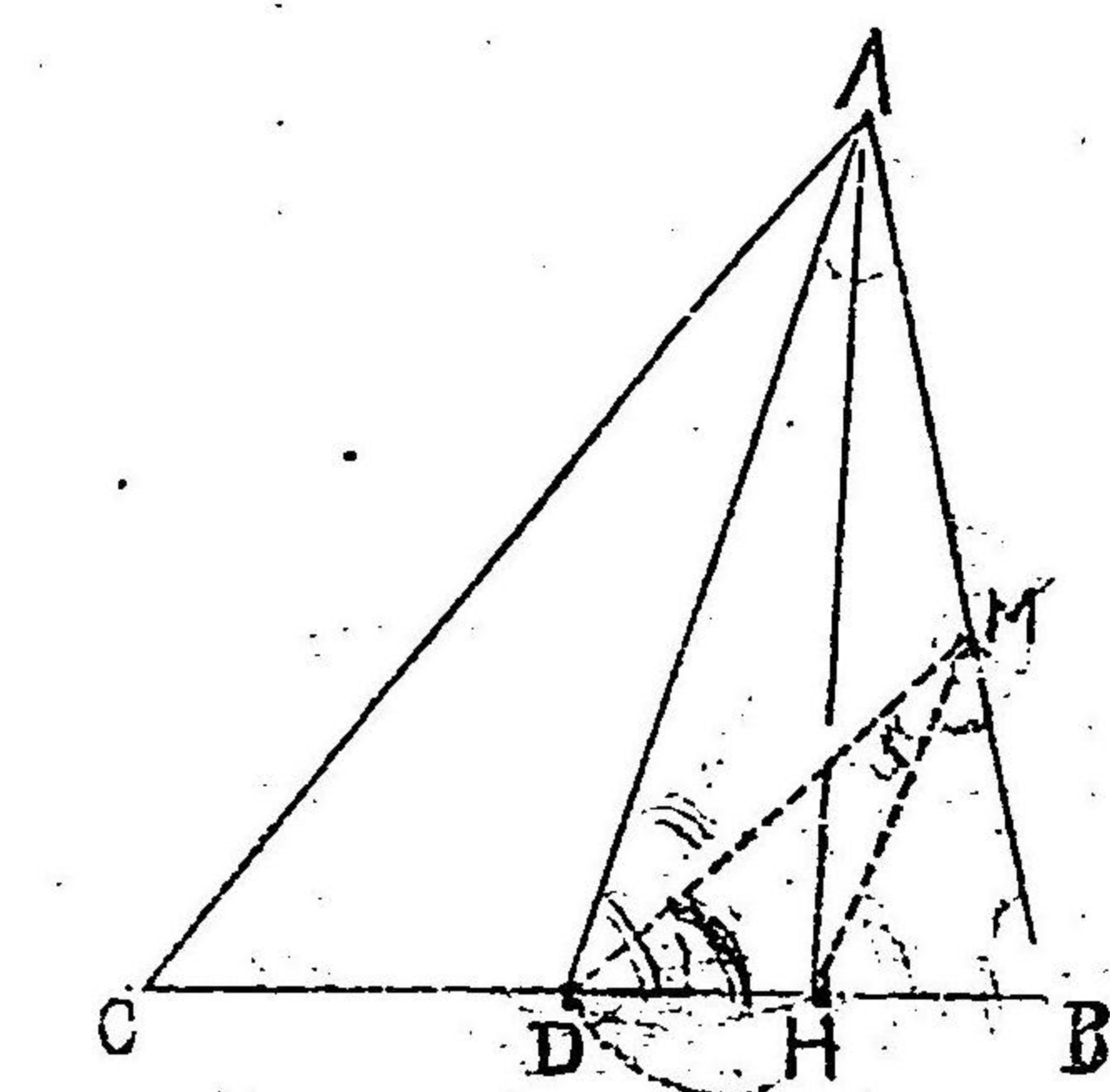
幾何

ノ必要ナシトテソノ演算ヲセザル如キハ自ラ此科ノ不成效ヲ招クノ要素ナリ。

此科ハ殊ニ學生困難ヲ感ズル所ニシテ特ニ作圖題ニ於テ然リトス、コレ此科ノ問題ハ個々別々ニ各特別ノ思考ヲ要スルモノナルモ最初ニイヘル如ク唯問題解決ヲ暗記スルコトニノミコレ勉ムルニヨルナラン。

幾何學ノ證明問題ヲ解クニハコレヲ分解シテ既ニ知レル定理或ハ問題ニ歸着セシムルコトガ最ヨキ方法ナリ、今其一例トシテ一昨年十一月ノ海軍機關學校入學試驗問題ノ一ツニツキ其證明ヲ案出スル順序ヲ説明スベシ、

問題 三角形 $\triangle ABC$ ニ於テ一ツノ底角 B ガ他ノ底角 C ノ二倍ナルトキハ底邊ノ中點ト高サノ足トノ距離ハ邊 AB ノ半ナリ。



圖ニ於テ角 B ガ角 C ノ二倍ニシテ、 D ハ底邊 BC ノ中點、 H ハ高サノ足、 M ハ AC ノ中點ナリトセン、然ラ

ハ DH ガ AM ニ等シキ事ヲ證スレバ可ナリ。

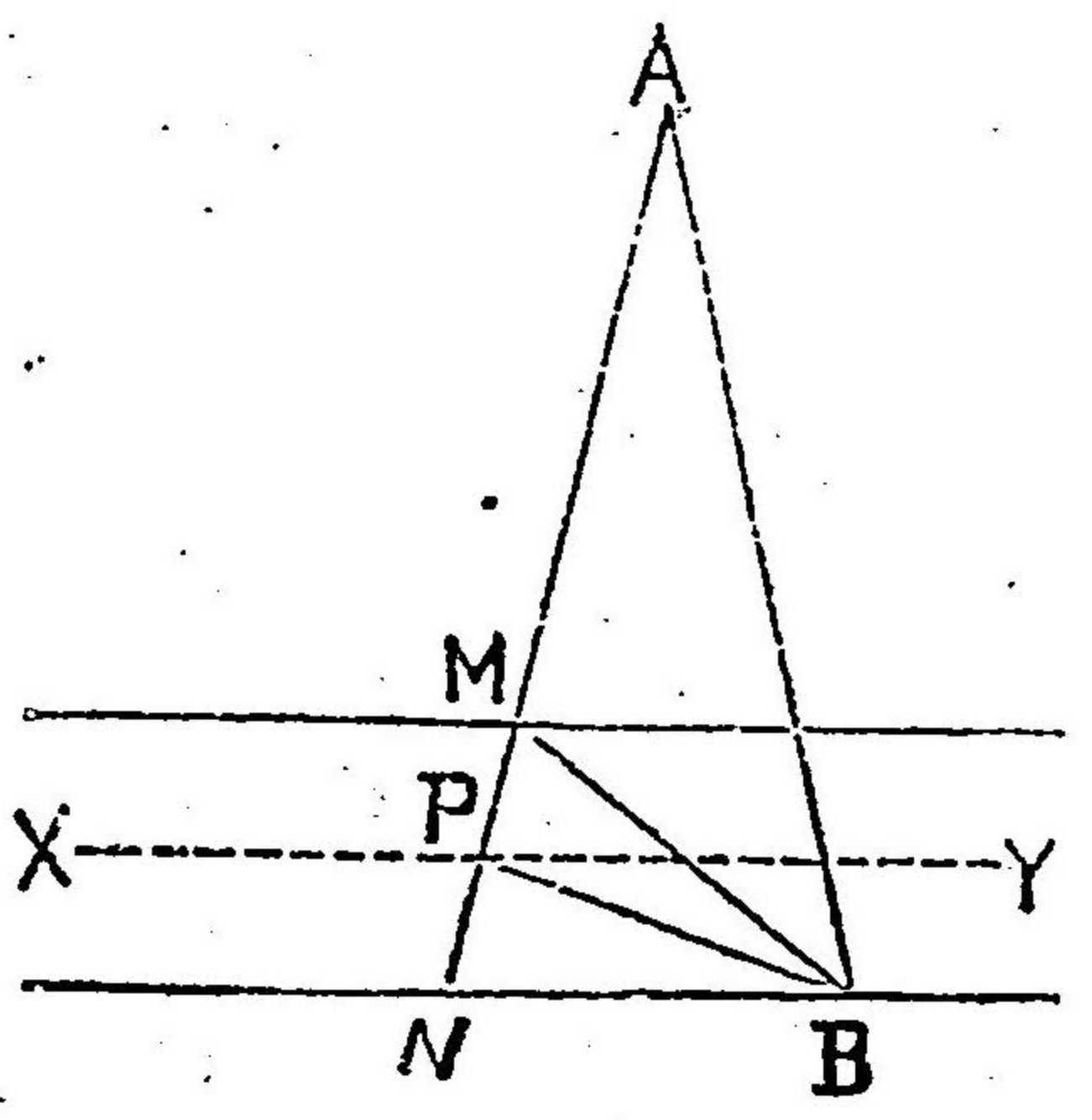
サテ直角三角形ノ斜邊ノ中點ヲ其直角ノ頂點ニ結ブ直線ハ斜邊ノ半ニ等シキコトハヨク知ラレタル事ナレバ MH ヲ結ベハ $MH \parallel AM$ ナリ、ヨリテ本題ヲ證スルニハ $DH \parallel MH$ ナルコト即三角形 MHD ガ二等邊ナルコトヲ證スレバ可ナリ、而シテ又コレヲ證スルニハ $\angle DMH \parallel \angle MDH$ ナルコトヲ證スレバヨシ、即 $\angle MHB$ ガ $\angle MDH$ ノ二倍ナルコトヲ證スレバヨシ、然ルニ $MD \parallel AC$ ニ平行ナルヲ以テ $\angle MDH = \angle C$ ニシテ又 $MH \parallel MB$ ナルヲ以テ $\angle MHB = 2\angle MDH$ 而シテ假設ニヨリ角 B ハ角 C ノ二倍ナルヲ以テ $\angle MHB = 2\angle MDH$ ナルコト明ナリ、コレニヨテ容易ニ本題ノ證明ヲ得ルコト次ノ如シ。

$$\begin{aligned} MD \parallel AC &\therefore \angle MDB = \angle C \quad \text{又} \quad MH \parallel MB \therefore \angle MHB = \angle B \quad \text{然ルニ} \quad \angle B = 2\angle C \therefore \angle MHB = 2\angle MDB \therefore \angle MDH = \angle DMH \therefore DH = MH \quad \text{然ルニ} \quad MH \parallel AM \quad \text{ナルコト明ナリ故ニ} \quad DH = AM \end{aligned}$$

又作圖題ヲ解クニハ先解析法ニヨリテ其求ムル圖形ノ性質ヲ求ムルヲヨシトス、コノニ

又其一例トシテ昨年ノ東京高等師範學校ノ入學試験ニツキ説明スベシ。

問題 二ツノ點A BトBヲ過ル一ツノ直線トA B二點ノ間ヲ過リテ直線ニ平行ニ引キタル他ノ一ツノ直線トガ與ヘラレタルトキAヲ過リテ此ノ二ツノ平行直線ト夫々M及BNニ於テ交ル直線AMNヲ引キBM及BNノ長サヲ等シクセヨ、又此ノAMNノ如キ直線ハ幾何引キ得ルカ。



線XYトノ交點トシテ求ムルヲ得、既ニP點ヲ得レバ求ムル直線ヲ引クコトハ容易ナリ。

解析法 先ツ求ムル直線ヲ引キ得タリトスレバ三角形BNT

ニハ二等邊三角形ニシテMNノ中點ヲPトシBPヲ結

ベハ角APBハ直角ナルコト明ナリ、故ニPハABヲ直線

トスル半圓周上ニアリ、又PハMNノ中點ナルヲ以テ與

ヘラレタル平行二直線ヨリ等距離ニコレニ平行ナル直線

XYノ上ニアリ、故ニP點ハABヲ直徑トスル半圓周ト直

此解析ニヨリテ求ムル直線ハXYヲ直徑トセル半圓周ト直線XYトノ交點ヲA點ニ

結ブ直線ナルコト明ナリ、從テ容易ニ其作圖法ヲ得ベシ。

又直線XYハ唯一ツニ限リABヲ直線トスル半圓周ハABノ兩側ニ各一ツツ、出來

ルヲ以テ求ムル直線ハ二ツアルコトヲモ知ラルベシ。

斯クノ如ク問題ガ出來タルモノトシテ求ムル圖形(前題ニハ直線AMN)ノ性質ヲ求ム

ル方法ヲ解析法トイヒ作圖題ヲ解クニハ最良キ方法ナリ。

上ニ云ヘル問題ノ分析モ解析モ亦皆多少ノ思考ヲ要スベキモノナレバ平生問題ヲ練習

シテ思考力ヲ養成スルニアラザレバ新シキ問題ニ臨ミタル場合ニ迅速ニ其分解、解析ヲ

ナシ得ラレザルナリ。

三角法

此科ニ於テ取扱フ數ハ主トシテ角ノ三角函數ニシテ勿論コレハ一ツノ不名數ナリ、即

ち $\sin A$ トイフモ $\cos B$ トイフモ畢竟代數學上ノ a 、 b ノ如キモノニ過ギズ、唯代數學ニ

テ a 、 b 等ハ任意ノ數ヲアラワセドモ三角函數ハ所謂基礎ノ公式ニ適スベキ或ル限リア

ル値ヲ有スル數タルニ過ギズ、故ニ代數計算ニ熟達セルモノハ亦此科ニモ困難ヲ感ゼザルベキ筈ナレドモ實際ニ於テハ此科ヲ甚困難ナルモノト思フモノ多シ、コレ三角函數ガ代數學上ノ數ト同一ノ取扱ヲナサルベキモノナリト思ハザルニヨルナラン、實際學生ガ $\sin(A+B) + \sin A + \sin B$ トヲ混同シ、又 $\sin 2A \parallel \frac{1}{2}$ ガ與ヘラレタルトキ $\sin A \parallel \frac{1}{4}$ トスルガ如キハ往々見ル所ナリ。

上ニ云ヘル如ク三角函數ノ基礎ノ公式即

$$\begin{aligned} \sin^2 A + \cos^2 A &= 1, & \sin A \operatorname{cosec} A &= 1 \\ 1 + \tan^2 A &= \frac{1}{\cos^2 A}, & \cos A \cdot \sec A &= 1 \\ &= \sec^2 A, & \tan A \cdot \cot A &= 1 \\ 1 + \cot^2 A &= \frac{1}{\sin^2 A} = \operatorname{cosec}^2 A \end{aligned}$$

等ニヨリテ定メラルベキ或數ナレバ常ニ此等ノ公式ハ能ク記憶シヨク應用シ得ルコト恰モ $2+3 \parallel 5, 3 \times 3 \parallel 9$ 等ニ於ケルガ如クセザルベカラズ、モシ此等ノ公式ノ運用自在ナラザレバ恰モ算術ノ割り算ヲナスニ掛ケ算ノ九々ヲヨク知ラザルガ如ク其成效

決シテ望ムベカラズ。

次ニ云フベキハ此科ニハ公式ノ多キコトナリ、此等ノ公式ヲ一々暗記スルハ到底出來得ベキコトニアラザレバ先其内最必要ナルモノノミヲ儘ニ暗記スルヲヨシトス、然ラ其バ他ノ公式ハ容易ニ求メ得ラルベシ、其最必要ナルモノトハ

前記基礎ノ公式。三角函數ノ符號。餘角補角等。三角函數ノ關係。二角ノ和及差ノ三角函數。倍角ノ三角函數。二ツノ正弦或ハ餘弦ノ和若クハ差ヲ積ニテ表ハスコト及其逆。三角形ノ角ノ三角函數ト邊トノ關係。

等ナリ、昨年ノ高等學校入學試験ニツキテノ保田教授ノ意見中ニアル如ク、「三角形ニ關係ナキ式ニ三角形ノ式ヲ用キ」ルコト實ニ無暗ニ多數ノ公式ヲ暗記スルノ弊ニアラズシテ何ゾヤ。

第四編 物理、化學

第一章 一、試験問題

- (1) 花火ヲ打上ケタル瞬間ヨリ四秒時ヲ經テ其爆發ヲ見タリトイフ、其ノ上昇セシ高サ並ニ最初ノ速度ヲ計算セヨ。
但シ花火ハ最高點ニ達シテ爆發シ且ツ空氣ノ抵抗ハ無キモノトス。(g = 980)
- (2) 空氣ノ濕度ノ定義ヲ問フ又室内ヲ温ムレハ室内ノ空氣ノ乾燥スルハ何故ゾ。
- (3) 作圖ヲ以テ顯微鏡ニ依リ生スル物體ノ像ノ位置ヲ示セ殊ニ焦點ノ位置ヲ明示シ且ツ虛實ヲ區別スベシ
- (4) 電流ノねねるぎート他ノ種ノねねるぎートカ互ニ變換スル實例ヲ舉ケヨ。

化學

- (1) 分解及解離トハ如何ナルコトナルカ。
- (2) 下ノ各單體ヲ酸素中ニテ熱スル時生成スベキ化合物ノ名稱及化學記號ヲ記セ。
(イ) 磷 (ロ) 砒素 (ハ) 鐵
(ニ) 「アンチモン」 (ホ) 「マグネシウム」

- (3) 石鹼及綿火藥(火綿)ハ各如何ナル物質ニテ製スルカ。
- (4) 炭酸「カルシウム」 $CaCO_3$ 「グラム」ヲ強熱シテ得ベキ無水炭酸ノ容積ヲ標準ノ溫度及壓力ニ於テ測定スレハ幾「リートル」ナルカ。
 $C = 12.$ $O = 16.$ $Ca = 40.$

一、第二高等學校教授、日吉一雄氏ノ意見

物理

小官擔當ノ物理學科(第二部)ニ關シテハ

- (1) 第一問ノ答ニ於テ速度ノ單位ノ言ヒ表ハシ方ノ明瞭ナルモノ極メテ少數ナリシコト。
 - (2) 第四問ニヨク纏リタル答ヲナシタルモノ、少數ナリシコト。
- 以上二件ハ答案審査中特ニ心付キシ所ナリ。

三、第四高等學校教授、今井省三氏ノ意見

化 學

小官儀今般大學豫科入學者選抜試験委員ヲ命セラレ化學答案審査致候處特ニ中學教育上注意ヲ要スベキ點及問題ニ關シ心付候件左ニ開陳致候。

- (1) 中學校ニ於テ今少シク記號法、命名法ニ注意サレタキコト。
- (2) 化學第二問中ノ「二」號(アンチモン)ハ現今中學程度ニ對シテハ不適當ト認ム故ニ審査ノ際其結果ヲ豫想シ委員協議ノ上同問題ニ對シテハ、簡便ナル採點法ヲ施行スルコト、セリ、果シテ小生ノ受持(第三部英)答案中正當ノ答ヲ得タルモノハ漸ク二三ノミナリシ。
- (3) 化學第三問題中「火綿」ハ少シク高尚ニ過グルノ嫌アリト思考ス。
- (4) 一時間ニ化學四問題ハ過多ト思考ス。

四、第五高等學校教授、白壁傑次郎氏ノ意見

化 學

拙者ハ第一部(全部)入學者志望者及ビ第三部(獨)入學志望者ノ答案ヲ檢シタルガ之ニ就キテ氣付キタル二三ノ點ヲ舉クレバ左ノ如シ。

- (1) 第三部受験者ノ答案ガ概シテ第一部受験者ノ答案ニ比シテ著シク優等ナリシコト。
- (2) 答案ノ認方ハ必スシモ粗ナリトハ思ハサリシモ術語ノ意義ヲ了解スルコトノ度合ガ餘リニ粗ナルガ如ク感セラレタルコト(例へハ第一問及ビ第二問ニ對シテハ完全ニ近キモノ甚タ稀ナリシガ如キ是ナリ)
- (3) 第三問ハ有機化合物ニ關スル問題ニテ幾分カ記憶的ニ涉ルモノナリシタメナランカ其結果ノ不良ナルモノ多カリシコト。
- (4) 第四問ハ計算ニ關スル問題ナレトモ特ニ計算問題トイフベキ程ノモノニアラズ分子式、分子容等ノ術語ノ意義ヲ了解シ居ラバ困難ナク答へ得ベカリシモノト思ハル

レドモ正シキ答案ヲ與ヘタルモノ甚少カラサリシコト。

百五十四

五、第三高等學校教授、森總之助、林森太郎、高橋鉉太郎

三氏ノ意見

物理、化學、國語作文

- (1) 中學教科書ニソノ事項アレトモ生徒ハヨク消化セズシテタゞサナガラ記憶セルヨウニ候、サレハ相類似セル事項ヲ問フニ多數ノ答解要領ヲ得サルハ授業法ノ宜シキヲ得サルガ故カト存候。
- (2) 試験問頭ハコノ上平易ニセンハ善カラズト存候、本年ノ問題中國語解釋ノ如キハ餘リ易キニ過キ候、サレハ寧ロ中學ノ程度ヲコノ數年來施行セル入學試験程度ニ合フヨウ進ムル方可ナラント考ヘ候。
- (3) 點數ノ低キハ中學授業法ト問題ノ難易トニ拘ラズ、他ニ亦理由アルベク候、ソハ一方ニハ試験委員採點ニ當リ、嚴正ニ眞價ヲ見ントシ、又一方ニハ試験範圍モ廣キガ

タハニ中學卒業ノ際相當ノ成績ヲ得トモ、入學試験ニ點數比較的少カルベキハ自ラノ事ニ候。

- (4) 答案特ニ作文答案中奇怪ナル當字及ビ誤字甚タ多ク見受ケ候、コノ點ハ中學教育中當ニ作文科ノミナラズ、諸學科ニ於テ十分注意アリタク思ハレ候。
又文法ヲ知リナガラ作文ヲ始メ他ノ答案ヲ物スルニ當リテ應用セヌ事モ一ノ忌ムベキ弊害ト覺エ候。
- (5) 教科書ノ始メノ方ノ事ハ委細ニ授業シ終リノ方學年終リテ時間ナキナドノタメニ疎略ナルコト有之様ニ候、コハ豫定ヲ作リテ首尾ヲ通ジテ平等ニ授業セラレタク存候。

第二章 理化學受験ノ心得

諸官立學校ノ入學試験ナリ中學校ノ學年試験ナリニ應ゼントスル學ガ生物理及化學ヲ學ブニ就テノ心得ヲ少シク述ベヤウト思フガソレニ就テハ先、是等程度ノ學生ノ試

百五十五

驗答案ニ最モ多ク見ル所ノ陷リヤスキ誤謬缺點ヲ指摘スルノガ早道ダラウト考ヘル、ソ
コデ自分ノ氣附キタル處ヲ次ニ述ベヤウ

第一 定義及定則ノ言ヒ表ハシニ就テ

定義及定則ノ言ヒ表ハシハヨク試験問題ニ提出サル、モノデ例ヘバ「空氣ノ濕度ノ定義

ヲ問フ」三十八年度高等學校大學理科入學試験「カ」三十八年度東京高等商業學校理科入學試験「フアラデー」ノ定律ヲ述ベヨ東京高等師範學校理科入學試験

トカ又「熱解離トハ如何」三十六年度高等學校大學理科入學試験「イ」ノ様ナ題デアル、受験者ノ多クハ此ノ

如キ問題ハ極ネテ平易簡單ナ題ト考ヘテ熟考ヲセズ直ニ其定義定律ヲ書キ下シテ仕舞

フガ普通デアル、物理學化學ニ十分精確ナル智識ヲモテルモノニトリテハ勿論此ノ如キ

題ハナンデモナイガ、答案ノ多クヲ見ルト完全ニソノ言ヒ表ハシノ出來テ居ルノハ甚少

ナイ、其等ノ答案ノ中ニハ最必要ナル一ニノ語ヲヌカスカ或ハ餘計ノ語ノ一ニヲ加ヘル

爲全ク其答ニ點ヲ與フルノ價值ノナイモ少ナクナイ今極簡單ナル二三ノ例ヲ擧ゲレバ、

『速サ』或ハ速度トイフ語ヲ用フル人モアリ、然レドモ速サト速度ノ定義ニ對スル答ハ次ノ様ナノガ

多イ

運動ノ速サトハ單位時間ニ物體ノ經過シタル路程ナリ

コレハ全ク誤レルモノデ、眞ノ答ハ

運動ノ速サトハ單位時間ニ物體ノ經過スベキ路程ナリ

トイフベキデアル、勿論等速運動ノ場合ニハ此二ツハ全然同ジ意味ヲ有スルガ、不等速

運動ノ場合ニ於テハ全ク異ナルモノデ其一例ヲイヘバ甲乙二停車場ノ間一哩ヲ汽車ガ

十分間ニ經過シタリトセンニ其平均ノ速サハ毎分一哩ナレド其汽車ハ進行ノ間常ニ毎

分一哩ヲ經過シタルニハアラズ或ル時ハ遅ク或時ハ速ク運動セルモノデ、ツマリ此毎分

一哩ノ速サトイフノハ若シ此汽車ガ此兩停車場間ヲ等速運動ヲナセリト假定セバ其運

動ハ毎分一哩ヲ經過スベキモノト同様ナリトイフニ過ギザルノデアル、故ニ茲ノ様ニ定

義シタ速サハ等速運動ノ速サニ限ルモノデアル。

又融解熱ノ定義ハ次ノ如ク述ベキモノデアル。

融解點ニ於ケル單位質量ノ某固體ヲ全ク同溫度ノ液體ニ變ズルニ要スル熱量ヲ其固

體ノ融解熱トイフ。

然ルニ此間ニ對スル答案ノ多クニハ融解點ニ於ケル、或ハ同溫度トイフ、語ヲ落スノガ常
 デアル、此語ノ一方ヲ落スト融解熱ノ意義ハ全ク誤レルモノトナル、何トナラバモシ
 融解點ニ於ケルトイフ語ヲ缺クトキハ任意ノ溫度ノ固體ヲ融解セシムルニ要スル熱量
 トイフコトニナリツマリ眞ノ融解熱ニ其任意ノ溫度ヨリ融解點マデ熱スルニ要スル熱
 量ヲ加ヘタルモノトナリ又同溫度トイフ語ヲ缺クトキハ任意ノ溫度ノ液體ニ化スルコ
 ト、ナリコレマタ眞ノ融解熱ニ其融解點ヨリ其任意ノ溫度マデ液體ヲ熱スルニ要スル
 熱量ヲ加ヘタルモノトナル故デアル。

又「ボイル」ノ定律ヲ述ブルニヨク次ノ如ク云フモノガアル氣體ノ體積ハ壓力ニ反比例
 ス。

コレモ全ク誤レルモノデアル、何トナラバ氣體ノ體積ハ其質量ノ大小ニモ溫度ノ高低ニ
 モ關係スルモノデアル、「ボイル」ノ定律ハ一定質量一定溫度ノ氣體ノ體積ト壓力トノ關
 係ヲ云ヒ表ハシタモノデ即次ノ如キモノデアル。

一定溫度ニ於ケル一定質量ノ氣體ノ體積ハ其壓力ニ反比例ス。

カクノ如ク定義定律ノ云ヒ表ハシハ一語一句オロソカニスベカラザルモノデ、コレヲ完
 全ニ云ヒ表ハサンニハ其事項ニツキテ十分精確ノ智識ヲ有サネバ出來ヌコトデアル、從
 テコレヲ答案ナドニ書クニモ十分ノ熟考注意ヲ要スル、然ルニ多クノ學生ハ前述ノ誤謬
 ニ陥ルハ畢竟試験前ノ間ニ合セ勉強ノタメ所謂公式集ヤ、拔萃様ノモノヲ徒ニ棒暗記ス
 ルニヨルトイハネバナラス、此點ニツキテハ十分學生ノ注意ヲ喚起スルノ必要ガアル故
 コ、ニ長々シクト書キ立テタ譯デアル。

第二 計算問題ニ就キテ。

受験者ノ多クハ計算問題ニ於テ失敗スル、其失敗ノ點ハ色々アルガ其重ナルモノヲ舉
 グレバ、物理學ニ於テハ(一)公式中ノ記號ノ意味ガ十分明ナラサル爲メ、(二)單位ノ撰
 ビ方不適當ナル爲メ、(三)計算ノ未熟ナル爲メ等デ、化學ニ於テハ(一)方程式ノ意義或
 ハ方程式自身ヲヨク知ラザル爲メ(二)分子容、分子式等ノ意味ヲ確カニ了解セザル爲メ
 (コノ點ニツキテハ昨年ノ高等學校入學試
 驗委員白壁君ノ意見ニモ述ベラレタリ)等デ計算ノ未熟ニヨルコトハ物理學ニ於ケルト同様デ
 アル。

サテ公式ノ意味ガヨク明ナラザルハ恐ラクハ矢張公式集棒暗記ノ罪デアラウト思フ實際中學生徒ノ答案ニモ随分多ク其點ガ見エル、即公式メケハ立派ニ答案ニ書イテアツテモ問題ニ與ヘラレタル數ヲ其中ヘ代用スルトキマルデオ門違ヒヲスルモノガ多イ。

單位ノ撰ビ方ノ不適當ナル爲メ間違ヒハ随分多ク見受ケル例ヘバ

百メートルノ高サヨリ落下セル石ハ何秒ニシテ地ニ達スルカ

トイフ問題ヲ解クノニ

$$S = \frac{1}{2}gt^2$$

ノ式ヲ用ヒテ

$$100 = \frac{1}{2} \times 980 \times t^2$$

トシテモノ値ヲ求ムルヤウナコトガ多イ、gノ値980ハ秒「センチメートル」ヲ單位トシタモノダカラコノ値ヲ用ヒルナラバSノ値モ「センチメートル」ヲ單位トシテ用ヒネバナラズ、又Sノ値ニ「メートル」ヲ單位ニ用ウレバgノ値ニハ980ヲ用ヒネバナラズコトハ明ナコトデアアル、コノヤウナ分り切ツタ事ヲ矢張り間違ヘルノハ畢竟試験場ニテ

多少周章ナルニモヨルガ又平生單位ノコトヲ精確ニ考ヘヌ罪デモアル、ソシテコレハ又公式ヲ暗記シサヘスレバ計算問題ハタゞ其中ニ與ヘラレタル數ヲ代用スレバ出來ルトイフ様ナ淺薄ナ考デ平常問題ノ練習ヲ積マヌカラ起ルコトデアアル。

次ニ化學方程式ニツキテ精確ナル智識ヲ有セザルコト、即分子式ハ如何ナル意味ヲ有スルモノデアアルカ、分子式ト實驗式トノ區別ハ如何ナルモノカ、方程式中ノ分子式或ハ實驗式ノ前ニアル係數ハ何ヲ示スカ等最化學計算ニ必要ナル事項ニツキ殆ンド知ラヌモノハ最多イ、例ヘバ炭素ヲ酸素中ニ燃シテ無水炭酸ヲ生ズルトキノ方程式



ノ如キ簡單ナルモノニ就キテモ此内ニアルCハ炭素ノ何ヲ表ハスカサヘ知ラヌモノガアル、炭素ノ分子式ハ未ダ全ク分ラヌモノダカラ方程式中ニハ其實驗式ヲ用ヒテCト書クノデコレハ炭素ノ分子式デハナイ、然ルニコレヲ分子式ト心得テ炭素ノ一分子量ハ炭素中ニ燃エテ無水炭酸ノ一分子量ヲ生ズトヤルモノガアル、コレハ大間違デ前ノ式ハ炭素ノ十二瓦(十二ハ炭素ノ原子量)ガ空氣中ニ燃エテ無水炭酸ノ一瓦分子量即 $12 + 16 \times 2 = 44$ 瓦

ヲ生ズトイハネバナラヌコトデアアル。

又分子容トイフ考ハ化學計算上ニ大ニ便利ナモノデ、氣體ノ一分子容即一瓦分子量ノ標準ノ溫度及壓力ノ下ニ有スル體積ハスベテノ氣體ニ於テ大約 22.4 「リットル」デアアル、故ニ上ノ方程式ニ從テ炭素ノ三十六瓦ヲ空氣中ニ燃シテ生ズル無水炭酸ノ標準溫度標準壓力ノ下ニ於ケル體積ヲ計算スルニ分子容ノ考ヲ用フレバ次ノ如ク容易ニ出來ル。

炭素ノ十二瓦ハ無水炭酸ノ一分子容ヲ生ズルカラ其三十六瓦ノ生ズル無水炭酸ハ三分子容デ其標準ノ溫度及壓力ノ下ニ於ケル體積ハ $32.4 \times 3 = 97.2$ 「リットル」デアアル。

モト此分子容トイフ考ヲ採用シナカッタ時代ニハ上記ノ如キ問題ヲ解クニハ標準溫度標準壓力ニ於ケル水素一「リットル」ノ質量 0.09 「グラム」トイフ數ヲ用ヒテ次ノ如クシタモノデ茲ニ云ヘル分子容ノ考ヲ採用シタル計算ニ比スレバ複雑デアアル。

炭素ノ十二「グラム」ヨリ無水炭酸ノ四十四「グラム」ヲ生ズル故其三十六「グラム」ヨリ生ズル無水炭酸ハ $12 \times 3 = 36$ 「グラム」デ、又無水炭酸ノ水素ニ對スル比重ハ

其分子量ノ半即 18 デアルカラ其一「リットル」ノ質量ハ $0.09 \times 18 = 1.62$ 瓦

デアアル、故ニ炭素三十六瓦ヨリ生ズル無水炭酸ハ $36 \times 3 = 108$ 「グラム」ノ標準溫度及標準壓力ノ下ニ於ケル體積ハ $108 \div 1.62 = 67$ 「リットル」ナリ。

今デモ此法ヲ用フルモノ少ナクナイノハ全ク分子容トイフ語ヲヨク知ラヌ罪デ白壁君ガ昨年ノ高等學校ノ入學試験ノ答案ヲ調べラレタ節ノ意見ニヨルモ此語ノヨク分ラヌ爲ニ計算ニ失敗シタモノガ多イノガ分ル、コレ亦大ニ注意スベキコト、思フ。

右ニ述ベタヤウニ智識ノ不完全ナルモ亦公式集棒暗記ノ致ス弊害トイハネバナラヌ。計算ノ不熟練ナルコトハ物理學化學ノ兩方ニ通ジテ皆左様デ、答案ニ於テ立派ニ問題ヲ解キ得ベキ方程式ナリ計算式ナリガ出來テ居リナガラ、サテ其實際ノ演算ニ於テハ大ニ誤リ或ハ位取リヲサヘ間違ヘルモノハ受験者ノ多數ヲ占メテ居ルコトハ事實デアアル、コレ畢竟平生計算問題ヲ數多ク練習セザルノ致ス所デアアル、平生面倒ナ計算ヲモ其煩ヲ厭ハズ其勞ヲ惜マズ演算スレバ所謂「習ハウヨリ慣レロ」デ自然ニ計算ノ便法ヤ演算ノ誤謬ヲ見出ス法ナドヲ考ヘツクコトガ上手ニナルモノデアアル、勿論此計算ノ不熟練ハ數學

ノ問題ノ練習ヲ數多クヤラヌカラ生ズルコトデアアルガ、學生ガ平生物理學化學ノ計算問題ヲヤルヲ見ルニ其計算ノ勞ヲ厭ヒテ大抵計算式ヲ得タルダケニ止メテ置クノガ多イ、故ニ學生ハ平生成ルベク煩雜ナ計算ヲ數多クヤルコトヲ勉メ且可成便利ノ計算法(即可成時間ヲ徒費セズシテ容易ニ計算ヲナシ得ルヤウナ方法)ヲ時ニ觸レ機ニ臨ンテ、用フルコトヲ心掛ケルコトハ大ニ必要デアアル、ソウスレバ試験ノ場合ナドニハ特ニ時間ノ經濟ヲナシ得ルト答數ノ誤リヲ避ケ得ル等大ナル利益ガアル。

今コ、ニ所謂便利ナル計算法ノ一例ヲ舉グル爲ニ次ノ問題ヲ解カウ。

問題 火爐ノ溫度ヲ定メンガ爲ニ80瓦ノ白金板ヲ其中ニ投ジ其爐ノ溫度ニ達セルトキ急ニ之ヲ15ノ水400瓦中ニ入レタルニ水ノ溫度20トナレリ、白金ノ比熱ヲ0.09トシテ火爐ノ溫度ヲ計算セヨ。

解 火爐ノ溫度ヲ t トスレバ白金ハ水中ニ入りテ其溫度 t ヨリ20ニ下レルヲ以テ其放
チタル熱量ハ

$$0.03 \times 80 \times (t - 20) \quad \text{瓦カロリー}$$

コノ除水ノ溫度ハ15ヨリ20ニヨリタル故其得タル熱量ハ

$$400 \times (20 - 15) \quad \text{瓦カロリー}$$

此二ツノ熱量ハ相等カルベキヲ以テ次ノ方程式ヲ得

$$(1) \quad 0.03 \times 80 \times (t - 20) = 400 \times (20 - 15)$$

サテ此方程式ヲ解クニ

$$0.03 \times 80 \times t - 0.03 \times 80 \times 20 = 400 \times 5$$

或ハ $0.03 \times 80 \times t = 400 \times 5 + 0.03 \times 80 \times 20$

トスルト、ドウシテモ此右邊ノ掛ケ算及引キ算ヲ行ハザルベカラズ且此右邊ノ計算ノ結果ヲ左邊ノ t ノ係數デ割ルトキニモタトヘ分數ノ形ニシテ約ストスルモ其分子ノ方ノ約數ヲ見出スニ多少ノ考ヲ要ス、勿論此計算ノ如キニ於テハ格別面倒ナラザレドモ其得ル數ニヨリテハ其約數ヲ見出スニ困難ナルコトガ随分アル。

然ルニ上ノ方程式(1)ヲ解クニ $t = 20$ ヲ其儘未知數トスレバコレヨリ

$$t - 20 = \frac{400 \times 5}{0.03 \times 80}$$

ヲ得、右邊ノ分母子ヲ約スニモ甚簡單ナル、ソコデ此右邊ヲ計算シテ

$$4 - 20 \parallel 833.3$$

ヲ得レバ容易ニ

$$4 \parallel 833.3$$

ヲ得ル。

カヤウニスレバ計算ニモ大ニ手數ヲ省キ從テ時間モ餘程經濟ニナリ、答ノ間違フ虞モ少
ナイ、所謂可成便利ナ計算ヲ考ヘルトハコウイフ工合ノ事ヲ工夫スルコトナル。
以上ハ自分ノ心付イタ點ノアラマシナル、尙此外ニ鎖細ノコトニ渉ル點ハ云フベキ事
ガ多クアルガコ、ニハコレダケニ止メテ置ク、唯最後ニ一言スベキハ化學ノ參考書ノコ
トナル、普通ノ教科書ニハ種々ノ元素及化合物ノ性質製法等ニツキテ各項ノ下ニ別々
ニ説明シアルヲ以テコレヲ其儘ニテ一々暗記スルハ随分煩雜ナコトナル、故ニ可成コ
レ等各個ノ事柄ヲ概括的ニ記シタモノヲ參考スルコトハ必要ナル、尤モ自分ノ考ヘデ
各個ノ智識ヲ統合概括シテ暗記スルハコノ上モナイ上乘ノ策ナル。

サテ其概括的ニ記シタモノトハ如何ナル工合ニ記シタモノナルカドイフニ、例ヘバ諸
種ノ酸ノ種々ノ金屬ニ對スル作用ハドウナルトカ、一般ニ酸ト鹽基ノ中和作用ハドウ
イフ風ダトカイフ風ニシタモノヲイフノデアル。
此クノ如ク概括シテ暗記スレバ一ツノ事項ヲ暗記スレバ隨分他ノ事項ニ應用シ得ラル
ルモノナル。

第五編 地理

第一章 一、試験問題

地 理

- 一、島嶼ノ成因ヲ説明セヨ、
- 二、本邦ニ於ケル陸軍師團司令部ノ所在地ヲ問フ。
- 三、支那本部沿海岸ノ略圖ヲ描キ開港場五ヲ記入セヨ。
- 四、左ノ地名ニ就キ知ル所ヲ記セ。

- イ、拉薩、
- ロ、アルセルム (Anvers, Antwerpen)
- ハ、ポートサイド (Port Said)
- ニ、ボストン (Boston)
- ホ、メルボルン (Melbourne)
- ヘ、ウラル山脈、(Ural)
- ト、アマゾンナ河 (Amazon)

二、文部編修、喜田貞吉氏ノ意見

今回ノ入學試験ノ問題ハ、何レモ大體ニ亘レルモノニシテ、何レノ教科書ニモ必ず記載セラレ居ルモノナルガ故ニ、苟モ中學校ヲ卒業シタルモノニ在リテハ必ず一度ハ學習シタル筈ナリ、サレバ競争試験ノ問題トシテ、其學力ヲ檢センニハ當ヲ得タルモノトイハサルベカラズ、尙各箇ノ問題ニツキテ之ヲ言ハンニ、

- 一、島ノ成因ハ地文ニ於テ必ス出スヘキ題目ナレハ、中學校卒業者ハ最近時ニ於テ、特ニコノ題目ノ下ニ學習ヲ經タルニ相違ナキモノナリ、假ニ之ヲ學ハザリシトスルモ尙常識ヲ以テ多少ノ解説ヲ下シ得ヘキモノニ屬ス。

- 二、師團司令部ノ所在地ハコレ亦日本地理ノ教科書ニ於テ必ス學ヒタルモノナレトモ尙平素多少世間ノ事情ニ通スルモノハ、タトヘ學習セズトモ其中ノ四五位ハ必ず答ヘ得ベキ問題ナリ況ヤ現下日露戦争ノタメニ軍事思想ノ普及セル際ナルヲヤ。
- 三、支那沿岸ノ略圖ヲ描キ著名ノ五港ヲ記入セシムルコトハ、コレ亦極メテ容易ナル部ノ問題ニ屬ス、平素見聞スル處ニテモ二三港位ハ知ラサルモノナカルベキ筈ナリ。
- 四、ラッサ以下七個ノ世界ノ著名ナル地名ニ解説ヲ附セシムルコトモ亦容易ナル問題ナリトイハザルベカラズ、中ニ就テ「ラッサ」ノ如キハ本邦ニ直接ノ關係ナク稍困難ナル部ニ屬スレドモ屢々新聞紙上ニモ繰返サレテ記憶ヲ喚起シタルベキ問題ナリ、「アルペンス」、「ポートサイド」、「メルボルン」ハ何レモ我商船ノ航路トシテコレ亦屢々新聞紙上ニ繰返サルモノ、「ボストン」、「ウラル山脈」、「アマゾンナ河」、亦何レモ世界ノ最著名ナルモノ、一ニ屬ス、殊ニ「ウラル山脈」ノ名ノ如キハ今回ノ戦役ニ關係シテ常ニ世人ノ口ニ上ル題目ナリトス。

サレバ今回ノ入學問題ハ多少世間ノ事情ニ注意スルモノニアリテハ特ニコレヲ學バス

トモ其半數位ハ解答シ得ベキモノナリ、其試験ハ平素學習シタル所ヲ如何ニ復習シ、記憶シ居ルカラ試ミルト共ニ、其學習シタル所ヲ平素如何ニ應用シ居ルカラ試ミルニ足ルモノナレバ學生ノ記憶力ニ富メルモノヲ擇フト同時ニ常識ニ富メルモノヲモ擇ヒ得ベキナリ。

右述フルカ如キ次第ナルヲ以テ、試験ノ成績ハ大多數百分ノ六十以上ノ點數ヲ得ベシト豫想シタリシニ調査ノ結果ハ意外ニモ好成績ヲ得タルモノ少ク甚劣等ノ中學校卒業者ノ多數アルコトヲ表白セリ、甚シキモノハ四題トモ殆ト其一ナリト答フルコト能ハサルモノナリ、師團司令部ノ所在地ニツキテ、第一師團東京ニアルヲ知ルノ外他ノ一ヲモ答フル能ハサルモノアリ、「アマゾン河」ヲ以テ「トナウ川」ト誤リ、ナイル河ト誤ルノ類ニ至リテハ枚擧ニ遑アラズ、或ハ問題ヲ解シ得ザリシガタメカ、或ハ之ヲ解答シ得サルカタメニ故意ニ出デタルモノカラ判知シ難キモ支那ノ著名タル五港ヲ求ムル問題ニ對シテ我國ノ五港ヲ記シタルモノ少カラズ、或ハ天體海中ニ落チテ島ヲナストイヒ、或ハ「ボストン」ヲ以テ大統領「ナポレオン」ノ出デシ所トナスカ如キ殆ト常識ノ存在ヲ疑シムル

ガ如キ答案ヲ長々シク書キ立テタル類亦少カラサルナリ。

次ニ答案ヲ調査スルニ就キテ感シタルコトハ國語文法作文等ノ五箇年間ノ效果ノ甚著シカラサルコトナリ、東北ノ學生ガ「シ」ト「ス」トヲ混シ、九州地方ノ學生ガ「ラ」行ト「ダ」行ヲ混ズルガ如キハ敢テ珍シトセズ、假名遣、語格ナドノ誤謬用語ノ不穩當ノ如キ、殆ト之ヲ免レタルモノ少シ「ボストン」ハ有名ナル大統領ナポレオンノ輩出[○]セシ所ト記スルノ類枚擧シ難シ、然レトモ優秀ナル受験者ニ至リテハヨク問フ所ヲ答ヘ、尙餘裕アルモノモ少シトセズ、平時ノ十二個師團ノ所在ヲ正シク列擧シタルガ上ニ、更ニ戰時中數個師團ノ新設ノ噂アル由ヲ記シ、聞ク所ニヨレバ云々トシテ某々地ヲ記入シ、尙目下戰爭中ニシテ師團司令部ハ戰地ニアリ、内地ニハ留守師團アリナド、記シタルノ類モ少カラザルナリ。

之ヲ要スルニ試験成績調査ノ結果

一、中學卒業生中ニテ豫テ學習セル所ヲ平素見聞スル所ニ應用シ、世間ノ事情ニ注意スルモノ甚少キヲ知レリ、學生ガ世間ノ事情ニ注意スルノ可否ハ別問題ナルモ常識ヲ

養フ點ニ於テハ遺憾ナキ能ハズ。

二、中學卒業生ノ中ニハ學力ノ甚シク劣等ナルモノ、少カラサルヲ知レリ、中ニハ如何ニシテ斯ノ如キモノヲ卒業セシメタルカヲ疑ハシムルモノナキニアラズ、此點ニ關シテハ試験成績表ニツキテ最モ劣等ナル生徒ヲ調査シ、ソノ生徒ヲ卒業セシメタル學校ニ對シテ注意ヲ與フルノ必要アリト信ズ。

三、中學校ノ國語漢文ノ教授ノ效果ノ案外ニ少キヲ知レリ、此點ニ關シテハ特ニ該科教授法ノ改良ヲ圖ルノ必要アリト認ム。

尙今回ノ調査ニツキテ本委員ノ感シタル所ハ、受験ノ地方ニヨリテ學生ノ學力ニ多少ノ差等アルガ如キコトコレナリ、本委員ノ調査セシハ三部英ニシテ某々ノ學校ニハ受験者數多ク一般ニ就テコレヲ知ル能ハスト雖、第一高等學校ニテ受験シタルモノハ優劣其差多ク第三高等學校ニテ受験シタルモノハ學力一般ニ優レタル方ニシテ第四高等學校ニテ受験シタルモノ稍劣レルモノ多キニハアラサルヤノ感アリ、コハ精密ニ比較調査シタル上ナラデハ斷言シ難キ所ロナレトモ答案紙調査ノ際ノ所感ヲ試ニ記スノミ。

三、第一高等學校教授、廣瀨歸芳氏ノ意見

一、地文ニ關スル答案ハ多ク地質等ノ觀念ヲ缺ク

二、地圖ノ方位及縮尺ニ關スル不注意。

第一ニ對スル實例。

島ハ地球創成ノ際自轉力ノ爲ニ放出セラレタル部分ナリ。

島ハ火山作用ニテ地盤ヲ押上ケ又ハ火山ヨリ噴出セル土砂土壤ノ堆積ニヨリテ生ジ

タルモノナリ。

島ハ主トシテ生物ノ遺族堆積シテ成レルモノナリ。

右數例ニテ地質學ノ觀念不正確ナルコト明ナリ、此外地質學上完全ニ島嶼ノ生因ヲ説明スルモノ甚ダ稀ナリ。

第二ニ對スル例

支那本部ノ沿岸略圖ヲ畫クニ方位縮尺ヲ記入セルモノ殆トナシ、該問題ハ單ニ土地ノ

位置名稱ヲ問フノミニテ地圖ノ良否ニ關係ナシトスレハ別ニ答ムル必要ナシト雖、地圖ノ北方ヲ紙ノ一隅又ハ文字ノ方向ト相反スル位置ニ畫クガ如キハ、地圖ニ對スル觀念ノ不正確ナルコト明ナリ、方位縮尺ハ地圖ニトリテ缺クベカラサル條件ナレバ、生徒ヲシテ正確ナル觀念ヲ得セシムルヲ要ス、教科用地圖ノ縮尺ヲ全國一定シ生徒ヲシテ時々實習セシムルハソノ一策ナリ

中學校ニ於ケル地文ニ關係セル學科ニツキ

現今使用セラル、地理學教科書、並ニ教授法ヲ察スルニ地文學中ニ於テ地質學上ノ說明比較的少キガ如シ、中學校ニテ無機界ノ諸現象及地質學上ノ觀念ヲ習得スルニハ主トシテ地文學ニヨル、一年生ニ課スル鑛物界ノ如キハ、僅ニ地質ノ大略ヲ授クル學科ナレトモ生徒未ダ之ヲ了解スル素養ナク單ニ字句ヲ以テ記憶スルモノ多シ、故ニ地文學ノ教授法如何ニヨリ無機界ニ於ケル物質現象ニ對シ、正確ナル觀念ヲ得ズシテ、今回ノ如キ常識ヲ滅却セシガ如キ答案ヲ作ルニ至ルベシ、斯ノ如キ狀態ニテ毫モ顧ミル所ナケレバ、我國民ハ舉テ地盤ノ性質及無機界ノ諸現象ヲ注意觀察スルコトナキニ至ルベシ、中學教

育ニ於ケル地理及鑛物界ノ教材學科配當及教授法ニツキ特ニ當事者ノ調査研究アラシムコトヲ希望ス。

四、女子高等師範學校教授、野口保興氏ノ意見

地理科ニ關シテハ問題ノ難易種類等ニツキ特ニ開陳可致程ノ儀モ無之候ヘトモ第二問ノ師團司令部所在ノ如キ動靜アルモノト戰時即チ各師團ノ活動中ニ際シテ提出相成候タメ、答案ハ動的ナリヤ靜的ナリヤ又動靜兩様ヲ兼ヌベキニヤ明瞭ヲ缺キタルノ嫌アリト被存候、第三問ノ沿海岸ナル語ノ意義モ廣狹アリ、開港ニモ海港、河港アリテ受験者ニ惑ヲ來セシヤニ被考候、要スルニ題意ニ要領ノ得ニクキモノアラバ受験者ノ不便トスル所ニシテ、採點上ニモ困難少カラズ候ニ付、提題ノ際今一層ノ留意望マシク存候。

受験者必携終

受験者諸君ニ寄ス

予輩モ嘗テ中學ヲ卒業シ、諸君ト同シキ境遇ニ立チ、官立高等學校ノ入學
試験テウ關門ニ戰ヒテ當時ノ感想今尙髣髴トシテ忘ル、能ハズ、是レ即
チ予輩が大ニ諸君ノ境遇ニ同情ヲ寄スル所以ニシテ、敢テ淺學無識ヲモ
省ミルノ暇無ク、諸君ニ勢援ヲ與ヘ、諸君ニ經驗ヲ語ランガ爲ニ、千言
萬語、或ハ試験官ノ胸臆ヲ解剖シ、或ハ文部省ノ方針ヲ批判シ、以テ諸
君ガ折衝ノ準備ヲ絶叫シテ止マザル所以ナリ、希クハ諸君ハ本書ヲ讀ミ、
本書ノ教フルトコロニ從ヒ、以テ登龍門ノ佐々木高綱タランコトヲ期セ
ラレヨ、而シテ予輩ハ切ニ望ム、入學試験終了後諸君ガ本書ニ依リテ何
者ヲ得タリヤ、將タ又何物ヲ失ヒタリヤ、諸君ガ前後數ヶ月ノ感想ヲ記
シテ寄贈セラレンコトヲ。

明治三十九年三月八日受験者必携ノ原稿ニ筆ヲ擱キツ、

編者 中島優二

附 錄
明治三十八年
官立高等學校
入學試驗問題